

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

The Diary of Hisakatsu Hijikata (V)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-02-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土方, 久功 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00000853

土方久功日記 第26冊

1939年7月1日～12月25日（昭和14年）

解説

この第26冊には、昭和14年（1939）7月1日から12月25日までが収められている。日本へ戻って来てから2か月余、東京の生活にも慣れてきたことであろう。7月6日の『日記』には、次のように書かれている。

四月二十八日内地ニ出テ来テカラ、マルニヶ月ノ余ニナル。其ノ間、実ニ何ヤカヤデ目マグルシク過ギタ。久々デ出タカラデモアルガ、東京ト云フ処ハ実ニ人ガ多く、人トノカカハリガ多く、遊ブニサヘ忙ガシイ処。其ノ上、齒医者モ永カッタシ、体ノ具合モ悪カッタシ、何ヤカヤ何ヤカヤデ過ギタ。（中略）

沢山ナ人々ニモアラマシエッタ。大概ノ処デ南洋ニ帰り度クモナッテ来タ。

東京の慌ただしい生活にも嫌気がさし、会うべき人々にもほとんど会ったので、そろそろ南洋へ帰りたくなったのであろう。

7月8日、東京帝大の人類学教室で、前月24・25日に南洋群島文化協会で展示した、南洋の収集品による展覧会が開かれた。長谷部言人、八幡一郎、杉浦健一等に手伝ってもらって展示した。大学の関係者が訪れたほか、太平洋協会の西方秀男、平野義太郎も来た。この後、展示品はすべて、人類学教室の所蔵資料となった。

7月13日は、久功の39回目の誕生日だったので、祐天寺の兄の家でささやかな誕生会があり、身内のものが集った。

翌14日の夜行で、久功は、弟・久頭とともに大阪へ発った。平野の皿井の家に泊まり、久々に親戚の人々に会い、17日の汽車で東京に帰ってきた。

18日には、郵船会社に行って、パラオ行き切符を買った。帰る準備は次第に整ってきた。

29日には、川路柳虹、倉橋弥一等『炬火』旧同人による送別会に出席した。8月2日の出発まで、再び送別の集まり、暇乞いと慌ただしかった。

8月2日、久功は、親族、友人、杉浦佐助等に見送られて、横浜港から、サイパン丸に乗船した。8日の昼にパラオに着いたが、どういうわけか、『日記』には、2日の乗船の日から7日までの記述がない。

パラオに戻ってから間がない10日には、南洋庁地方課長の主催で、「島民慣習調査要綱」についての会議が開かれた。調査事項細目は、大体、中川善之助の発案を整理してまとめた。この調査事項について、久功は、「余リニ理想的デ、土人学者（殊ニ現地調査家）トシテハ素人ジミテルガ。」と、その感想を『日記』に書いた。

そして、久功は、翌日から中川の調査につき合わされ、通訳までやらされた。17日の中川の調査では、アラカベサンに行き、オジャレブルから聴き取り調査を行った。サトワルから工事人夫として来ていたのだろう。オジャレブルと言えば、久功をサタワル島へ導いたとも言える人物である。彼は、サタワル島出身で、パラオに10年以上いて、パラオ語ができ、サタワル島民の中では、久功が最も頼りにしていたのではなかったのか。8か月半ぶりに会ったのだから、何か感ずるものがあったのであろうが、なぜか、『日記』には何一つ書かれていない。

注目されるのは、マリヤの名前が『日記』に初めて出てくることである。9月8日の『日記』には、

午後カラ村ニ出ル。役□地ニ安達氏ヲ訪ネテ少シ訪ネテ見タガ、勿論詳細ナルモノハナク、□二三ノ件ニツイテ評判ダケヲ知り得タノデ、雨ヲ止マセテ出カケ、Mariaニ逢ッタノデ、其ママ一緒ニ Ingeyaol ニ行ク。Rūbasah モ Ngardoko モ居タノデ、バナナヲ食ベナガラ暫ク話ヲキキ、出テ今度ハ Milong ニ行ク。

と記されている。マリヤは、コロール島第一の名家の出身で、イギリス人と島民の混血児で島の有名人たるウィリアム・ギボンの養女で、内地の女学校に数年留学したのち、島に戻って結婚し、娘 Gres をもうけるが、嫉妬深い夫を追い出してしまう。マリヤはしばしば久功のところを訪れ、「パラオ地方の古譚詩」の邦訳を手伝っていた。後に、中島敦の『南島譚』の中に、「マリヤン」として出てくる（岡谷氏、前掲、『南洋漂蕩』、143-144頁）。当時24歳で、長女 Gres は4歳だった。『日記』の記述からは、このとき、久功はマリヤと親しくしていたことがうかがわれる。なお、戦後、マリヤは再婚し、昭和42年（1967）12月、20年ぶりに久功に日本語で手紙を書き送っている。そのときの差し出しの名前は、「マリア・メレップ」となっていた（『日記』97冊、174頁～）。

9月27日、久功は、役所の食堂で、前日ヤップから来た知人から、杉浦佐助が内地から嫁さんを連れて来ていることを知らされた。それに対し、久功は、その日の『日記』に、「先日便リヲヨコシテ置キ乍ラ、一言モソソナコト言ッテ来テ居ナイガ。」と書いて、少し不満を漏らした。

9月29日から10月7日まで、久功は、国光丸で、ソンソル島、メリー島、プル島、トコベイ島、ヘレン島と回ってきた。9日間の離島巡りの旅であったが、このときの紀行文は、「南方離島記」と題され、『著作集』第6巻に収められている。この「南方離島記」には、「ナポレオン」も収められ、この草稿を中島敦が、後、昭和16年（1941）12月19日の夜、久功の家で読んだ。敦はこの草稿にたいへん興味をもった。中島敦の「日記」には、次のように書かれている。

夜、土方氏方に到り、南方離島記の草稿を読む、面白し。「プール島（人口二十に足らず）に、パラオより流刑に会ひし無頼の少年あり、奸譎、傲岸、プール島民を傾使す、已に半ばパラオ語を忘る。この少年の名をナポレオンといふと」「無人島ヘレン礁に海鳥群れ集へること。島に上れば、たちどころに数十羽を手掴みにすべしと。卵も又、とり放題。捕りし鳥共の毛をむしり、直ちに焼きて食するなり」

これは、既に明らかにされているように、後に刊行された『南島譚』に収められている「ナポレオン」「寂しい島」の原型である。

また、『日記』には、『著作集』第6巻に収められていない、10月6日の後半部分（『日記』原文、第26冊152-157頁）は南洋の実状が語られていて、注目すべきものである。内容は、1. 国光丸船長への批判、2. 南洋拓殖株式会社への批判、3. スペイン人布教師への批判、の3項であるが、その批判は具体的で鋭い。南洋での生活が長く、離島の現状をよく理解している久功だからこそなうる批判である。

敦が、「南方離島記の草稿を読む、面白し」と書いたように、この「離島記」は、読んで実におもしろい。この離島巡りで、久功は大きな収穫を得たと言えよう。

ところで『日記』11月22日の「受信」欄に「帝大人類学教室ヨリ300」と記されている。これは、帝大人類学教室から久功に300円が送られてきたことを表している。このとき、久功が人類学教室から300円受取ったのは、久功が収集した「南洋の土俗品」を人類学教室に譲った代金であろう。人類学教室が「南洋の土俗品」を収藏品としたのは、「寄贈」でなく、「購入」だったのである。当時、南洋庁の嘱託であった久功の月給が130円だったので（岡谷氏、前掲『南海漂蕩』132頁）、久功は、月給2か月半以上の金を入手したのである。10年にもわたって集めた貴重な資料であることを考えれば、安いとも思えるが、南洋群島で集めた資料が大学に研究資料として保存、活用されるのであれば、金額は問題とならなかったであろう。

11月25日から29日まで、南洋貿易でパラオの民族資料を展示する展覧会が開かれた。出品を頼まれた久功は、島民からパラオの生活具一切を集め、木工養成所からは、島民改良家屋の模型を借りて出品した。

この展覧会の会期中の26日、検事が来て、ヤップにいる杉浦佐助の妻が自殺したとの電報が入ったと知らされる。久功は、その日、佐助へ宛てて手紙を書いた。

〔表紙〕
〔26〕

昭和十四年

千九百三十九年七月一日ヨリ 全年十二月二十五日迄

Hisakatsu.H]

〔2頁白紙〕

七月

一日 土 曇，午後晴ル，

笠置丸ガ早朝入港。^{〔辰美〕}野元氏ノ奥サンガ子供達ヲツレテ来ルノデ，大工サント横浜ニ行ク。七時半頃ニナツテ棧橋ニツク。九時□頃紀ノ国屋へ。昼前ニ鹿児島迄ノ切符ト寝台ヲトツテ上げ，昼食ヲ頂イテ，二時過ぎ帰ツテクル。

夜ハ軍人会館デ南洋庁ノ始政紀念日ニ当ツテ，南洋ノタト云フノガアツテ，^{〔玉枝〕}タマエラ出スコトニナツテ居タノデ，六時ニ連レテ行ク。踊，歌，映画ノ余興ヲミテ，十時散会。杉浦健一君ニ会ヒ，オ茶ヲノンデ帰ル。十年ブリデ松本募君ニ逢フ。拓務省ニ居ル由。

大工サンハ横浜カラ真直グ国ニカヘル。

二日 日曜日 曇，午後久々ニヨク晴レ，夜満月，

高勇吉ト約束シテ居タノデ，朝カラ逗子ニ出カケ，十時半，高ノ家ヲ訪ネル。高ハ停車場ノ方ニ出カケタ由デ，上ツテ待テドモ待テドモ帰ツテ来ナイノデ，「ヘティー」君ガ^{〔理〕}向ヘニ行ツテクレタガ，十二時ニナツテ高ノオ母サンガ来，後カラ高ト妹ノ玉枝君ガヤツテクル。昼食後，直チニ高ト海岸ニ出テ暫ク歩キ，引カヘシテ逗子ホテルノ庭ニ行ク。後カラ玉枝君ガ東代チャンヲツレテ来タガ，玉枝君ハ子供ヲ置クナリ釣りニ行ツテシマフ。永イコト オ茶ヲノンデ，芝生デ日向ボッコシテ子供ヲ遊バセテ居ルト，「ヘティー」君ガ小サイ子ヲツレテクル。暫ラク又オクレテ，オ母サンモ来，五時頃迄モ居テ帰ツテクル。東京ニ出テ来テ以来，実ニ久方ブリデノウノウトスル。夕食ヲ皆デ賑ヤカニ食ベ，八時四十九分ノ電車デ帰ツテクル。

昼頃カラ実ニ東京ニ出テ以来，ハジメテノ青空ニナリ暑クナル。但シ海辺ハ風ガアツテ涼シイ。日曜ダカラデモアルガ，実ニタイシタ人出デ，何十ト云フボートガ浮ビ，泳イデ居ル者モ相当沢山アル。

三日 月 曇，午後ヨク晴ル，

午後二時，金子九平次君カラ招カレテ居タノデ，奥沢迄ブラブラ歩イテ訪ネル。御馳走ニナリナガラ，日暮迄喋ツテクル。

四日 火 晴,

朝十時頃、宮ヶ丘¹⁶⁰ニ中西悟堂氏ヲ訪ネシモ留守。真サンモ来テ居ナイノデ、引返シテ来たら、府立高等ノ駅デ真サンニ逢フ。分レテ青山師範ニ出テ、中井ノ惣チャンヲ訪ネ、昼頃誘ヒ出シテ、後藤ノ所ヲ訪ネル。東横デ買物、昼食シテバスニ乗ラウトスルト、吉田謙吉¹⁶¹ニ逢ヒ、明後日訪ネルヨウニ約シ、梅ヶ丘迄出テ、後藤ノ家ニ行ク。夕方大学ニ行ク心算リダッタノヲ、止メラレルママニズルズルト居テ、夕食ヲ馳走ニナツテ、十時頃帰ルト、久顕ガ来テ居ル。

㊦真スミ子ヨリ、

五日 水 曇, 晴, 夜ニ入りテ雨,

母ノ御日ナノデ、御墓詣リニ行ク事ニナツテ居タノデ、朝早く久顕ガ来ル。二人デ先発。茅ヶ崎ニ行キ、御墓詣リ。帰ツテクルト、駅ノコッチデ、英子サン、^{姉子姉}□□□文子姉サンニオ玉様、綾様、ソレニ東久世ノ信サン¹⁶²達ガ来ルノニ逢フ。久顕ハ横浜へ、自分ハ鎌倉ニ行キ、吉五郎¹⁶³ヲ訪ネテ、文様土器ノ仕末ヲタダシテミタガ、皆目ワカラナイノデ、アキラメテ帰ツテクル。オ玉様、綾様来テ居ラレル。夕方自分ダケ先キニ祐天寺ニ行ク。間モナク、兄ガ帰ツテ来、日暮レテオ玉様、綾様モ来ラレ、後久顕、遅レテ来ル。会食。雨ガ降ツテ来テ止マヌノデ、自分ハ宿ル。

㊦吉田謙吉ヨリ、

土方愛子ヨリ、

六日 木 曇, 朝雨, 午後暫ク雨, 夕方晴,

四月二十八日内地ニ出テ来テカラ、マルニヶ月ノ余ニナル。其ノ間、実ニ何ヤカヤデ目マグルシク過ギタ。久々デ出タカラデモアルガ、東京ト云フ処ハ実ニ人ガ多く、人トノカカハリガ多く、遊ブニサヘ忙ガシイ処。其ノ上、齒医者モ永カッタシ、体ノ具合モ悪カッタシ、何ヤカヤ何ヤカヤデ過ギタ。

内地ニ出テ来テ時ハ、八重桜ガ残ツテ居タ。此ノ庭モ、ソレカラ今日迄ニ八月日ノヨウニ目立タナク、併シ月日ノヨウニツノ間ニカ変ツテシマッタ。八重桜ハ間モナク花ガ終ツテ赤イ芽ガ出タガ、モウスツカリ夏ノ桜ノ木ニナツテシマッタ。乙女椿モ咲キ残ツテ居タシ、□筍ガ生エタノモソレカラダッタ。忠久ガ蒔イタ花草ノ鉢ニ□コスモスヤサルヴィヤガ出揃ハナイ頃ダッタガ、今ハスツカリ大キクナツタ。チューリップガ咲イテ終ツテ、芍薬ガ咲イテ散ツテ、垣ノ蔓□笑□薇ガモツツト前カラ咲キ盛ツテ、今ハ衰ヘテ居ル。アヂサキノ花モ、深く空色ニナツタ鳳仙花ガ咲キ、今グラヂオラストマツバボタンガ咲イテ居ル。今年ノ筍ガ今若々シイ緑ニ葉ヲ揃ヘタ。

沢山ナ人々ニモアアラマシ会ツタ。大概ノ処デ南洋ニ帰り度クモナツテ来タ。

午後、蒐集品ノ目録ヲ持ツテ大学ニ行クト、丁度飾ツケヲシヨウト云フ所デ直キニツ

カマッテシマッテ、六時頃ニナッテ帰ッテクル。夜ハ久顕サンノ所ニ呼バレテ居タノデ
行き、十一時辞ス。

㊦ 杉浦佐助、安達貞二、藤井保、土方与志、土方愛子へ、

七日 金 快晴、急ニ暑、

吉田謙吉ト約束シテ居タノデ、昼前銀座アパートヲ訪ネル。雑談、銀座裏デ中食。別
レテ少シ歩カウト思ッタガ、アマリ胸ガ痛ムノデ帰ッテクル。

今日ハ事変ニ週年紀念トテ、方々デアラユル催シガ逢ッタガ^(ママ)、銀座デハ青年団女学生
ノ音楽行進ニ逢フ。 夜、久顕ニ来テ貰ッテ注射。

八日 土 晴、暑、

朝、田辺ノ英サンカラ電話デ、写真ガ出来テ居ル由ダッタノデ行き、十一時前大学ニ
行く。杉浦健一君ト食事ニ出テ帰ルト、ポツポツ オ客ガ来ダス。先日ノ南洋ノ蒐集品ヲ
展覽シタノデアル。長谷部言人氏、八幡一郎モ出テ来テ手伝ッテクレル。英サンガ訪ネ
テクレル。四時頃ニナッテ吉田謙吉ガ来テクレル。環サ□ンガ小倉謙教授ヲツレテ来
ル。津山氏□ト共ニ矢張り一日ノ船デ パラオ ニ行カレル由。ソレカラ慈恵医大ノ新井
正治氏¹⁶⁴⁾ ガ、コレモ体質人類学ノ方デ全ジ船デ パラオ ニ□行カレル由。太平洋協会¹⁶⁵⁾
ノ西方秀男氏、平野義太郎氏¹⁶⁶⁾ ヨリ原稿ノ依頼、等。

㊦ 高勇吉ヨリ、野元勇ヨリ、蓮香藤郎ヨリ

九日 日曜日 晴、

朝カラ祐天寺ニ行く。通チャンダケデ誰モ居ナイノデ、久々デ半日ヒックリカヘッテ
居ル。ソレカラ午後八、アンドレ・ジードノ「田園交響楽」ヲ読ム。夕方、姉上ガ帰ラ
レ、風呂ヲアビテ居たら、兄上モ帰ラレル。夕食後、十五六年振りデ ピアノ ヲヒイテ
貰ッテ阿呆声ヲ出シテ、皆デ遅クマデ歌ヲウタフ。宿ル。

十日 月 曇、午後ヨリ晴レシモ風アリテ暑カラズ、

朝、^{府中高等}□□□□ [府立高等]ニ帰リシモ、胸稍痛シ。一休ミシタラ癒ッタノデ、南洋庁
ノ出張所ニ出カケル。蓮香氏ヨリ、例ノ官主サンノ講習ニ講演ヲタノマレ、更ニ金井所
長ニ面談。文化^教□協会ニ寄り、昼□過ギテシマフ。新宿ニ出テ、東中野ニマハリ、川路
氏ヲ訪ネシモ留守。奥サンニ一寸会ッテクル。目白ニ出テ村山君ノ親類ノ山口サント云
フヲ訪ネシモ、コレモ留守ニテ、奥サント云フニ一寸逢フ。帰ル頃ヨリ又々胸痛シ。帰
リテ夕方迄寝テシマフ。久顕、夜来テクレシカバ、又注射シテ貰フ。

㊦ 浅田スミ子ヨリ、後藤貞^(兄)ニヨリ、

㊦ 麻原地方課長ヨリ、

十一日 火 曇，晴，夜雨降ル，

早昼ヲ食ベテ，日動画廊ニ彫刻ヲ持ッテユク。(朝，川路氏ヨリ電話アリシナリ) 後，南洋庁出張所ニユキ，蓮香氏ニ会フ。後，引カヘシ，銀座ニ出，デパートヲブラブラシテ時間ヲツブシ，四時□□資生堂ニ行ク。ヂキニ高ガ来，暫クシテ小川ト云フ人モ来ル。後，大井ノ若松トカ云フ料亭ニ引バラレ，十時半頃帰ル。

十二日 水 晴，曇，相半，

午後二時半頃カラ梅ヶ丘ニ後藤禎ニヲ訪ネル。後藤独り居タガ，四時頃，大田和ノサアチャンガ来，五時頃園チャンモ帰ッテクル。風呂ヲ浴ビ，皆デタ食ヲ共ニシ，八時頃辞シテ帰ル。

朝，久顕来テ，大阪行キノ相談シ，十四日^{〔ママ〕}後^{〔気〕}ノ□□汽車テ行クコトニシ，切符ヲ取ッテ貰フ様タノデ置イタガ，夜遅クナッテ又来，切符ガ取レナカッタ由。汽車ノ時間モ日モカマハズニ買ッテ貰フコトニスル。又，注射シテ貰フ。

㊦ 後藤禎ニ，ヨリ，

十三日 木 晴，時々曇，夜雨，

朝，武蔵小山ノカバン屋迄，

帰ルト胸ヤヤ痛ク，暫ク寝ル。午後，祐天寺ニ行キ，新屋敷氏ノ所ヲ訪ネタガ留守。兄上ノ所ニ行ク。兄上不在，姉上ハ直グ外出。又々胸痛ミ，二階デ暫ク寝ル。四時前，綾チャンガ来ル。五時前，宇多チャンガ来ル。二人ガ「ギター」ノ稽古ヲシテ居ル間ニ入浴。□□^六五時頃，姉上帰ラレ，間モナク皆デタ食。今日ハ私ノ誕生日ト云フ訳ダッタノデアル。食事が終ッタ頃，兄上ガ帰ラレタノデ，宇多チャンハ直キニ帰ッタガ，自分達ハ暫ク遊ンデ八時頃帰ル。帰ルト雨ニナル。遅ク久顕，明日ノ大阪行キノ切符ヲ買ッテ来テクレル。

㊦ 野元雪子へ，浅田スミ子へ，

十四日 金 晴，

九時過ぎ，三沢ガ来ル。十時半頃，三吉朋十氏¹⁶⁷⁾ニ電話シタラ，十二時半頃来テクレトノ事ダッタノデ，早メニ家ヲ出，渋谷デニュース映画ヲノゾキ，十二時ニ出テ池袋ニ出，三吉氏ヲ訪ネル。色々ト話ヲキキ，昼食ヲ馳走ニナッテ，二時半頃辞シ，三沢ト別レテ帰ル。

^{〔欄外に記す〕}
[大阪へ]

夕方，理髪屋ニ行キ，夜十時十七分ノ汽車デ大阪ニタツ。又々胸イタミ，汽車ニノルト直グ寝台ニ入ッテ寝テシマフ。

十五日 土 晴, 暑,

朝六時迄ヨク寝ル。九時前大阪着。平野町ノ皿井サンニ行ク。オヂサマ¹⁶⁸⁾ ト オ慶チヤン¹⁶⁹⁾ ト居ル。隼チヤン¹⁷⁰⁾ モ会社ニ出勤前ニ一寸ヨツテユク。

隼チヤン夕方再び来, 皆デ賑ヤカニ夕食。

電報デ, 甲子園カラ澄□チヤンヲ呼ブ。

十六日 日曜日 晴, 暑,

九時頃家ヲ出, 難波ニ出テ, 助松ニ江波ヲタヅネル。江波独リデ^飯飲ンデ酔ッテシマヒ泣ク。午後二時半頃, 江波ト大阪ニ出, 汽車ノ切符ヲ久顕ニ渡シテ貰フ様タノンデ, 二人デ甲子園ノ露チヤンノ所ヲ訪ネル。オ母サンモ来テ居ラレタガ, 緒方氏ハ出張中デ留守。夜十一時ニ平野ニカヘル。久顕カヘリシ由。五郎チヤンガ東京カラ帰ッテ来テ居ル。

十七日 月 晴,

午後一時ノ汽車デ東京ニ帰ル。九時過ギ帰宅。

㊦山本安英ヨリ,

十八日 火 晴, 暑,

昨日, 金子君カラ電話ガアツタサウダツタノデ, 朝ノウチニ奥沢ニ出カケル。金子君^{ママ}ノ所デ中昼シテ帰り, 二時頃カラ直チニ東京ニ出, 郵船会社ニ行ッテ船ノ切符ヲ買フ。郵船デ杉浦健一君ニ会ヒ, 四時過ギ一緒ニ大学ニ行ク。八幡君ニ面会, 夕方七時過ギテカヘル。夜九時頃カラ忠久ト祐天寺ニ行ク。兄上居ラレズ, 十一時頃帰ル。

十九日 水 晴, 暑,

朝, 玉枝ノ所ニ手紙ヲ持ッテ行キナガラ, 「カメラヤ」ノ奥サンニ会ッテクル。

午後三時頃カラ柴山サンニ行ク。

㊦伊沢紀ヨリ,

二十日 木 晴, 昼過ギ二時頃カラ一時驟雨,

笠置丸デ杉浦健一氏ガタツノデ, 横浜ニ送りニ行ク。中川善之助氏¹⁷¹⁾ モ全船ダツタ□□ノデ御逢ヒシタガ, 一時間余出帆ガ遅レテ, 昼過ギニ出テ行ク。後, 警友病院ニマハリ, 静子サンヲ見舞ッテ, 三時半頃辞シテカヘル。

今日ハイヨイヨ防空演習デ, 夜ハ真暗ニナル。日暮, 忠久ト散歩。カヘリ柴山サンニ行ッテ来ル。久顕来ル。

㊦杉浦佐助ヨリ, 雑誌「大洋水産」, 江波知彰ヨリ, 蓮香藤郎へ,

二十一日 金 晴,

十時頃カラ忠久ト祐天寺ニ行ク。宇多チャンモ既ニ来テ居タシ、兄上モ久々ニ休ンデ居タノデ、午後三時過ギマデ遊ンデ来ル。

⑩倉橋弥一へ、江波知彰へ、緒方露子へ、杉浦佐助へ、三沢寛へ、山本安英へ、金子九平次へ、伊沢紀へ、並ニ（小包）

⑪地方課ヨリ替為、^{（ママ）}

⑫三沢寛ヨリ、甘露寺方房ヨリ、

二十二日 土 晴、夜明一寸雨、夜パラパラ雨、

終日家ニ居テ、原稿書キ。

夜、皆テ柴山サンニ行ク。

⑬吉田謙吉ヨリ、雑誌「太平洋」

二十三日 日曜日 晴、夜暫ク雨アリ、

朝ノウチ家ニ居テ原稿ウツシ。

午後二時過ギ、北沢ノ三沢寛ノ処ニ出カケル。明日早朝カラ荒居君ト芝浦ニ船ヲ出スト云フノデ、誘ハレタノデ——夜遅クマデ話シテ宿ル。

二十四日 月 晴、雲多く、午後三時頃驟雨、

朝六時半ニハ浜町ノ荒居ノ徳サンノ処ニ行ッタ。丁度一緒ニ例ノ保谷ノ陶家、小柳君モ来、紹介サレ、一寸休ンデ後、浴衣ヲカリテ四人デ網船ニ乗ル。オ台場ノ辺デ盛ニ網ヲ打ツケレル。中食ニハ取ツタ魚ヲ料ツテ、二ハイ酸ト^{（酢）}アラヒトテンプラトオスキ物デビール、御飯。三時半過ギ帰ル。夕方、暗クナルコロ氷ツメノ魚ノオミヤゲヲ貰ツテ、三沢ノ所ニカヘル。宿ル。

⑭杉浦佐助ヨリ、金子九平次ヨリ、

二十五日 火 晴、

朝早く、中根町ニ帰ツケル。十時前ニ出テ大学ニ行キ、土木教室ニ山口ノ昇サンヲタツネ、昼迄話シ、岩波氏ヘノ紹介状ヲ貰ツテ別レ、本郷デ中食後、人類学教室ニ行ク。長谷部氏ヲハジメ、須田氏、八幡氏皆居リ、雑談。ソノウチニ考古学ノ原田淑人博士¹⁷²⁾モ見エ、支那ノ話ガハツム。三時頃辞シテ、帰り途、文化教会ニヨツケル。^{（協）}

夜、金子九平次君来、十時過ギ帰ル。久顕来ル。

二十六日 水 晴、暑、

朝十時前家ヲ出テ、東中野ニ川路柳虹氏ヲ尋ネシモ留守。上ッテ一寸待ツウチ、倉橋

が来ル。一所ニ辞シ、神田ニマハリ、三省堂ニ長田氏ヲ訪ネ、午食。今度ハ一時半頃カラ三人デ銀座ニ出、長田氏ガ倉田百三氏ヲ「モナミ」デ待ツト云フノデ、其処デ暫ク話シテ居タガ、倉田氏ガ二時半ニナツテモ来ナイノデ、長田氏ト別レテ倉橋ト歩キ、朝日新聞社ニ八木長人氏ヲ訪ネル。〔欄外に記す〕 小一時□間モ久々デ面談。〔竹下氏ニモ面談〕四時別レ、有楽座ニ行キ、伊藤熹作¹⁷³⁾ヲ待ツタガ来ズ、丸山定男ト川路克子ニ一寸逢フ。後又一寸長田氏ニ□会ヒ、二人ト別レテ六時、綱町¹⁷⁴⁾ニ愛子^{〔上方〕}叔母様ヲオ尋ネスル(叔母様カラハ朝電話アリシナリ)。風呂ヲ浴ビ、夕食ヲ共ニシ、永ク話シテ十時過ギ、御饞別マデ頂イテ帰ル。

㊦ 江波清美ヨリ、太田広へ(原) □□□□□□下馬連へ(大洋へノ原稿)

太平洋協会へ原稿、✓長田氏へ原稿

二十七日 木 晴、

午後、高円寺ニ江波ノ家ヲ訪レル。重君、之君居ズ、栄子チャン、秋チャント、マア坊ト。

浮彫ノ大キイノヲ持ッテ行ッテヤル。

五時ニ辞シ、真直グ新橋ニ出、今朝ニ行ク。佑サンノオ招キナリ。兄上夫妻、久顕、英子サン来テ居リ、佑サンモ遅レテ来ル。□帰り銀座ヲ少シ歩イテ、十時半頃カヘル。

朝、後藤ノ園チャンカラ電話デ、明日伊勢ト云フ人ヲツレテ来ル由。

㊦ 江波 □□伊沢紀へ、吉田謙吉へ並ニ tör2。

甘露寺方房へ 並ニ浮彫1枚。

二十八日 金 晴、

朝九時頃、後藤夫婦ト伊勢君トガ来、午後三時頃迄遊ンデ行ク。

夕食後、青山二本多正震ヲ訪ネル。留守デ、奥サント永イコト話シテ居タガ、九時半頃ニナツテ本多ガ帰ッテ来ル。十時半頃迄話シテ帰ル。

㊦ 下馬連氏ヨリ、(原稿返来)ヨリ、太平洋協会ヨリ、

朝、注射

二十九日 土 晴、

久顕、朝来テ注射シテクレル。

正午□大学ニ行ク。八幡君ト広小路ニ歩イテ、風月デ食事シ、永イコト話シ、上ヲ歩キ大学ニカヘッテ別レル。

六時、新橋ニマハッテ浦霞ニ行ク。集ツタモノ、川路□柳虹、倉橋弥一、今岡弘、太田広、一瀬直行、都築益世、伴野英雄、月野、竹下。十一時過ギ帰宅。

㊦ 〔補〕 後藤貞二、園子ヨリ、

三十日 日曜日 晴,

三沢カラ電話デ呼バレル。デ、九時半過ギ英子サンヲ誘ッテ東横ニ行キ買物ヲトトノへ、午後三沢ノ所ニ行ク。一足チガヒデ村田勝四郎ガ来ル。五時頃迄話シテ帰ル。夜ハ□久顕ノ所ニ呼バレテ居タノデ、行ッテ御馳走ニナル。

朝、大工サンガ国カラ出テ来ル。ソシテ夕方、益田君ノ所ニ行ク。

三十一日 月 晴, 夜雷雨アリ,

早昼デ立川ニ染木煦ヲ訪ネル。丁度、後藤禎ニガ来テ居タノデ、暫ク話シテ、後藤ト一緒ニカヘル。保谷マデ行クツモリダッタノガ、勞レテシマッテ、――

夕方カラ昌生叔父様ノ所ニオヨバレダッタノデ行ク。後カラ久顕モ来ル。自分ハ宿ッテシマフ。

注射。

江波ノ弟ガ、姉サン達ノ手紙ト、苔、御菓子ヲ届ケテクレル。

〔一頁白紙〕

八月

一日 火 晴, 雲多シ,

荷造リ。昼前、大工サンヤッテ来ル。玉枝ガ出テクル。

午後、上原サンニ行ク。^{〔春子〕}春チャンモ、^{〔八千代〕}八チャンモ居ナイ。後、祐天寺ニ行ク。急ニ腹、胸、背中痛ミ、二時間程モ寝テシマフ。後、「ニハトコ」ノ御風呂ニ入ッテ辞シ、塚野サンニ行キ、^{〔本田〕}讓ニ叔父様ノ所ニ行キ、柴山サンニ一寸ヨッテ、八時頃帰ル。

^{〔土方〕}オ玉様、^{〔土方〕}綾様、田辺ノ英サンガ来テクレル。オ玉様、靴下、綾様、御菓子、英サン、苔、上原サン御□饞別。

八日 火 晴,

昼、パラオ着、二時上陸。八木氏ガ^{〔省〕}休暇帰生中デ手紙ガ来テ居ズ、地方課デハ何一ツ用意シテ居テクレナクッタノデ、官舎ガナイ。結局夕方、舟木氏ノ所ニ荷物ヲ運ンデ、官舎ガ定マル迄御邪魔スル事ニスル。

☎中沢佑へ、

九日 水 晴, 昼前驟雨一寸,

コロール デハ既ニ三週間ノ余モ降雨ナク、水キレデ困ッテ居ル。昼前一寸驟雨アリシ

モ、何ノタシニモナラズ。

荷物モアカナイノデ、役所ニハ出タガ何モスル事モナイ。午後、^{〔健一〕}杉浦君ガ来タノデ、調査ノ計画ノ相談ニナル。夜、杉浦君ガ来テ十時頃迄話シテ行ク。

杉浦君ノ乗ッタ笠置ハサイバンデ西風ニ逢ヒ、一週間遅レテ二三日前ニ着イタバカリ。其ママアンガウルニ行ッテ、今朝帰ッテ来タ由。

④ 発信 湯地孝、田辺保英、上原小菊、島村環、丸山定夫、柴山昌生、染木煦、中井惣之助、中沢佑、三沢寛、川上親徳、甘露寺方房、塚野氏、土方久顕、土方久俊、高橋文太郎、八木長人、山口昇、小山直彦、和田一雄、南元子、川瀬増子、矢野弘、島村捷三郎、山本安英、岸輝子、荒居徳亮、青田幸吾、秋庭義次

〔発信〕江波知彰、江波栄子、明子、本多正震、後藤貞二、^{〔健〕}

十日 木 晴、昼前一寸雨、夜雨、

〔発信〕金子九平次、吉田謙吉、千田是也、村田勝四郎、皿井立三郎、太田広、三吉朋十、^{〔欄外に記す〕}
〔島民慣習調査要綱〕

役所デハ、十時半カラ地方課長ノ主□^{〔ママ〕}催デ、殖務部長、税務、警務課長（内務部長留守）ソレニ、中川善之助氏、杉浦健一氏、其他デ「島民慣習調査要綱」ニ就イテ会議。二時過ぎ終リ、後、中川、杉浦氏ト自分ト三人ダケ、内務部長室デ、調査事項細目ニ就イテ相談。大体中川氏ノ発案ヲ整理シテ、次ノ様ナモノトシテ一先ヅ終ル。余リニ理想のデ、土人学者（殊ニ現地調査家）トシテハ素人ジメテルガ。

氏族制度

1. 血統
2. 氏族間ノ序列統制
3. 酋長権ノ内容及ビ相続
4. 氏族数及ビ名称
4. 氏族ノ機構
6. 酋長権代行制度
7. 族有財産
8. 長老職
9. 女酋長並ニ女長老
10. 年齢階級ノ有無乃至内容

親族ニ関スル事項

1. 親族呼称
2. 家ノ構成

3. 家長権ノ内容及ビ相続
4. 家ノ經濟主体性
5. 家（建物）ノ名称及ビ相続
6. 分家ノ時期，場所，及ビ分与財産有無
7. 分家以外ノ一家新立ノ場合
- 5 家族的共同生活ノ態様
8. 隱居
9. 婚姻——招婿婚ノ残存程度並ニ血統制度トノ關係
10. 外婚圈其他ノ婚姻障礙
11. 結納ノ有無，額及ビ離婚ノ場合ノ処置
12. 自參財産及ビ離婚ノ場合ノ処置
13. 結婚ニ対スル全意ノ有無及ビ全意権者
14. 多妻制及ビ内縁觀念ノ有無
15. 夫婦間ノ財産關係
16. 夫族妻族間ノ經濟關係
17. 家内分業ノ態様
18. 離婚原因及ビ効果
19. 子ニ対スル父母権及ビ關係
20. 子生兒觀念有無及ビ待遇^{〔ママ〕}
21. 繼子及ビ連子
22. 養子ノ目的及ビ其ノ經濟關係
23. 養子縁組範圍：氏族關係屬籍
24. 養子ノ置位，離縁ノ原因及ビ効果^{〔ママ〕}
25. 老親ノ 養義務者及ビ其ノ權利
26. 後見制度ノ有無及ビ後見開始原因
27. 後見人ノ置位及ビ權利義務^{〔ママ〕}

相続ニ関スル事項

1. 職ノ相続ノ種類及ビ相続順位
2. 家（建物）ノ相続順位
3. 財ノ相続順位
 - a. 族の財産（主トシテ土地，舟等）
 - b. 私的財産（主トシテ金錢等）
4. 法定相続権ノ強度（欠格，廢除，自己処分等ノ有無）
5. 仲繼相続（其ノ場合及ビ仲繼相続人）

6. 財ノ共同相続ニ於ケル相続分)
7. 債務ノ相続
8. 遺言ノ法式及ビ効力

土地制度

1. 所有権者及ビ占有（収益）権者
2. 土地所有権及占有（収益）権ノ讓渡（贈与，売買，交換）
3. 土地ノ相続——伝来土地及ビ買得土地ニ就キテ
4. 土地ノ貸借——地代ノ額
5. 共同（村或ハ族）収益
6. 私有地ノ負担

十一日 金 晴，何度カ驟雨アリ，低気圧キミニテ漸次雨ノ来ル度ニ風ハゲシク，雨長ク，風向モ南ヘ西ヘ変ル，

九時頃急ニ，中川氏ヲ案内シテ「アラカベサン」ニ行ッテクレトノ事デ，役所ノ車デ理事舎宅ヘ迎ヘニ行ツタガ，上ッテ待ッテ居ルウチニ，長官ダノ南拓ノ人達ダノ来客ガ二三トリコンデ来タ間ニ，女中ガボンヤリシテ居テ，中川君ヲ一人自動車ニ乗セテ出シテシマフ。待テド暮ラセド中川君ハ出テ来ズ，其ノウチニ女中ガ来テ，中川氏ハ独リデ行ッテシマッタ云ッテ来ル。ドノ車デ行ツタカト聞ケバ，役所ノ車デ行ツタト云フ。□女中ノボンヤリハアキレルガ，中川君モウツカリシテ居レバ，運転手モウカツダ。帰ラウトスルト，地方課カラ電話デ「アラカベサン」カラ直グニ自動車ヲ返スカラ待ッテクレト云ッテ来タノデ，サテ又，待テド暮セド来ナイ。シビレヲキラシテ帰ラウトスルト，女中ガ又，今，社ノ車ヲ呼ンダ所ダカラ少シ待ッテクレト云フノデ，又引込ムト，今度ハナルホド，ヂキニ自動車ガ来テ「アラカベサン」ニ行ク。十一時ヲ二十分近く過ギテ居タロウ。中川君ハ Oleyai ノ Potao, Mogemog ノ Sarof ヲ呼ビ，Oleyai ノ □□^{y o} Urūmāi ヲ通役^{ママ}ニシテヤッテ居タガ，□□ ūrūmai ノ日本語ガアマリ解ラナスギルノデ（誰ダッテサウデハアルガ），Satewal ノ Ofalimar ヲ呼ンデ，Satewal 語デ自分ガヤル。中食ヲ取りニ「コロール」ニ出，午後更ニ「アラカベサン」ニ行ッテ，三時半迄ヤル。

夜ハ，南耕造君ト云フ人ガ訪ネテ来テ，島民ノ状態□ヲ色々キイテ行ク。

夕方，野元校長ガ，ワザワザ挨拶ニ来テクレル。

十二日 土 朝カラヒドイ雨，終日降ツタリ止ンダリ，ト云フヨリダンダン止ミ，午過ギヨリ夕方マデ降ラズ，夜ニ入りテ又降り出ス，低気圧ギミ，

午後二時頃，役場ニ安達サンヲタツネ，暫ク話シ，後，キサウル ノ所ニ行ク。Uldūlaol

ノ家ニ居ル Ngardūmao ノ娘モ居テ五時前迄話シコミ，ソレカラ野元氏ノ所ニ行ク。パンノ実ヲ馳走ニナツテ日暮迄話シテ居タラ，Kisaū ト Ngardmao ノ娘ガ迎ヘニ来ル。野元氏ノ処ヲ辞シ，Kisaū 達ノ所ニハ寄ラズニ真直グ バス デ帰ッテクル。

朝，役所デ官舎ノコトヲタヅネシモ，一ツモ空キナク，サイパン丸ガ十七日ニ出テカラデナイト定マラス由。

夜，舟木氏一家，外出。

役場ニ居ルトキ松野君ヨリ電話アリ。チト怒ッテル様子。マダ訪ネモセズ，シラセモシナカッタノデ。

発信 倉橋弥一，川路柳虹，松本慕，中野朝明，長谷部言人，八幡一郎

十三日 日曜日 曇，午前中一回驟雨，午後ハ何回トナク雨，朝「アラバケツ」ニ，牧野君ヲ訪ネル。午後，又稍背中痛ク，ツット家ニ居ル。

十四日 月 終日，何回トナクヒドイ風ガ吹イテハ雨ガフル，杉浦君ガ今日カラ Horeyol ニ手ヲツケタイト云フノデ，九時頃二人デ支庁ニ行ッテ，支庁長，庶務係長，ト係ノ人ニ会ッテ打合ハセ，係ノ人ト一緒ニ「バイ」ニ行ク。高瀬貝ノ支払日デ皆夢中ナノデ，^{〔日脱〕}明カラハジメル事ニシ，Petero (Ngirkngil) ヲ通訳ニ約ス。

発信 柴山梅子，百合，綾，明，妙，土方文子，道子，中沢英子，忠忠，土方静子，藤田玉子，竹下源之助，^{〔介〕}三沢露子

十五日 火 終日雨降ツタリ止ンダリ，風吹イタリ止ンダリ，杉浦君ト bai ニ行ク。Umang, Orkril, Ngirahed ヲ呼ビ，Petero, Sūmang ヲ通訳ニシテ……，午迄。

夜，伴沢氏，丹野氏来，会食。

十六日 水 午前中晴レタガ，矢張りヒドイ風ト雨トガ何度モ来ル，午後ハ更ニ悪クテ風雨ノ間ニ日モ照ラナイ，

十二時ニ入ル筈ダッタ サイパン丸ガ遅レテ，午後三時過ギテ入港。学徒至誠団ガ来ルノデ迎ヘニ行ク。夕方食事後，倶楽部ニ訪ネテミタガ，外出シテ留守。

十七日 木 風雨,

十時半頃, 中川氏が来テ, 又「アラカベサン」ヲツキアツテクレト云フノデ, 車デ「アラカベサン」ニ行ク。今日モ, Oleai ノ Potao ト Satewal ノ Ořarebūr¹⁷⁵⁾ ト, 今一人若イ者ヲ呼ンデ調べ, 中食ヲ事務所デ馳走ニナリ, 三時頃迎ヘラタノンデ帰ル。

五時サイパン丸発。

朝呼ンデアツタノデ, 夕方, 皿井ノ長^[長四郎]チャント, 樋口サントガ来ル。会食。十時前迄話シテ帰ッテユク。

十八日 金 風雨,

学^生□徒至誠団ガ十時半ニ「バイ」ニ行ク筈。其後, 中川氏ト本寫連絡道路工事場ヘ Polowat 人ヲ調べニ行ク筈ダツタノデ, 十時役所ノ車デ理事社宅^[ママ]ニ行キ, 中川氏ト共ニ bai ニ行ク。十一時, 理事社宅^[ママ]ニ引返シテ中食。十二時現場ニ行キ, 又来君ノ所デ, Polowat 人四名ニ Satewal ノ Saūmūr ガ居タノデ, コレモ呼ンデ三時過ぎ迄調べ, 三時半迎ヘノ車が来タノデ帰ル。

✓毎日毎日ノ此ノ吹き降りニ, パラオ ハサブク (寒), サブシク (不楽) ナリス

十九日 土 曇, 何回トナク雨風,

昼頃役所ニ, 佐々木, 船山, 石川君等来ル。Ngardūmao, Melekeok ニ行ッテ来タ由。

午後, 皿井ノ長チャント樋口君来ル。写真ヲ撮ツタリ, ピンポンヲシタリシテ居タガ, 二時半頃, 皆デ□熱帯生物研究所¹⁷⁶⁾ ヲ見ニ行ク。和子サンモ一緒ニ。松山君モ居タシ, 九州帝大ノ江崎博士モ来テ居タ。

晩ハ杉浦君ガ見エ, 九時過ぎマデ話シテ行ク。

二十日 日曜日 終日^[雨カ]風降ツタリ止ンダリ,

皿井ノ長^[島]チャング, 本^[島]当行キガ取止メニナツテ, 一日休ミニナツタトテ, 朝カラヤツテ来ル。ソレデ「マーチャン」ナドシテ一日暮シテシマフ。

夜七時カラ不^二屋ニ招カレテ居タノデ行ク。主催ハ文化協会, 産業協会, コブラ同業^{協会}□□組合ガ一緒ノノデ, 招待サレタ人々モ種々デ, 遂ニ知ラナイ人モ多カッタガ, 九大教授ノ江崎梯三氏, 北海道大学□教授栃内氏ソレニ中川氏, 杉浦氏, ソレカラ高亀氏ナドデ, 役所側デハ, 高橋拓殖部長, 榊田商工課長, 地方課デハ課長ガ病氣ナノデ, 林氏, 農林課某氏等見エタ。

支那料理デ, 衣裳ヅキ, ザイバ, 琴デ, 沖縄ノ踊ガ沢山踊ラレ, 産業協会某氏漫談, 農林課某氏ノ手品, 商工課長ノ蜻踊, 某氏ノ十五夜踊等デ賑ヤカナコト。

二十一日 月 相変ラズ天気悪ケレド稍雨少シ、
 午後、又中川サント、本島連絡道路工事場へ行き、今日ハ Mořūlong ノ Seingi ト
 Satewal ノ Saūmūr ヲ呼ンデ、^{M o t ū} □□□□ Mořūlong ノ Satewal (Satewal ai tö) ヲ調
 ベル。

長チャン、朝カラ来テ居テ、夜モ宿ル。
 夜、興発ノ松沢サンが見エ、中山氏一家ガ来ラレ、ソレカラ法院ノ板橋ガ来テ、十一
 時半迄モ喋ッテ行ク。

Mořūlong Satewal ai Tö 11, 117
 Samol:yailang
 Sō̄ab { Efang (1) Alekil (Sabol)
 Lūgūlap (3) Umeral (Sabol)
 Yör (2) Antōne (Soar)

Itali Ut (Efang)

{	Salokang	3 im	Sabol
	Ulūwas	4 im	〃
	Lemangel	2 im	〃
	Rēwai	3 im	〃
	Sor	2 im	Sō̄ar
	Aperas	2 im	Sabol
	Aliyap	4 im	Sō̄ar
Palli	2 im	Sabol	

(Lūgalap)

{	Mallūūk	4 im	Sō̄ar
	Falewil	3 im	Sabol
	Lēmas	3 im	Sō̄ar
	Lūūkal	1 im	Sabol
	Maūlang	2 im	Sō̄ar

(Yör)

{	Tūūloāk	2 im	Sō̄ar
	Pūgollūūk	3 im	〃
	Amareū	3 im	Ilemereū

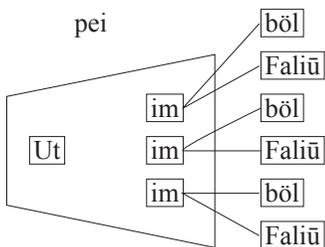
{	Faliyār	2 im	Sōār
	Leamoar	1 im	ゝ
	Olikaū	2 im	ゝ
	Lēroang	2 im	ゝ

此ノウチ Efang ノ Rēwoi ガ Ut-lap トナツテ居ルガ、現在デハ三ツノ Sōāb ヲ全部アツメテモ Yailang ノ数ガ三ツヨリナク、シカモ Ilemereū 氏ハ只一ツノ Pei ニ残ツテ居ルダケデアル。其処デ Seingī ノ覺エテ居ル昔アツタ Yailang ヲキイテ見ルト、次ノ三ツガ拵ゲラレタガ、モットアツタカモ知レナイ。

Yailang li igiūwe { Pūa
Saolūuk
Lēwal

Samol

♀ (likkap)	♀ (mūril)	♀ (palemūril)
♂ Māngel	♂ Makaya	♂ Alekil
(1)	(2)	(3) — 現在



pei 中ノ im ナル者ハ全一 Yailang ニ属ス。但シ招婿婚ナルヲ以テ婿ハ他氏人デアリ、全氏成人ハ他氏ノ pei ニ婿入セルナリ。而シテ再ビ Samoli li pei ハ此ノ他氏ノ pei ニ住スル全氏男長ナノデアル。養子 moi moi ハアレド、所属氏ハ変ラズ。

Lēmasū ノ Samoli li pei ハ♂ Paüllūs, 次タルベキハ Seingī ナリ。

pūipūi { ♂ ^u□□ Ūūmas (1)
Sōār { ♀…………… Paüllūs (2) 現在

〔♀…………… Seingī (3) 次代

pūipūi,

pūiř nge elikkap mmař

pūiř nge ekisi to fai

mengeař řabūt nge likkap mmař

〃 〃 〃 ekisito fai.

Semař …… pūili $\square \square \square \square$ semař, mengeali semař

Ilař …… pūili ilař, mengeali ilař

Semelap (Semali ilař)

Ilelap (Ilali ilař)

Semali Semař

Ilali Semař

Pūppūliū 或ハřali im (Shali im)

Kofoat (互ノ婚約者)

rūale (faū me Satewalai rak)

二十二日 $\square \square \square$ 火 風雨定マラズ、西、
 ヤップ西北五百哩ニ730^{km}ノ颱風アリ。サイバン、テニヤン、昨夜風速30^mニテ家屋
 等災害アリシ由入電。

寒クテ ロイマチス 痛ミ、午後休ム。

長チャン、ズット居リ、夕方帰リユク。

二十三日 水 風雨来タリ止ンダリ、西
 昼前、パラオ丸入港、内地ヨリ。
 午後、マドラス丸出航。直チニ20号ブイノ所デ座礁シテシマヒ動カズ。
 皿井ノ長チャン、樋口サン、終日居テ夜十一時前ニ帰ッテユク。午後四時頃、小倉サ
 ント ナントカサント 来テ、面白イコトラ喋ッテユク。晩、船山、佐々木、石川、三君
 来ル。

二十四日 木 何日ブリカデ晴レル、風盛ニハゲシ、稍南ニマハル、
 午後四時頃、船山君来ル。長チャン、又来テ、夜十時半迄モ居ル。
 第三合宿ノ七号ト云フニ入ルコトニナリ、荷物ヲ運ンデシマッタノ \square ニ、電気ガツカ
 ズ、イクラ催促シテモ駄目。

二十五日 金 晴レタリ曇ツタリ、風強シ、

午後、中川氏役所ニ来テ、「中央カロリン語ノ研究」デ、Satewal 語ヲ習ヒニ来ル。

夕方、野元氏訪問。

夜、舟木氏ノ処ヲ引上ゲ、合宿ニ移ル。

二十六日 土 久々ニ氣持ヨク晴レル、風マダ少シ強シ、

午後、勤[□]勞奉仕デ南洋神社ニ行ク筈ダッタ処、又中川君カラ呼バレ、役所デ四時頃マデ「サテワス」語。今日ノ勤勞奉仕ハ地方課、財務課、稅務課ノ三課ナリ。

午前十一時、遅レニ遅レテ居タ泰安丸入港。「マドラス」丸ハ、アレカラ満汐時ニ引張ッテモ動カズ、積荷ヲオロシテ居タガ、今日ヤットハヅレタ由。オカゲデ「パラオ丸」ハ着イタバカリデ、マダーツモ荷ガ上ラズ、Horecor デハ、魚ガナイ、野菜ガナイト、皆々不平ヲナラベテ居ル。

夕方カラ安達氏ノ処ヘ行ク。ビールヲ馳走ナリナガラ、龍雄モ居テ、九時迄話シ、後 Ilamms ニ行ク。Shūwal ノオバサンモ、爺サンモ居タシ、Ngelūūl, Kūkong¹⁷⁷⁾ モ居タシ、明日ハ Ngarmid ニ行クコトニシテ来ル。

二十七日 日曜日 晴、西風稍[□]強ク、薄雲ガ東ヘ東ヘト飛ブ、夜ハ月ガ大分大キク明ルイ、

〔欄外に記す〕

[Milil era Ngarmid]

朝、舟木氏ノ所ニ寄り、松野氏ノ所ニ電話シテ、Ngarmid 行キヲ誘ヒシニ、昨夜モ Ngarmid ニ行キテ遅クナリシ為、朝帰りシ所ナリト云フ。然シ又出カケテモヨイトノ事デ、南貿ノ所デ待合ハセル事ニシテ出カケル。行クト間モナク、松野氏ハ空氣銃ヲ持參デヤッテ来ル。Kisaūl ノ所ニ寄ルト、Kisaūl ハ大部勞レテ居タ様子ダッタガ、松野氏ガ遮ニ無ニ進メタノデ一緒ニツイテクル。ソレカラ Ilamms ニ行クト Hobūhoū ガ一人居タガ、感心ニパンノ実ダケハ煮エテ居ル。

Kūkong ノ奴ハ Hadūs ニ出テ居ルト云フノデ呼ビニヤル。ソコヘ Ngelūūl ガ帰ッテクル。Hobūhoū ガ帰ッテ来タガ、Kūkong ハツレテ居ナイ。oū shimang デ来ナイト云フ。Ngelūūl ガ又呼ビニヤル。Kisaūl ハ Ngelūūl ヲモ誘ッタガ、Ngelūūl ハ昨日カラ行ク[□]氣ガナクテ、「明日ハオ弁当ハキット煮テオクガ、Ngarmid ニハ Kūkong ト Hobūhoū トダケ行クカラ」ト云ッテ居タノデ、頭ガ痛イカラ行カナイト云フ。ソシテ Ngarahasoal ニバカリ行キ度ガッタガ、今度ハ私が遮ニ無ニ誘ッタノデ、兎モ角ソコ迄一緒ニ行クガ、Ngarahasoal ニ行クカモ知レナイナンテ勿体ヲツケテ居ル。ソレデモイイ、私ハ、ダッテ Ngelūūl ガ自分ノ云ヒ分ヲ押シ通スダケノ我無シヤラヲ持ッテ居ナイ事ヲ私ハヨク知ッテ居ルノダカラ、——ソコヘ Kūkong ガ帰ッテ来タ。ソシテ今一人ノ美人——ソレハ Ngelūūl ノ妹デ、Sahalbid¹⁷⁸⁾ デアルコトヲ今日ハジメテ知ッタノダガ、——二人ハ

ソックリオ揃ヒノ綺麗ナ新ラシイ着□物ナド着コンデ、……サテ行カウトスルト、相変ラズ永イ。Hobūhoū ガ一人ネマキノヨウナ□□着物ヲ着テ居タガ、コレガ引込ンデ□着物ヲ着カヘニカカルト、Kūkong ハ ダラダラト寝転ンデシマフ。Hobūhoū ガヤット弁当ヲ包ミニカカルト、風呂敷ガナイト云ッテ下ノ家ニ取りニヤル。風呂敷ガナクテ□新□聞紙ヲ買ヒニヤル。Kisaūl ガデレダシテ、松野氏ト先キニ出カケテシマフ。手ヲ引張ル様ニシテ尻ヲ押ス様ニシテ、ヤット皆ヲ道迄追ヒ出シ、ソレカラ今度ハ私が鮭ト鱈トミルクノ罐詰ヲ買フト、皆ハドンドン行ッテ、木ノ下デ休ンデ居ル。十時近イ日ハモウ遠慮ナクジリジリト照ッテ居タガ、ノベツニ風ガ吹クノデ、道ハサシテ暑クハナ□イ。皆ニ追ヒツクト、私ハ私ノ罐詰デ重イカバンヲ Kūkong ニモタセル。Kūkong ハ Sahabid ニ持タセヨウトシタガ、結局ハ二人デ両方カラ引張り合フ様ニシテ歩キ出ス。Hobūhoū ハ一番若イカラ仕方ナシニ黙リコクッテ、皆ノオ弁当ヲモッテ歩キダス。□^租□^変□^{ラス}□ Kūkong モ Sahabid モ、ソシテ Hobūhoū マデ赤塗りノ、ソリクリカヘッタ下駄ヲハイテ居ルノニ、Ngelūūl ダケハ相変ラズ素足ダ。Ibūkūl ノ角ノ氷屋デ Kisaūl ト松野氏ガ待ッテ居タガ、松野氏ハ私達ガ近ツクト、又一人デ鉄砲ヲフリフリ歩キ出シタ。Kisaūl ハ机ニ寄りカカッテシマッタママ、頭ガ急イ痛クナッタカラ行カナイト云ヒ出ス。

私達ハ Kisaūl ヲ Ngelūūl ニ任セテ歩キ出ス。緒土ノ道ニ出ルト、皆ハ早くモダラケ出シタガ、全時ニ気楽ニナッテ馬鹿ナ事ヲ喋リ出シ、喋リツツケナガラ、道草クヒクヒ歩イテ行ク。松野氏ニハ直グニ追ヒツク。試験所ヲ過ギルト、モウドコニモ影ハナイ。Kisaūl モ来ナイ。Ngelūūl モ見エナイ。Kisaūl ハ帰ッタカシラ。Ngelūūl ハ Ngarhasoal ニ曲ッタカシラ。墓地ニ行ク道ノ角ニ二本ノ蜻ノ樹ガアツたら、Kūkong ト Sahabid ガ、チョロチョロト道カラハヅレテ、□蜻ノ木^[ママ]ノ陰ニカクレル。Hobūhoū ガ直グニ真似シテ続ク。ソコへ後カラ自転車デ チンチン 鈴ヲ鳴ラシ乍ラ「アイスケーキ」屋ガ来タノデ、私達モソコニ止ッテ、十本ノ「アイスケーキ」ヲ買ッテ、道バタデムシヤムシャト其ノ冷タイ滴ヲ吸フ。「アイスケーキ」ガナクナッタ頃、Kisaūl ト Ngelūūl トガ、トウトウ ヤッテ来タノデ、皆ソノママ歩キ出ス。歩キ出スト直グ、左手ノ沖繩ノ一軒店ニ松野氏ガ入り込ミ、□ Kisaūl ガ悪サヲシナ□ガラ入ッテシマフ。私達ガ ドンドン 行ッテモ二人ハ出テ来ナイ。「メリケン松」ノ下迄来タ時ニ、Kisaūl ガ急イデ来タガ、松野氏ハ上条氏ニツカマッタカラ来ラレマイト云フ。

暑イ道ヲブーツク云ヒ云ヒ歩クト、先ニ行ッタ Kūkong ト Sahabid ガ Hogaol □ニ駈ケヨッテ、モウ滴ル水ヲ口ニウケテ飲ミハジメタ。Ngelūūl モ走り寄り、^H□□□□□^o□□□□□^b□□□□□^u□□□□□^h□□□□□^u□□□□□^o□□□□□^o Hobūhoū モ弁当ヲ頭ニノセテ、両手デ滴ヲ受ケテ貪リ飲ンデ居ル。松野氏ガ早□足デ後カラ追ヒツイテ来ル。✓

二十八日 月 晴、雲稍多シ、

午後又、中川君ニツカマリ、細淵君ト車デ中川君ヲ迎ヘニ行キ、「アバイ」ニ行ッテ拓

本トリ、五時頃迄モ。中川君ト別レテ野元氏ヲ訪ネ、一寸安達サンノ所ニ寄ッテ買物シテ、七時半過ギ帰ッテクル。

泰安丸、^昨□明後日未明出^発□航、マドラス丸卅一日発、^{サイバ}□□□^ンパラオ丸、更ニオクレテ九月三日出航ト変更。早くパラオ丸が出テクレナケレバ、自分ノ事ツタラ何一ツ出来ナイ。

泰安丸デ慈恵ノ新井教□授来、昨夜訪ネシモ、行キチガッテ逢ハナカッタノデ、朝一寸行ッテクル。

南洋神社ノ所デハ、此ノ日曜日ヲ小学校^[ママ]の生徒等ガ勤勞奉仕デ、沖繩人ノ人夫達ニマジッテ、切り開カレタ赤イ山腹ニギッチリト白イ斑ヲ作ッテ、ソレガ下カラ見テ居ルト、小サナ声ト一所ニ蟻ノヨウニ動イテ居ル。

Ngarimidニ下リテ行クト、左側ノ「タマナ」ノ木ノ下ニ、自転車ガ十二三台モ置カレテ居ル。一□体ドンナ人達ガコンナニ沢山デ島民ノ部落ニ来テ居ルノダロウ。自転車「ハイキング」カシラ。

併シ直グニ私達ガNgarbahasisノ「バイ」跡ニ降りテ行クト、ソレガワカッタ。NgarbahasisノHeldükkilノ前、道ヲヘダテタShibongノ庭下ノ木ノ蔭ニ、二三十畳程ニモ莫塵ヲ敷キツメテ、ソコニ三四十人ノ人達が座ッテ居タ。女ノ人モ大分交ッテ居ルシ、十五六才位ノ子供モポツポツ交ッテ居ル。既ニ或ル人々ハ酔ッテ居テ、中央カラ、此ノサンザメキノ中ニ野天ニ、小サナ声デ鳴ッテ居ル蓄音器ニ合ハセテ手ヲ叩イテ歌ッテ居ルモノガアリ、或ル人々ハ立上ッテ、ソノ「ポータブル」トハ別ニ、一人ノ者ニ歌ハセテ踊ッテ居タ。話ガ飛ビ、剽軽ナ踊ニ笑ヒガハジケタ。中ニ五人モ六人モ、アノ子供ラシイ円イ襟ノ水平シャツヲ着テ居ル人達が居ルノデ、彼等ガ航空会社ノ関係ノ人達デアルコトガワカル。NgarbahasisノHelüdükkülハト云フト、コレモギッチリト人デ埋マッテ居ルガ、コチラハ島民バカリデ、此ノ盛ナ行楽ノ有様、殊ニハ男達が踊ル^[舞]漂軽ナ踊ヲ喜ンデ見トレテ居ルノダ。私達ノ連レノ女達モ先キニ来テ、此ノ見物人ノ中ニ入ッテ居タ。モットモット見ルト云フノヲ、言葉デ引摺ル様ニシテ奥ヘ入ル。KisaülハMehelingsガ来ルヲ待ツト云ッテ、babel Ibükülニ止マッテシマフ。私達ハ真直グNgürmülongニ行ッテ、皆デUmニ上リ込ム。

此ノ頃NgaraldノOshikガヤット大人ニナリカケテ、此ノNgürmülong^[ママ]ノ家ノ娘ノ所ニ婿ニナッテ来テ居リ、ソシテオ土産物ノ人形ヲ作ッテ居ルノダ。Oshikハ此ノ昼前カラ昼寝ヲシテ居タガ、叩キ起コサレルト、惶テテ椰子ノ木ニ登ッテ五ツ六ツノ若椰子ヲ落シテ、皮ヲムイテ持ッテ来タ。女達が忽チ取りッコシテ、ソレヲ飲ンデシマッタ。私モ一ツ飲ンデユックリシタ。此ノ家^[屋]ハ涯ノ上ニ立ッテ居ルノデ、「マングロップ」ノ梢ノ上ニ小サナ静カナ青色ノ海ト、所謂南洋松島¹⁷⁹⁾ノ青イHalebahabトが見エ、ソノHalebahabトソノ小サナ海カラ涼シイ風ガ吹イテ来ル。

女達ハ裏口カラ一人降り、二人出テ、皆何処カニ出テ行ッテシマッタノデ、ノゾイテ見タラ、^{〔崖〕}涯際ノ二抱ヘモアル大キナ Amiyūh ノ木ノ根ニ凭レタリ寝コロンダリシテ、気楽ニオ喋リシタリ、小サナ声デ歌ツタリシテ居ル。松野氏ハ^鳥□鳥ヲサガシニ出テ行ツタキリ帰ラナイ。私ハ Oshik 二人形ヲ出サセテ見タリシテ居タガ、Hobūhō ノ赤イ下駄ガ置イテアッタノデ、ソレヲツツカケテ皆ノ所ニ降りテ見ル。大木ノ下ニハ椰子ノ葉ヲ敷イテ Sahabid ガ一人デ寝コロンデ居ルダケデ、ダラダラ下リタ道ノ所デ Ngelūūl ト Kūkong トハ、一生懸命ニ Amiyūh ノ実ヲ割ッテハ食ベテ居ル。松野氏モイツ□ノ間ニカソコニ交ッテ Amiyūh ヲ割ッテ居ル。私ハ Sahabid ノ寝テ居ル側ニ座リ込ンデ、下ノ者達ニカラカッタリ、歌ツタリシテ居タガ、下デハ冗談ヲ云ヒ云ヒ、併シーツ割ッテハ食ベ、一ツ割ッテハ食ベ、口ヲモゴモゴサセテ居ルノデ、俺ノ Amiyūh ハ□誰ガ割ッテルノカ？ トドナツタラ——感心ニ、Ngelūūl ガ直グニ立上ッテ、木ノ葉ニ盛ツタ Amiyūh ノ実ヲ三四十モ持ッテ来テクレル。モウスツカリ昼ニナツテ居ルノデ、皆ヲ呼ンデ家ニ上ッテオ弁当ニスル。

オ弁当ト云ツタッテ、イツモノ通りダガ、持ッテ来タ「パン」ノ実ト、ソレカラ罐詰ガ開ケラレテ、幾ツモノ Pūlatong ニ盛ラレ、ソレカラ私ト松野氏ニハ orokang ニイッパイ angdūūl ノ ebiottl ガアツタシ、ソレカラ Oshik ガ何処カラカー皿ノヨク熟レタ「バナナ」ヲ探シテ来テクレタ。女達ハ一方ニ大キナ swalo ニ山ノ様ナ、併シヨク熟レテハ居ナイヤウナ「パン」ノ実ヲ出シ、一ツ皿カラ罐詰ノ鮭ト鰹トヲ交リ交リ手ヅカミニシ、ソレカラ汁ヲスリ合ッタ。ソノ間中、六七人モ集ツタ女達ハ、誠ニ家ノヤウニカシマシク冗談ヲトバシ、唾ヲ飛バシ、笑ヒサザメキ、ソレカラ一度二度ハエライ音ヲサセテブチアッテ居タ。明ルイ真昼ノ涼シイ風ノ朗ラカナ食事が終リカケタ時ニ、海ニ行ツタ男達ガ a būp 籠カラ大キナ魚ヲ上ゲテ来タ。間モナクソノ魚ガ焼カレ、新ラシイ魚ノ生焼ケハ実ニオイシイ。一罐ノ「シヨール」ガ出サレ、皆ハ再び腹ノフクレル程食ベタ。

食事が済ムト、皆ガチラバラニナツタ。Kūkong ト Sahabid ト、ソレカラ今一人ノ女ノ子ガ向ヒノ「タマナ」ノ□木ノ下ノ Skelsol ノ太イ竹デ作レタ縁台ニ腰カケタノデ、私ハ其処ニ立ッテカラカヒハジメタ。松野氏モスグニ来テ、女達ノ隣リニ腰ヲオロシタ。又歌ガハジマツタ。Matomatong ノ歌ガ。私ガ足デ調子ヲトルト、女達ハ手振りヲ加ヘ、腰デ調子ヲトツタ。イキナリ五六本ノ竹ガ折レテ、皆^{〔ママ〕}イイッショニ下ニ落チテコロガリ、オマケニコソニ乗ッテ居タ馬尻マデヒツクリカヘッテ、水ガ飛ビ散ツタ。皆ガ^{〔ママ〕}ゲラゲラト笑ツタダケデ、縁台ハコワレタママ、誰一人省ミヨウトハシナイノデアル。台ガコワレテシマフト、皆ハ惜シゲモナク其処ヲステテ、Mahang ノ a taoh ニ降りテ行ツタ。海ハスツカリ干テ居タノデ、皆ハ下駄ノママ、小サナ Dūhūl ノニュキニュキ出テ居ル浜ニ飛ビオリ、Kabūrs ノ下ヲクグッテ海岸ヲマハツタ。

何ト云フ事ハナイ、大キナ声デ歌ヲウタイ、「マングロブ」^{〔ママ〕}ノ実ヲムシ□ッテハ投ゲタ。又、amiyūh ノ実ヲ集メテ岩ノ上デガチンガチン割リハジメタ。Ngelūūl ハ岩ニ、又

Dübül ニツイテ居ル Ngiūd ラクダイテハ、生ノママ ペロペロト タベタ。皆ハ何処迄モ Kabürs ノ中ニ分ケ入ッテシマッテ見エナクナッタガ、時々遠クノ方カラ大キナ声ガキコエタ。私ト Ngelüül ト Kūkong トダケガ残ツタ。私達ハ Kabürs ノ倒レタ幹ニ、ソレゾレ場所ヲサガシテ凭レテ寝ソベッテ話シタリ、歌ツタリシテ居ルト、先キニ行ッテ連中カラ、「上ルヨ」ト声ガ送ラレタ。私達ハ先キ迄行クノガ大儀ダッタノデ、後ニ引返シテ元来タ道ヲ登ツタ。「タピオカ」ノ畑ノ中頃カラ右ニ折レテ、又ダラダラト下ルト、Iptang ノ家ニ松野氏モ Sahabid モ Hobūhoū モ汗ヲダクダクカイテ居タ。家ニハ若イ夫婦ガ小サイ子供ト三人デ居タガ、私達ハ水ヲ浴ビルツモリデ又登リ、右ニ下ッテ a diong ra Iptang ニオリタガ、ソコニハ大キナ沖繩ノ女ガ池ノ真中ニガンバッテ、沢山ノ洗濯物ヲ ジャブジャブ 洗ッテ居テ、動カウトモシナイ。結局私達ガ負ケテ、皆デ元ニ戻ツタ。「タピオカ」畑ガ尽キテ Hadūs ニ出ルト、反対ノ taog ノ方カラ Kisaül ト Mehelings ガ上ッテ来テ私達ヲ見ツケタ。彼女等ガ最初ニ叫ンダ言葉ハ「松野サン、私達ノオ弁当ハドコニアルノ。私達オ腹ガペコペコ!」。スルトコッチノ女達ハオ互ニ目デ合図スルト、ニヤニヤ笑ヒナガラ、怖い怖いト小声デ云ヒナガラ駈ケ出シテ道ヲ登ッテ逃ゲテ行ッタ。Mehelings ト Kisaül トガ入レ代リニ駈ケ上ッテ来ルト、イキナ□リ私ト松野氏ニカカッテ来タ。私達モ、トウトウ負ケナイデ、決シテアヤマラナイ。

女達ハ a diong ra Iweyang ニ行ッテ水ヲ浴ビテ綺麗ニ髪ヲカイテ上ッテ来タ。ソレカラ、

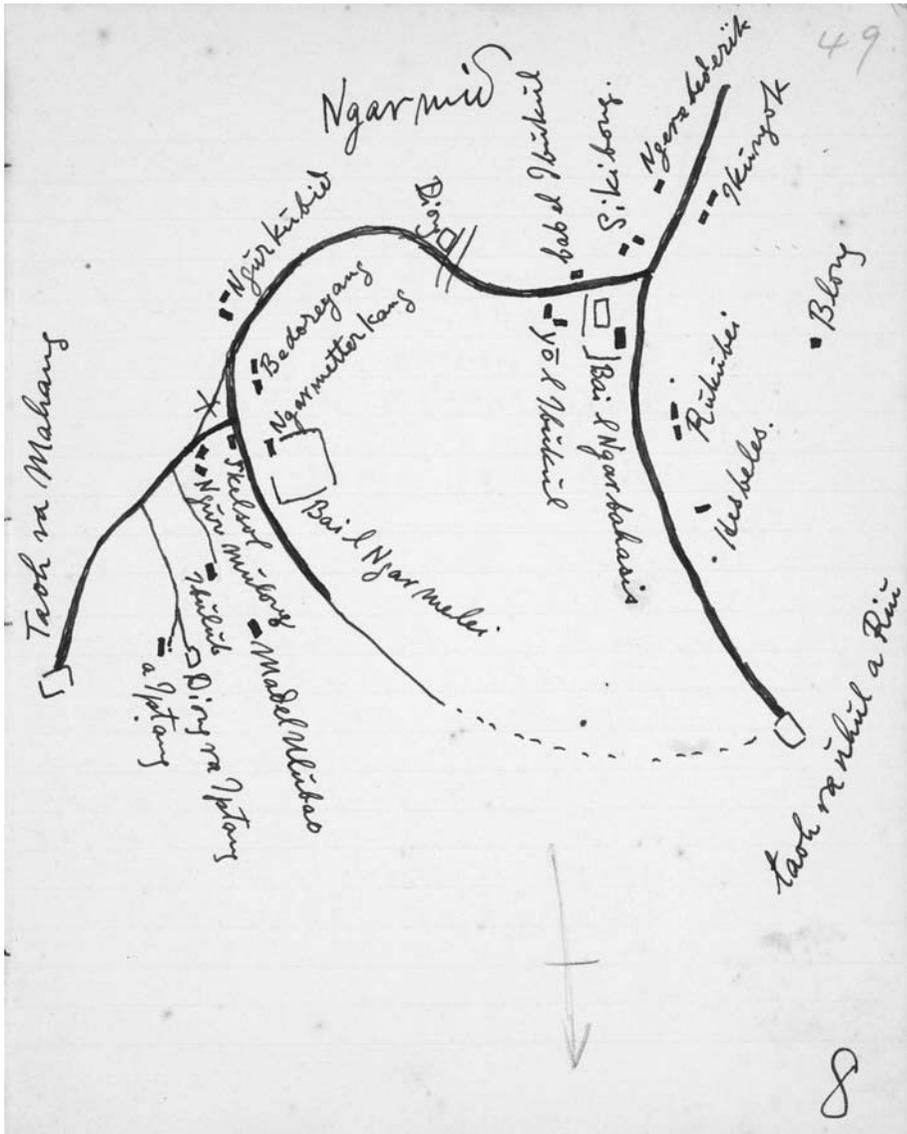
二十九日 火 晴，暑，雲多ク昼前小雨アリ，

平沼内閣総辞職

阿部信行大将ニ大命降下，

三十日 水 曇，晴，午スギ及ビ夕方，小雨アリ，

学生カラ人形ヲ集メテホシイタノマレテ居タノデ、夕食後、ブラブラ村ノ方ニ出テ行ク。Kisaül ガ居テ、Mehelings ト Ngarbahed ノ松野氏ノ所ニ行ク所ダト云フノデ、□□待ッテ居ルト、直キニ Mehelings ガヤッテ来タノデ、一緒ニ Ibūkūl ニ Tadong ヲ訪ネタガ留守ナノデ、引カヘシ、Ilamms ニ一寸ヨッテ、Tadong ニ^書□言伝ヲタノンデ来ル。Sūeko ノ処ニ「オートバイ」ガ来ルコトニナッテ居タノデ行キ、松野氏ニ電話シテ置イテ行ク。



三十一日 木 曇，午後三時前ヨリ，一天忽チ暗ク雨ニナリ，夕方迄盛ニ降ル，後止ミシモ雲去ラズ，月朧，

夕方後雨モ止シタノデ，本ヲ取りナガラ プラブラ 舟木氏ノ所ニ行ク。イツ迄モ電気ガツカナイノデグツグツシテ居タラ，長チャンガヤツテ来ル。^{〔食カ〕}八時半頃帰ツタラ，留守ニ松野氏ガ尋ネテクレタ由，又 Mehelings ガ来タ由デ，「バナナ」ガ一総置イテアル。九時頃ニナツテマタ Mehelings ガ Kisaül ト二人デヤツテ来，十一時半迄居テ帰ル。

〔1 頁白紙〕

九月

一日 金 晴，雲多ケレド日強シ，夕方ヨリ風全クナシ，十七日ノ月ヨシ，
夕方，松野氏，紅雀二羽打ッテ来テクレタノデ，倶楽部ノオヂサンニ仮ハクセイニシテ
貰フ様ニ頼ンダガ，学生達ガ五十人モ来テ居ルノデ，忙ガシクテトテモ出来ナイト断
ワラレテシマフ。

松野氏ト更ニ森井氏ヲ誘ッテ村ニ出，「イブクル」迄歩キマハッテ，十時頃帰ッテ来
ル。松野氏ハ Ngarahamaes ニ行ッテシマフ。

先日ノ泰安デ，Lūta カラ金井新吉氏ガ出テ来テ居タガ，今日ハ役所ニ来テ二三時間モ
Lūta ノ巨石遺物其他ニ就イテ話シテ行ク。

村上氏モ本島カラ出テ来タトテ寄ラレル。近頃，「^{〔ママ〕}ガラスマオ」の施設デズット向フニ
居ルヨシ。

二日 土 晴，雲多シ，

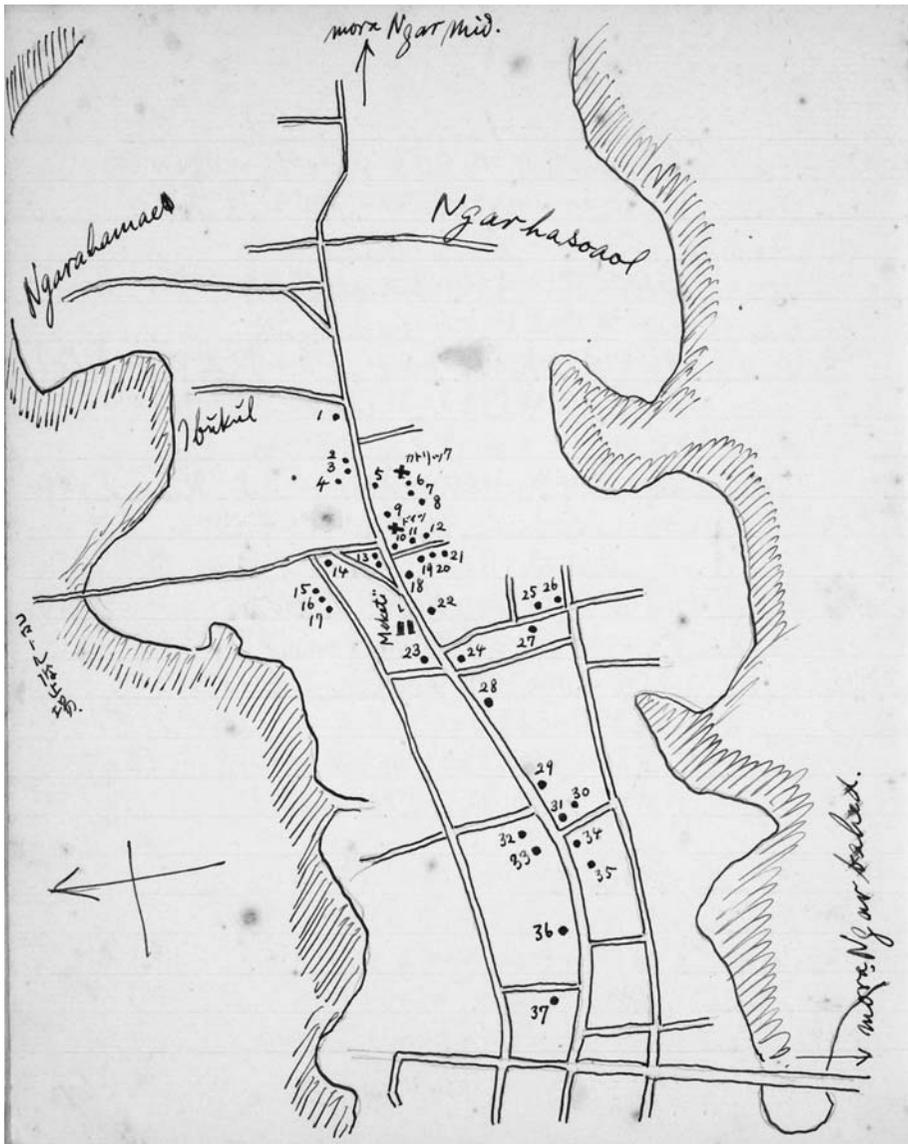
昨日カラ体育向上運動デ，十日迄毎朝五時半起床，五時四十五分ヨリ，各所デ「ラヂ
オ」体操ガ行ハレルノデ，昨日ハ出席。ハジメテ「ラジオ」体操ヲヤッタガ，今日ハ五
時カラ起キテ用意シテ居タガ，丁度時間頃，風ガ盛ニ吹イテ雨が来ルバカリニナッタノ
デ，休ンデシマフ。

役所ニ中川氏来，Satewal 語ヲ習ヒニ来ル。

明日パラオ丸ガ出ルノデ，松山義夫氏（水産学），小倉謙氏（植物教授）挨拶ニ^出□来ラ
レル。

夜ハ森井氏，小林氏（農林）ト村ニ出，Kisaūl ヲ伴ナヒ，Ibūkūl ニ Mehelings ヲ誘
ヒ，皆デ Ngarmid ニ行ク。Oshik ニ逢ッテ，学徒至誠団ノ遠藤君カラタノマレタ Dūlūkai
ヲ取ッテ来ル為ナリ。幸ヒ二十個アリシモ，目ノ貝殻ガ入ッテ居ラズ，明日午過ぎ迄ニ
出来ルダケ入レテ持ち来ル様タノンデ来ル。 婦リ月明ルシ。□山ノ下デ永イコト休ン
デ，十二時前帰ッテクル。

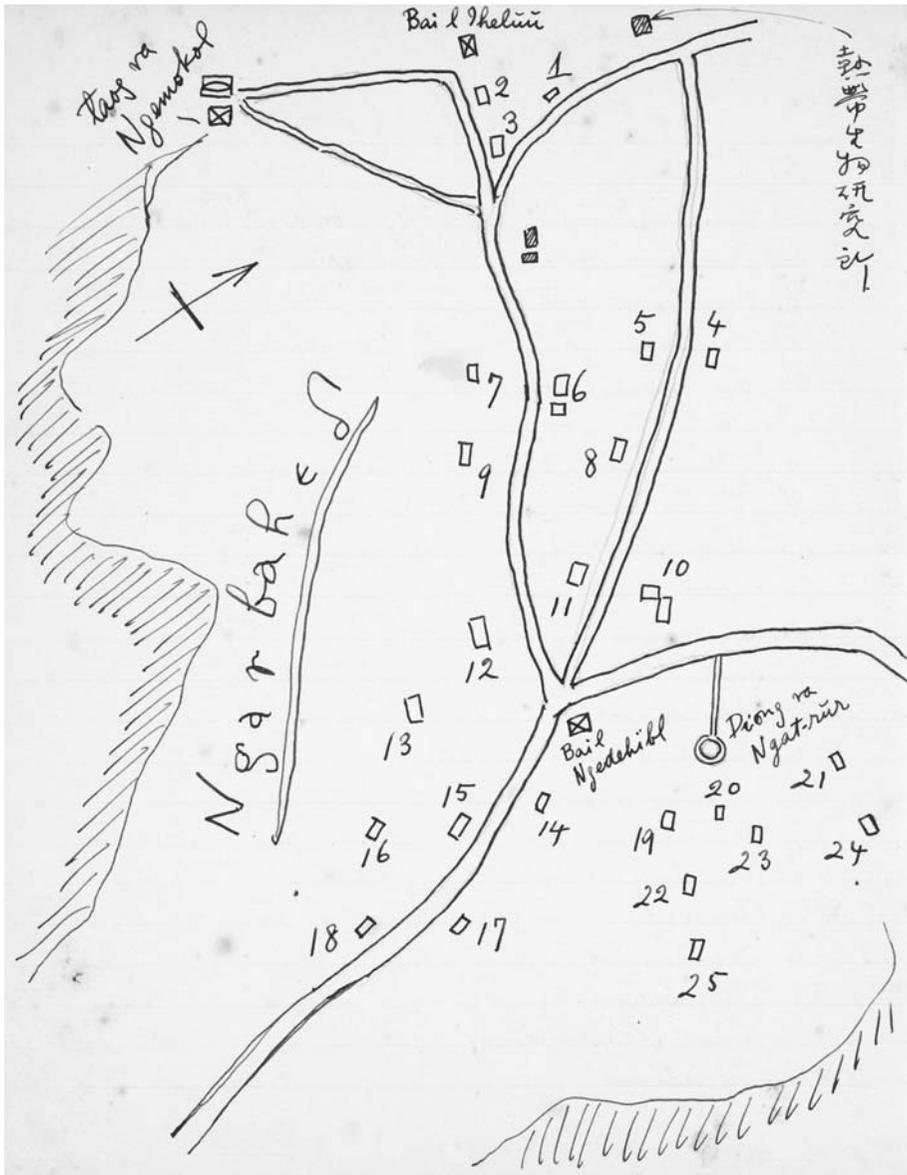
独逸，ポーランド開戦。



a Blai ra Horeor (現在)

1. Ēleū
2. Ilamms
3. Itūngngl-bai
4. Olūngembang (Ikelaο) 2.
Umang
5. Sūh (Ikelaο) 2.
Uhel Kemūl
6. Tnger
7. Nglis
8. Nger Mokilong
9. Ērang (Eherang)
10. Tehegī
11. Ngarengī
12. Mūtokul
13. Ngere mesūngil
14. Dūdūl
15. 16. 17. Mariyar
18. Idid
19. Obeketel
20. Esūloi (Ikelaο) 1.
Ngira Tebl
21. Brekong
22. Itaharengel
23. Kim (Ikelaο) 1.
Merf
24. Ikelaο
25. Nger Pkoī (Ikelaο) 1.
ᄒMengiyol
26. Būūh
27. Torosao
28. Omūti loū
29. Milong (Ikelaο) 1.
Isikawasang
30. Telolī
31. Ngermerīl
32. Mahal bang (Ikelaο) 1.
Medalarak
33. Ibai
34. Ingeyaol
35. Tehemūding
36. Ngardongol (Ikelaο) 2.
ᄒHalongoi
37. Temarikel
Tolwal
Belolūi (Ikelaο) 1.
ᄒHotong
KHawang (Ikelaο)

[N1, 147] 参照



[25, 41]

a Blai ra Ngarbahed 1939.9. 現在

1. Deleb
2. Mütngerūr
3. Ked
- 6⁴□. Nger Mahaet
5. Sorūh
- 4⁴□. Iloū
7. Iyep
8. Olūblai (Olūblai)
9. Nget Belao
10. Bab el Mehim
11. Yoū l Mehim
12. Kerekūr
13. Tehilloi
14. Ibiyohol
15. Nger Ibūkūl (Mūrimarang)
16. Sūmesang
17. Ngelūdals
18. Imadeliang
19. Telael
20. Ngar Belao
- 23²¹□. Ngetehedong
22. Nger Madūriang
- 21²³□. Idetimml

三日 日曜日 快晴, 風無ク暑シ,

朝十時前ヨリ, 森井氏ト Ngarbahed ニ行キ, Nger Maet ニ行キ, Nget Belao ニ行キ, ayaoh ノ所デ話シコンデ, 昼頃カヘル。

Mehelūngs, a Derai, Uhelbil 遊ビニ来ル。

Osik, 人形ヲ十組ソロヘテ持ち来ル。

バラオ丸ガ出ルノデ二時過ギ出カケ, 舟ニ行ク。中川氏, 小倉氏, 桧山氏, 学生団, 高亀氏, 等皆帰ル。栃内氏モ。

夜, Kisaūl, Kliū ガ, 「バナナ」「サウサプ」「パイナップル」ヲモッテ来テクレル。又, 十二時ニナル。

四日 月 明方暫ク雨，直グ晴レテ暑シ，午頃パラパラ雨，後雲多シ，
英，宣戦布告（対独）
夕方，イツカ役所ニ来タ高松ト云フ人¹⁸⁰ 来ル。

五日 火 晴，昼前ヨリ雨降り，後小雨時々降り，
仏，亦宣戦布告（対独）
夜，板橋クン来。

六日 水 朝迄小雨アリシモ，後ヨク晴ル，但シ風冷々トシテ涼シ，
朝，山城丸入港。

受信 金子九平次，太田広，山口歌子，土方文子，中沢英子，柴山妙子，本多観子，
雑誌「南洋水産」「オール女性」

Tal Dronghokl era Tehekī	Ngira Tehekī	
♂ Orkūrīl ⁵⁵ (keb.Ikelao)		
♀ Dira Itong ³¹ (behil … Keb.Ngedongoll era Ngürdmang)		
×♀ Tutoūd ¹⁸ (rrodor … aHol, keb, TengaDik (2))		
(♂ Teteo (Keb.Ikelao) ニ嫁)		
♂ Takao ¹²	}	
♂ Sōkok ⁵		angalkir Orükūrīl
♂ Odesangngal ³		ma Dira Itong
♀ Kisaol ³²	Demal Orkūrīl (Keb. Ikelao)	
	Deral Dire Hong (Keb. Idid)	
×♀ Hatsüe (orrodor … Dem. Miyosawa (日本人)		
Der. DiraNghi (Keb. Ngertūlog era Ngarmūngūi)		
(♂ Elbokol (era Ngardūloloh, Keb?) ニ嫁)		

Orkūrīl ハ Ikelao ノ者ナレバ，Ngira Tehekī タル謂ナケレド，Tehekī ラ継グベキモ
ノ既ニナク，云ハバ，Tehekī ノ Dūi ハ Ikelao ニ取ラレシ形ナリ。

✓ DēreHong = Delekong

Tal Drongkokl era Milong	
♂ Isikawasang ⁴⁵ Dem. Ngirdongoll (Idid)	Der Hayangngal (Ikelao)
♀ Dirmasah ⁴⁶ (behil, keb, Uhelioyō era Ngarkeyūkl)	

♀ Lōsī²¹
 ♀ Ngardoko¹⁹
 ♀ Dira Tehaki¹⁵
 ♂ Ngat Belao¹⁰
 ♂ Silūbes⁶

} a ngalūkīr Isikawasang ma Dirmasah

Helilai era Nghemiliangngal

× ♀ Dira Inglai²⁶ ^{Der Ngadikis (keb? era Imi rīk)} Dem. Daniel (keb. Ikelaο)
 × ♂ Ngīrokobai²² ^{Der} Dem } 全上
 (♀ Dira Inglai ハ Ngkesar ニ嫁 ^{♂ Orkūrīl} keb. Yesūngai ヘ
 ♂ Ngīrokobai ハ Ngarmid ニ婿 ^{♀ Marūtang} Keb. Ikelaο ヘ

♀ Dira olūdekel⁴⁴ ^{Der Dibūk (Ikelaο)} Dem. Kalei (Ikelaο)
 ♀ Kesao¹⁷ ^{Der} Dem. ♂ Baiei (Keb. Rois era Ngarahamaio)

此ノウチニ組モ Ikelaο 全氏ノ婚姻アリ。Ikelaο ニハ $\square \square \square \square \square \square$ terūl wah ガアルカラ、直接親類デナイモノ全志ハ婚姻ガ可能トセラレタモノカ。ナホ、Bittal wah me bittal wah ノ内容ヲ調ベシ。

Ngira Eteet. Tal Drongkoki era Heteet
 ♂ Ngira Howes³⁹ ^{Der ♀ Kūbarī (Keb. Ikelaο — milong) a =Ongolibul} Dem. ♂ Milong (Keb. Idid era Hol) a derala (♀ Ngirūr a mlo orrodor)
 ♀ Uhelbessang³⁰ ^{Der ♀ Ngheroū (Keb. Ngesehei era Ungiwal)} Dem. ♂ Mūkūreos. (Keb. Udūs era Melekeok)
 ♀ Ungil rengūl⁶ (a ngalūkīr Ngira Howes ma Uhelbesang)

♂ Ngir Ngarwangngal²³ ^{Der ♀ Kūbarī} Dem. ♂ Milong (kekeriel Ngira Howes)
 ♀ Ngirūr⁵⁵ (Keb. Heteet) der. Ongolibul

♂ Ngirbabūl³⁰ ^{ngalūk rrodor era Ngirūr} (Keb. Uhel Keyūkl era Imirīk) dem. Had ra Eteet
 ♀ Direbekiyal (behīl, Keb. Hasel era Ngasakang)

♀ Uheliyang¹⁶ ^{ngalūk rrodor Ked era Ngirūr} (Keb. Terē Ked era Imūr)

此処デモ Ngirūr ガ Heteet ノ最後ノモノデ、実子ガナイ為、養子ナル Ngira Howes ガ Ngir Heteet ノ Dūi ヲ継イデ居ルノデ、此ノ家ハ Ikelaο 氏族ニヨッテ代ハラレタコ

トニナル。

此ノ様ニシテ ohell ガ絶エタル時ハ他氏族人ナル ülehell ガ入ッテ、其ノ家ノ merreder ニナルノデアッテ、氏ガ変ッテシマフコトニナルノデアル。

但シ此ノ今ノ場合、Ngira Howes ハ^{u h e}□□□ ülehell デモナイガ。

七日 木 晴レテ涼シ、稍雲多く、夜遅ク雨アリ、

夜、Losi トUheliyang ガ^(密)密柑ヲ持ッテ来テクレル。一緒ニブラブラ出、自分ハ Ilamms ニ行ッテクル。

[欄外に記す]

[此ノ Ilamms ハ変ナ変遷ヲ経テ、変ナ人々ガ家庭ヲナシテ居ルノデ、前夫ノ子 Ngelüül ト、新夫ノ連子 Kükong トハ互ニ如何ナル関係ナルカラキイテミルニ、^{N g a l ü d e}□□□□□□□□^{r i}□ terüng dos ニ準ズルトノコトデアッタガ、厳密ニハヤハリ□ドコ迄モ「義」姉妹デアッテ、Ngelüül カラ云へバ、merrengék'langalüked a demak ト云フベキデアルト云フ。]

┌ Tal Dlongkokl era Ilamms ┐

{ ♀ Siwal⁴⁸ (Keb. Ngar Mellong era Ngarahasoal)
♂ Meledang⁶⁰ (behil a Siwal, derek behil)

♀ Ngelül (Dira ngelül)²⁶
× ♀ Sahabid²³
♂ Giülüül²¹
× ♂ Mittelwai¹⁷
♀ Hobhoü¹⁵

} te a ngalükir
♀ Siwal ma Makamad,
ng Klotloal era Irehal
ng mlamad
ng mlekiei ra tial Blai

(Sahabid ハ Ngarbahed ノ Sorüh 家 ノ 嫁 — Ngalmellong ra Ngarahasoal — ニ貫ハル)

(Mittelwai ハ Idid ra Nglis — Êrang ニ養子

♂ Halap²⁶ dem. ^{d e r ?}□□□□□^{k e b} Kasol. keb. Otong era Ulimang.
(behil a Dirangelül)

♂^{Y o s e f}□□□□□ Yohang⁶ Dem. ^{D e r}□□□□□^{Ü k o l}□□□□□^{k e b} Hasel ra Ngasakang era

(Ngalük rrodor era Dirangelül)

[欄外に記す]

[Ilamms ハ Makamad (Ongolahal 氏) ノモノデアッタガ、Makamad (前 Klotloal) ガ死ンデ、Siwal ニ離縁金ノカハリニ、此ノ家ヲ与ヘタ。ソコデ此ノ家ハ Siwal (Ngalmellong 氏) ノモノトナッタ所へ、現在ノ Meledang (Kaboü 氏) ガ入婚シテ来テ居ルノデアル。]

♀ Llommsreng⁴ ^{der} ^{Karming} ^{Keb?} ^{Hadera} ^{Kabibük} ^{era} ^{Ngkamilianggal}
dem. Arewang Keb. Ongall era Müdolm

(Ngalük rrodor era Siwal)

♀ Kükong²⁰ ^{der.} ♀ ? ^{Keb.} Ngarmokm era Ngersül
dem. ♂ Meledong

(欄外に記す)

[Klotlaol era Irehal]

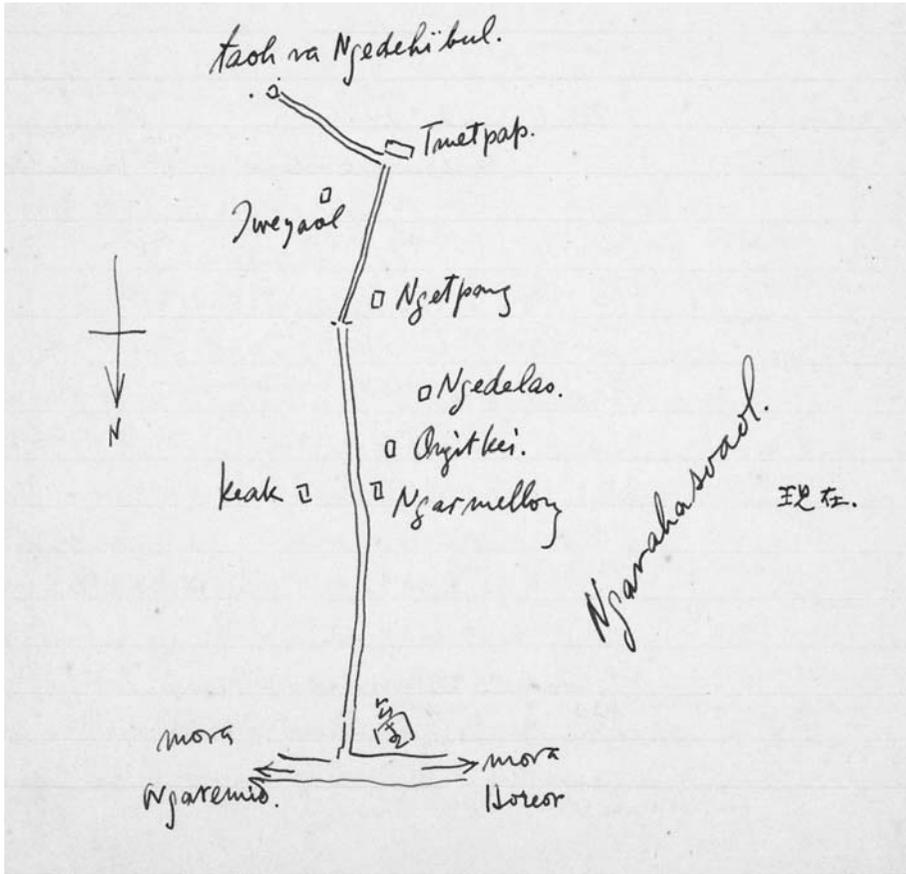
♂ Makamad ^{der.} (Ngermesüngil era ^N^g Ongolahal)

dem. Umrang era Melekeok

(Mahamad ノ母ハ Liyal ト云ツタガ, Papūa ノ者デ流着者デアル。ソレヲ Idid
ノ ♀ Diriyōu ノ母ガ養子トシ□テ, 氏人トナシタ)

八日 金 晴, 午後暫ク雨アリ, 夜遅ク又雨,

昨日, 猿田彦三ノ文ガ新聞ニ出テ居タ中ニ, □^地土地ノ借地権利金ノ問題ニ関連シテ,
役人ノ一部ガ云々トアツタノデ, 事実ノ有無ヲ調べテ見テホシイトノコトダツタノデ,
午後カラ村ニ出ル。役□地ニ安達氏ヲ訪ネテ少シ訪ネテ見タガ, 勿論詳細ナルモノハナ
ク, □二三ノ件ニツイテ評判ダケヲ知り得タノデ, 雨ヲ止マセテ出カケ, Maria¹⁸¹⁾ ニ逢
ツタノデ, 其ママ一緒ニ Ingeyaol ニ行ク。Rūbasah モ Ngardoko モ居タノデ, バナナ
ヲ食ベナガラ暫ク話ヲキキ, 出テ今度ハ Milong ニ行ク。Isikawang ハ bai ニ行ツテ
留守ダツタノデ, Diratehekī ニ呼ビニヤル。本願寺問題ヲ詳細ニキキ, 暗クナツテシマ
ツタノデ, Losī ニ「パン」ヲ買ハセ, Diokang ノ Plūm ト鱗一枚ガ一寸二分モアル様ナ
Amamml ノ汐焚キデタ食ヲ取り, 暫ク話シテ帰ル。帰り林サント湯浅サント散歩シテ
ルノニ逢ヒ, 一緒ニ帰ツテクル。森井氏来テ, 十一時前迄話シ。



- Tal dlonghokl era Ingeyaol Rūbasah
- ♂ Wiliam ⁷³ Der Iūkei Keb. Ngarmel Dem. William Gibbon (米人)
 - ♀ Ngerdoko ⁶² Der (ardil era Rūk) (Idid) ^b Dem. Captain Clark (米人) (behil a Wiliam)
 - ♂ Sepalt ³⁰ Der Ngerngi (Keb Ngarkamis era Miyūngs. ^b) Dem. Balau. Keb. Terekieū era Ibūkūl
(ngalūk rrodor era ♀ Ngerdoko)
 - ♀ Maria ²⁴ Der Delekong Keb. Idid i Dem. Timalong Keb. Uheligoū era Ngerdeloloh.
(ngalūk rrodor era ♀ Ngerdoko)
 - ♀ Gres ⁴ Der Maria Dem. Ngiraibai Keb. Udūs era Melekeok.
 - ♀ Hohop ¹² Der Ebil Keb Kerekūr era Ngerbahed Dem. Ngiraked Keb. Idid.
(ngalūk rrodor era ♀ Ngerdoko)
 - ♂ Makū ¹⁶ Der } Had era Rūk

(ngalūk rrodor era ♀ Ngerdoko)

Wiliam ハ Ngara Ingeyaol 氏ノ者デナク, Ngermeril カラ出テ Rūbasah ノ dūi ヲ継イ
デ居ルガ, 是レハ当時ノ変則デアルト彼自身が云フ。ソレデアルカラ, 次^第□代ノ Rūbasah
ハ□ Iteherengel ナル Ngera Ingeyaol ノ者ガ継グベキデアル。云ハバ中継相続人デア
ラウ。

Balaū ハ Ibūkūl ノ Terekieū ノ者デアルガ, Idid ニ貰ハレテ育ツタ。云ハヌル had
era Idid デアル。

(欄外に記す)

[Wiliam ノ最初ノ妻ハ Luul ト云フ女デ, Ulimang 部落ノ第一氏族ノ者デアル。其ノ子
♂ Chary ト ♂ James ガアルガ, Chary ハ母ノ血統ニヨツテ現在 Ulimang ノ第一長老
Behes トナツテ居ル。Luul ガ死ンデ, 再ビ妻ヲ迎ヘタガ, 子ガナクテ離縁シタ。Ngardoko
ハ第三ノ妻デアル。]

九日 土 終日雨降ツタリ止ンダリ, 寒イ,

此処暫ク忘レテ居タ背中ガ痛ム。

午後暫ク, 舟木氏ノ所ニ行ツテクル。

十日 日曜日 朝ノウチ晴レタガ, 昼頃カラ又一面ノ雲ニナリ雨ニナリ, 三時間余モ
降ツテ止ンダガ, ズツト終ツタママ, 北西風デヒヨヒヨ寒イ,

Tal dlonghokl era Ngerengi Tnger
♂ Ngira Helūwol⁴⁰ {^{Der Kūbari Keb Ikelao} Dem. Milong. Keb. Idid
♀ Opkall³⁸ {^{Der Tema ūngil Keb Ikelao} Dem. Nira Iwosoh Keb. Ikelao (a Wang 家)

(behil a Ngira Helūwol

♀ Fransisūko¹²
♀ Mesūngil⁸
♂ Isak⁵ } a ngalūkīr Ngira Helūwol ma Opkall

♀ Kabūrilang¹⁸ {^{Der Tema ūngil} Dem. Lebelūūd. Keb. Hesūloi era Irai.

Ikelao ニ於テハ Terūng Wah ガアル為, 全氏内ノ婚姻ガ屢々見ラレルガ, 是等ハ勿論変
則デアツテ, 昔ナラバスルモノハ Ngira Ikelao 或ハ Mirail ニナル資格ヲ失フノデアル。

Tal Dlonghokl era Obeketil
♂ Keyūkl⁵³ {^{der R i y a ū r (Idid)} dem. (Ungiwa ヨリ来リシ「マニラ」人)
(Keyūkl ハ現在 Ngiriyōū l Idid ナリ)

- ♂ Ngoriyakl ²³ { ^{Der} Dem. ^{Taldil} Torwal ^{Keb} Keb. ^{Idid} Ikelaο
 ♀ Rolmī ²⁵ { ^{Der} Dem. ^{Keb} Adelbai. ^a Keb. ^{Klang era} Ngerūtelehī ^{Nger} m ū l ū n g g ū i
 (behil a Ngoriyakl)
 ♀ Tarū (Bilūng) ⁷⁷ ^{Keb} Keb. ^{Idid} Idid (Riyaūr ノ妹)
 ♀ Metawī ⁴⁰ { ^{Der} Dem. ^{Keb} Isewei. ^{albūuk} Keb. ^{era} Idid (Isewei angalūk dos ira Tarū)
 (ngalūk rrodor era Tarū : ūlehell era Idid)
 ♂ Waikawasang ⁴⁰ { ^{Keb} (behil a Metawī) ^{Ngeremereki era Ngakip}
 ♀ Kyari ²⁸ { ^{Der?} Dem. ^{Dira} Balao (^{Iitekong} Keb. Terekieū era Ibūkūl : Idid ニ貫ハレテ育チシ者ニテ
 Hadara Idi トシテ……)
 (ngalūk rrodor era Tarū)
 ♂ Rehetūwao { ^{Der?} Dem? (had ra Imūr) (behil a Kyari)
 ♂ Ongesel ²⁰ { ^{Der} Dem. ^{Kyari} 熊谷
 ♂ Viselti ²⁵ { ^{Dem.} Der. (had era Saipang) ^{Ke ū ki}
 ♀ Ulesia ²¹ (behil a Viselti.ardil ra チャモロ)
 ♂ — 当 { ^{Der} Dem. ^{Ulesia} Viselti

笠置丸入港。

受信 三沢寛, 三吉朋十 (自著「南洋蕃人ノ頸飾玉, 珞珠」)

三沢露子

十一日 月 雨降ッたり止ンダリ,

午後二時半, 会議□室デ「ジャヴ」カラ帰りノ斎藤茂ト云フ人ニ, 「ジャヴ」ノ事ヲ聞ク座談会ガアッタノデ出テミル。

ホントニ ジブジブ ト天気ガ悪イノデイヤニナル。手紙デモ書カウカ。

[欄外に記す]
[手紙]

御便リヲ有ガタウ。ホンノ一寸ダケ驚キマシタヨ。ホンノ一寸ダケネ。予想通りコチラニ着クト, 其ノ日カラオ客サン相手デ, 八月イッパイト云フモノ, 南洋ニ帰ッテ来タ様ナ気ガシマセンデシタ。オ客サンデスカ? 東北帝大ノ中川教授, 北海道帝大ノ枋内教授, 東京帝大ノ小倉教授, 西尾助教授, 慈恵医大ノ新井教授, 帝大水産学教室ノ松山農学士, 植物教室ノ津山学士, 人類学教室ノ杉浦学士, 九州帝大ノ江崎教授, 東大地質教室ノ学生達, 慶大生一団, 大学新聞一団, 学徒至誠団五十余名等々マダマダマダアリマス。実ニ南洋モ有名ニナリ過ギテ, 旅宿ハ勿論イッパイ, 諸会社ノ倶楽部, □舍宅ヘオ寿司ノヨウニツメコンデ置イタ次第。九月ニ入ッテヤット満員状態ヲ脱シタ処, 今度

ハ久々デ村ノ方ニ古イ「コムパニー」土人達ノ所ニ旧交ヲアタタメルベク、シキリト出
没シハジメタトコロデス。エ？ 私ノ□友達デスカ。ディラゲール子ニ、キサウル子
ニ、メエリンス子ニ、オプオウ子ニ、サハルビツ子ニ、クコン子ニ、キルー子ニ、ロシ
ー子ニ、ウヘリアン子、マダマダマダ沢山デス。ダケドミンナ不美人子ダカラ、其点御
安心下サルヨウニ。

ダケド又、タイソウ「パラオ」ヲ見クビラレタノハ少シ認識ガ足りナイヨウデスネ。
「パラオ」ダッテ、自動車モ「オートバイ」モ石鹸モ香水モ「パパイヤ羊羹」モアリマ
ス。従ッテ背負フ位ノ言葉ハ朝飯前デ、コチラデハモットシヤレテ、「オウ・シマン」テ
云フノデス。ドウデス知ラナカッタデショ。実ニ堂々タル仇ウチデス。ア、女房デス
カ、御配慮頂イテ感謝シテ居リマスガ、ソノ事ナラ……………ナンテ、モ少シオ喋リヲ控ヘ
テオキマセウ。ガツカリナサルトイケナイカラ？ ソレカラオ伽話ダツタラ、コレハ実
ニ偶然ナノデ、驚イテ居ルノデスガネ、今一人ノ奥サンカラモネ、「土方サンガ心ノ故里
ミタイニ気ニ入ッテオイデニナル南洋ニイッテシマハレタ」デスツテサ。全ク背負チャ
イマスヨ。

処デ私ノ話ヲ、イクラ私ガ□笑ヒ乍ラ話シタカラッテ、眉ツバニスル□ッテ法ハナイ。
証拠ノ品一ツ。コレハオ役所ノ素人相手ノモノデ失礼デスガ、オ送り申シマス。オ暇ノ
折ニオシラベ下サイ。

処デ一番本当ノ所ヲハクジョースルト、アナタニ手紙ヲカカセタカッタノデス。ソシ
テ成功シタノデス。ソシテ嬉シカッタノデス。ダッテイクラ私ガ背負ッテミテモ、期待
デキナカッタノダカラ。

処デモウ書クコトガナクナッチャッタ、訳デハナイノデスガ、キリガナイカラ此ノ次
ニシテ。

ダガ又、私ノ考ヘタ通りデ、本多ハ便ヲ書カウトハシナカッタ。多分読ム方モメン
ドクサイカモ知レナイカラ、アナタカラ此ノ手紙ヲ読ンデキカセテヤッテ下サイ。会社
ヂヤナイ、銀行カラ勞レテ帰ッテ楽シミノ晩シヤクラーパイヤッテ居ル時ニデモ、ソシテ
私ガ元気ニ、気楽ニヤッテ居ル事ヲ伝ヘテ下サイ。

デハ本多正震、親子、オ嬢チャンノ御健康ヲ祈ル。

親子様、

〔欄外に記す〕
〔手紙〕

ソレカラ、カラダハ船中カラ上陸後迄時々痛ミマシタガ、先ヅオ腹ノ方ハ全ク痛マナ
クナリマシタシ、背ナカノ方モ痛ミハ薄ライデ行ク一方。ソレモヒヨヒヨト雨ノ降ル日
ダケデ、忘レテル日ガ多クナッテ来マシタカラ、モウ大□丈夫。今ダニオ天気が一寸ヨ
クナッテハ又悪クナルノデ、コレダケガ腹ダタシイコトノ唯一デス。土方サンガ心ノ故
里ミタイナ南洋ニ……………処ガネ、今一人ノ奥サンカラモ、ヤッパリーツノオ伽話ガ届イテ

ネ、「ソレカラ、ソノオチサンハオ船ニノッテマタ南ノ島ヘ帰りマシタトサ」ツテアリマシタ。ナンダカ私ガ一人居ナクナッテ、東京ガバカニ淋シクナッタヨウナコト、ソナコトアル筈ガアリマセンヨ。

ソレカラ パパ ハイヨイヨ「アトリエ」ニシガミツイテシマッタ。イイ世界ヂャアリマセンカ。ソシテ、アナタニハ本当ニカワイラシイ、アキラチャント、トムチャントガアル。ソレデチョッピリデモ不服ガアツたら、モッタイナイコトデスヨ。

内地ハコレカラ秋。寛チャングハリキル時。サルスベリガアカク咲イテ、ツクツク法師ガ泣イテ、赤トンボガ飛ブト、天ガ高く澄ミ渡ルノデシタツケネ。ダケド寒クナッテ行ク一方ダト思フトネ、漱石ノ硝子戸デハナクテ、硝子箱ノ中ニ入ッテ夢ノ中カラ眺メルダケダツトライイケレド。

処デ今度ハジメテ南洋ニ来タ人ノ言ニ曰ク、南洋テ所ハ少シモ鼻クソガ黒クナラナイ所デス。私ハ実ニキモチノヨイ大発見ヲシタ事ヲ喜ンデ居マス、ダツテ。

露子様

〔発信〕 土方文子、山口歌子、大和隆、本多観子、三沢露子、太田広、

十二日 火 午前中ヨリ晴レタガ、午後ハ又雨何度トナク降り、雲厚ク、風アリテ寒シ、

十三日 水 相変ラズ時ヲ定メズ雨降ル、日モ照ラズ、
イツ迄モ天氣ガ悪クムシャクシャスルノデ、夕方後傘ヲ用意シテ村ノ方ニ出、Milong
ニ行ッテ調べモノヲシテ来ル。

昨日 a Keyūki 死去、本日葬儀ヲスマセタ由。

十四日 木 朝ノウチ晴レシモ、午後ヒドイ雨ニナリ、ヤマズ、
夜、南興発倶楽部ニ津山氏ヲ訪ネ、後杉浦氏ノ所デ十時半頃帰ッテクル。

〔欄外に記す〕
〔Heldebehel〕

Heldebehel ニ就イテ非常ナ間違ヒヲシテ居タ¹⁸²⁾ノデ、茲ニ訂正シテ置カナケレバナラナイ。尤モ〔15, 96〕頁ニ聞イタ様ナモノ、老□^壯□若年ニヨル、組合ト云フ形ハ一般ノ様ニ感じテ居タノガ、全然間違ッテ居タノデアロウカ。何かドウ□セ他ノ本デ読ンダモノガ先入シテ居タ為ニ、コノ様ナ間違ヒニ氣ガツカナカッタノカモ知レナイガ、ソレニシテモアマリニ□□不注意デモアツタシ、或ハ島民達ガ現在ノ Heldebehel 及ビ男女青年団組織ニ慣レテ、本来ノ形トノ相違ヲ検討シテ居ナカッタモノカ、或ハ彼等ニトツテ、ドツチデモヨイ其ノ様ナ形ニ就イテ説明スルノサヘ面倒ガッタノダロウカ。ソレトモ近代迄、前ノ〔15, 96〕ノ様ナ形ガアツタノダロウカ。此ノ最後ノ件、昔ニハソノ様ナ形ガ一般デアツテ、後二次ニ記スヨウナ形ガ近代ニナッテ^{表ハレク}□□□□現ハレタモノカ、此ノ点ニ就イテハ更ニキキタダス必要ガアルガ、兎モ角近代ニ於テハ Heldebehel

ナルモノハ、次ノ如キモノデアッテ、コレモ亦極メテ興味ノアルモノデアリ、且ツ「パラオ」ノ社会制度、乃至政治組織ノ理解ニ明ラカナ燈火ヲ照ラシテクレルモノデアル。

既ニ方々デキイタ様ニ、普通ノ大部落ニ於テハ、両□taoh ニ三組ヅツノ Heldebehel ヲ持ッテ居タノデアルガ、其ノ Heldebehel ノ持ツ内容——人間達ト其ノ成立チニ於テハ全然異ッテ居ルノデアッテ、例ヘバ Horeor ニ例ヲトッテ説明スルト、

第一 taoh Ibedūil 側 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">A</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">B</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">C</div>	第二 taoh Ngira Ikelaο 側 <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">D</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">E</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;">F</div>
--	---

骨子ハ第一 taoh ニ ABC ノ三ツノ Heldebehel ガアリ、第二 taoh ニ DEF ノ三ツノ Heldebehel ガアルガ、是等ハ□決シテ□老壮若デモナク、又 1 2 3 と云フ階段のナモノデハ全然ナクテ、相対立スル同等同格同内容ノモノデアル。而シテ総括的ニハ ABC ハ Ibedūil ノ管轄ニ属シ、DEF ハ Ngira Ikelaο ノ管轄ニ属スルノデアルガ、是等ノ各 Heldebehel ハ各独立ニ、云ハバ部落組織ノ模型ヲナシテ居ルノデアッテ、一々ノ Heldebehel ニハ老カラ若迄ヲ何等ノ規定制限ナク含ンデ居リ、各 Heldebehel ニハ部落ニ於ケル十人ノ Klobak ノ形ヲ其ノママ、其々ノ Keblil ノ者達ノウチノ年長ナル者ガ、部落ニ於ケル Klobak ノ順位ニ従ッテ Heldebehel ノ役員格ヲ持ッテ居ルノデアル。即チ、Heldebehel、A ノ^{中ノ}□□中ニハ部落ニ於ケル 1 から 10 迄ノ全 Keblil ノ人間ヲ含ンデ居リ、老人カラ小供達ヲ含ンデ居リ、A Heldebehel 成員中デ Idid 出身ノ年長者ガ、merreder トナリ、^{N g i}□□Ikelaο 出身ノ年長者ガ次席ニ居ッテ補佐シ、以下、Ngariyoūl Idid, Tehekī, Ngūrūsübūrūh, Heteet, Ingeyaol, Tehemūding, Ngermeril, Kldngūil □各家ノ年長者ガ^各順次□□^{席ヲ}一人宛□^席役席ヲ有シテ居ルノデアル。尤モ實際ニ此ノ Heldebehel ヲ左右シテ居ルノハ、Idid ノ者デアリ、多少ノ權威ヲ主張シ得タモノハ上席二三ノ者ダケデアッタラシイ。

斯ウ云フ風デアルカラ、B 以下各ノ Heldebehel ニ於テモ全く同様デアッテ、互ノ間ニ何等上下資格ノ差異ハナイノデアル。ソレバカリデハナクテ、此ノ Heldebehel ハ互ニ成員取り合フノデアル。先ヅ Heldebehel ノ有力者達ハ当 Horeor ニ於テハ勿論、Ngarmid, Ngerbahed カラ Ngerkebesang 迄モアサッテ歩イテ、人ヲ探スノデアッテ、未ダ幼クテ組合ニ入レナイ者ハ、前約トシテ子供ノ手ニ椰子ノ葉ヲ結ンデ、将来其ノ子ガ自分等ノ Heldebehel ニ入ルヨウニト予約スルノデアル。ソレデアルカラ、ヨイ Merreder ヲ持ッテ勢力アル Heldebehel ハ自然成員モ多ク、益々勢力ヲ得ル訳デアリ、反対ニヨキ Heldebehel ヲモツ merreder ハ敏腕ト熱心ナル情熱トノ証左ヲ示シテ居ル訳

十五日 金 曇，晴，雲多ク二三度小雨アリ，
 笠置丸デ津山君ガ帰ルノデ，波止場ニ行ツタガ来ズ，船マデ行ツタガ見当ラズ。
 又々背中，腹痛クテ仕方ナシ。役所カラ帰ッテ寝転ンデ居ルト，高松ト云フ人，ビー
 ルヲサゲテ来ル。集メ□タ島民皿ヲ売り度イ由。
 夜，松野氏来，杉浦氏来，八時過ギカラ三人デ村ノ方ヲ一廻リ散歩シテクル。

十六日 土 曇，晴，午前二回驟雨アリ，
 今日ハ午後カラ南洋神社ニ勤勞奉仕ノ筈ノ処，雨ガ降ツタノデ止メトナル。
 体痛ミテ苦シ。午後昼寝シテシマフ。
 夜ハ村ノ方ニ出ルツモリナリシモ，松野氏ヨリ電話デコレヨリ行クト。一時間程シテ
 Kisaül, Tokiko ヲ連レテ来ル。杉浦君モ一寸来ル。森井氏，小林氏等モ集□リ，十一
 時迄モ遊ンデシマフ。

十七日 日曜日 夜明迄盛ニ降ツタガ，後終日ヨク晴ル，夜九時過ギ一時驟雨，
 朝一時間程，舟木氏ノ処ニ行キ，後村ニ出ル。Ilamms ニ行キテ食事シテ居タラ，Kisaül
 ガ来ル。コレデ二度目ノ由。先キニカヘシテ，昼頃ニ行ツタラ，松野氏ガ来テ居タ。永
 イコトグヅグヅシテカラ三人デ Kim ニ行ク。ココデ又暫クシテカラ Ibükül ニ行キ，
 Ngiraitokong ノ所デ一寸話シ，後 Melekei ニ行ク。ココデモ何ト云フコトモナク話シ
 タリ，歌ツタリシテ居ルウチニ Tomomi ヤラ，Satsūko ヤラ，某ヤラ来，八時頃迄モ居
 テ帰ル。Kisaül ト別レ，松野氏ト例ノ「オデン」屋デ食事シテ，九時前帰ッテクル。

Tal Dlonghokl era Kim

♀ Ros⁸⁰ (Ikelaο)

{ ♀ Merī⁴⁶ (Keb. Rois era Ngerehemae, Ros ng rirredelli)

{ ♂ Ngiratang⁵¹ (Keb. Eloklsūmmh era Irai, behil Merī)

(der.Kaūdorael (keb Eloklsūmmh)

(dem. Uhel (keb. you'l Yūs era Irai)

〔欄外に記す〕

[(der. Tmakreng. keb. Rois era Ngerhemai)

(dem. Alkeril. kel. Ikelaο)]

{ ♀ Ebil Tūlik²² (angalūkīr Merī me Ngira tang)

{ ♂ Sūmang³⁰ (keb.Ikkl bai era Ngerehemae)

(behil Ebil Tūlik)

♀ Rafaela³ } (angalūkīr Ebiltūlik me Sūmang)

♀ Biola¹ }

♂ Tarūkong⁸ (Der. Sūekosang Keb. Tmetipap era Ngerehasoal)

(Dem. Lūheldak Keb. Ngerdimao era Ngabei)

(Merī ng rirredeli)

♀ Bāudong³³ (Keb. Okelang era Ngerehema)

(der. Mesangugel. Keb Okelang)

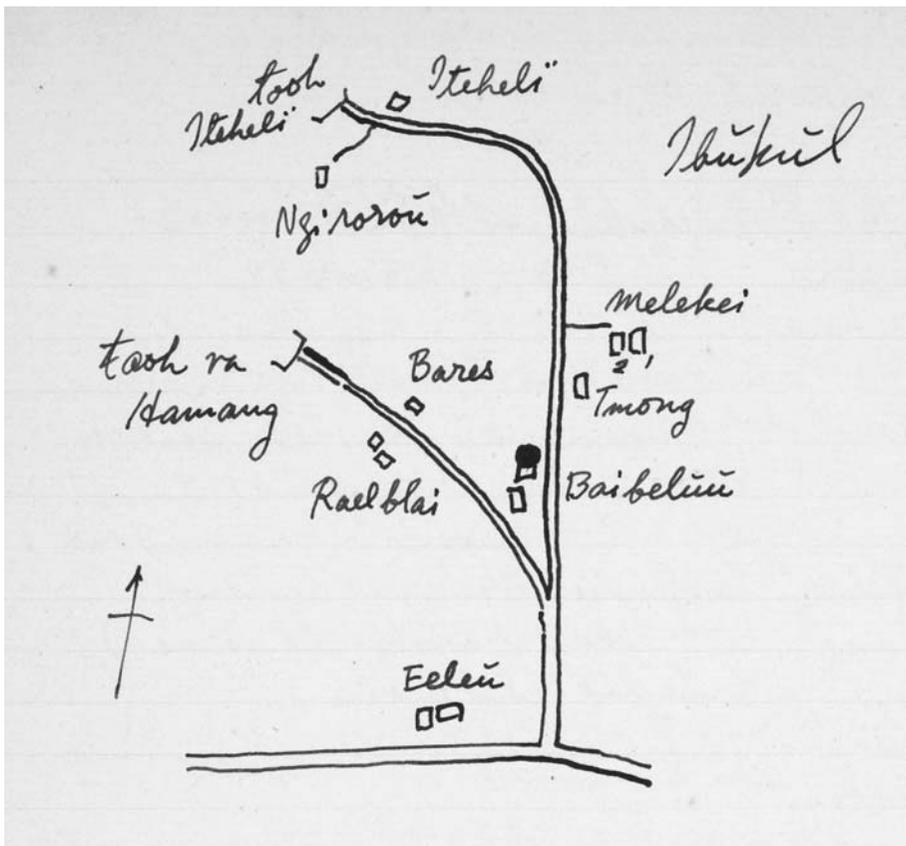
(dem. Yaoh. Keb. Elokksūmmhi Irai)

(obengkel a Ngiratang)

(deral Yaoh: Ikelao. Keb. Uheliyoū era Ngerdololoh)

(demal Yaoh; Kate. Keb. Elokksūmmh era Irai)

Merīハūlehell era Ikelaoナリ。Bāudongハūlehell era Elokksūmmhナレド、否、父ノYaohガ既ニūlehell era Elokksūmmhニシテ、Elokksūmmhニ転籍サレシ者デア
アル。



Blai ra Tmong. Tal Dlongkokl
 ♂ Misk'ol⁴⁰ (Keb. Tmong)
 ♂ Ngira Tololī²⁶ (Keb. Tmong)
 ♀ Dira Klei²² (der. Moiwai. Keb.
 (dem.
 (behil a Ngira Tololī)
 ♀ Omorokongnl (Keb. Tmong. ohodal a Miskol)
 Melekeok 二嫁

Melekei 1. Tal Dlongkokl
 ♂ Olekrīl³² (Keb. Urak era Haigūll)
 ♀ Biderūū²³ (Keb. Elokksūmmh era Irai)
 (behil a Olekrīl)
 ♂ Blas⁶ } a ngalūkīr a Biderūū me Olekrīl
 ♀ Hisako² }

Melekei 2.

♀ Kliū³⁵ (Keb. Urak era Hoigūll)
 ♂ (Had era Siapal) (behil a Kliū)
 ♀ Tomomi¹⁵ } angalūkīr
 ♂ Kōichi¹² }

是レテ見ルト、元々 Ibūkūl ノ Koblīl ニ属スル人間ハ、絶エテシマッテ一人モ居
 ナイ。

十八日 月 晴、午後驟雨、後□雲多シ、
 夜、Kisaūl ガ Terēked ヲツレテ来ル。Terēked ハ今日出テ来タ由デ、maradal 一バス
 ケモツテ来ル。

十九日 火 晴、午後二度三度ヒドイ驟雨アリ、夜モ亦、
 サイバン丸入港。「ヤップ」ノ徳村君ガコレデ地方課ニ来タノデ、波止場迄迎ヘニ行
 ク。



二十日 水 久々ニ晴レテ、強イ日光照ツタガ、午後一寸驟雨アリ、更ニ夜ニ入ッテ
 ヒドイ風ト共ニ驟雨が来テ、後ダラダラ降ツタリ止ンダリ、

受信 松山義夫、吉田謙吉、中沢英子、忠久、杉浦佐助、小倉綾子、柴山百合子、村田
 勝四郎、真スミ子、

発信 柴山妙子、中沢忠久、忠直、忠光、忠義、杉浦佐助

二十一日 木 晴、何度モ驟雨

山城丸入港、メナードヨリ。

晩、Ngerbehedニ出カケル。

Tal Dlonghokl er Olūblai era Ngerbehed

- ♂ Uhellasūh³¹ (Keb. Ibūūh)
 ♀ Bakas²⁷ (Keb. Eloklsūmmh era Irai
 ♂ Kloū Rūbak⁵ }
 ♀ Ebil⁸ } angalūkīr a Bakas me Uhellūsūh
 ♀ Telesang¹ }

Tal Dlonghokl era Sorūh era Ngerbehed

- { ♂ a Rengeekel⁴⁰ (Keb.a Ibūūh)
 ♀ a Urīm⁴² (Keb. Tmetpap era Ngerehesoal)

♀ Tkelbai⁶⁰ (Keb. a Ibūūh.Rengeekel ノ生母ノ姉)

♀ Sehabid²⁰ (Der. Siwal, Keb. Ngeremellong era Ngerehesoal))
 (Dem. Makamad Keb. Ongolohal era Horeor)
 (ngalūk rrodel era Urīm.

♂ Antonio¹³ (Del. Losi. Keb. era Ngerbao^{Kebell'ra Obak era Ibūkūl})
 (ngalūk rrodel era Urīm

× Ngeremellong ナル Sehabid ヲ貫ツタ故ハ, Urīm ガ曾テ貫ハレテ Ngeremellong
 ニ育ツタ者デアツタカラデアル。

× Antonio ノ方ハ— Urīm ハ此ノ家ニ嫁スル以前ニ, 他ノ男トノ間ニ♀ Waisang, ♀
 Seekosang, ♂ Būlio ヲナシタ。Antonio ハ♂ Būlio ノ子供ナノデ, Urīm ノ孫ニア
 タル ūlehell'ra Tmetpap ナノデアル。

Tel Dlonghokl era Nger Mebact era Ngerbehed

- { ♂ Karabangtil⁶⁰ (Keb. Ngetebedong)
 ♀ Haot⁵⁰ (Keb. a Ibūūh) — merreder'ra tial Blai
 ♂ Beyoūh²¹ (Angalūkīr Haot ma Karabangtil)

♀ Blonia³ (der. Baidong. Keb. Ngetehedong)
 (dem. Titalong Keb. Tmetpap era Ngarhesoal)
 (ngalūk rrodel era Karabangtil)

- { ♂ Ngira Usūi³⁵ (Haot ノ実弟)
 ♀ Ngetewaiyū³² (keb. Urak era Hoigūll)

♀ Saliyang⁴ (a ngalūkīr Ngira Usūi ma Ngetewaiyu)

× Ngira Usūi が元来ノ此ノ家ノ男子デアルカラ、Merreder デアル筈デアルガ、Ngira Usūi ガ当時幼ナカッタノデ、Haot ノ夫 Karabangtil ガ入ッテ、Merreder トナッテ居タモノデ、中継相続デアル。

二十二日 金 朝迄雨アリシモ止ンデ、午前中日ガ照リ、蒸々ト暑カッタガ、午後又ヒドイ スコール ガヤッテ来、二時間バカリト云フモノ、車軸ヲ流スヨウニ降ル、後夜マデ実ニヨク小止ミニ□止ンダリ降ツタリ、

朝十時、サイパン丸出航。コレデ色々ノ人が帰ルノデ、見送りニ行ク。慈恵医大ノ新井正治氏、東大ノ西尾滋氏、衆議院囑託ノ久保七郎氏、ソレカラ東大地質ノ学生、船山、石川、佐々木君等モコレデ帰ッタ (大谷光瑞氏¹⁸³) モコレデ帰ル。

午後四時、山城丸、内地向ケ出航。コレデ山田剛、森井八十一氏行ク。

二十三日 土 ドウニカ晴レル、夜十二時ニナリ又々雨トナル、

午後、舟木氏ノ所ニ行キ、

夕食後村ニ出、野元氏ヲ訪ネル。暫クシテ野元氏「アヅマヤ」ニ出ルトノ事デ一緒ニ出、別レテ安達氏ノ所ニ行ク。

「ニンニク豚胆焼酎」ヲ貰ッテ来ル。

帰り「アヅマヤ」ノ前デ、又野元氏ニ逢ヒ、一緒ニ室ニ誘ッテ来ル。十時半頃、野元氏帰ル。

二十四日 日曜日 雨ダンダン止ミシモ、終日ドンヨリト暗ク風ナク、寒イヨウナ日、夜遅ク雲退キ月明、

湯浅君カラ釣ニ行ク様ニ誘ハレテ居タノダガ、相憎夜明前カラ降りツヅイテ居ルノデ止メ、朝シバラク舟木氏ノ所ニ行キ、直グ室ニ帰ッテ来テ、終日室デ暮ス。

二十五日 月 晴レル、

三時過ぎ、役所ノ連中六七人連立ッテ「マラカル」ニ行ク。

夜、湯浅君来リ、一緒ニ買物ナガラ街ヲ散歩。

二十六日 火 朝ノウチ爽々シイヨイ天気ダッタノニ、背中ガヒドク痛ンダラ、午後カラハ又々曇ッテシマッテ、夜迄何度トナク雨が降ル、

〔欄外に記す〕
[Sisibangiyao]

食堂ノボーイ Odoriyong ト Badehesang ガ¹⁸⁴) sisibangiyao ノ巢ヲニツ取ッテ来テク

レル。私ノ窓ノ外ニ毎日毎日真紅ナ佛^華□桑華ノ花ガ咲イテ居ル。佛桑華ノ花ハ大キクテ俗ッポイ花ダガ、赤イモノノ珍ラシイ南洋デハ、何ト云ッテモ其ノ毎日、ソレモ年ガラ年中アル、シカモ何ノ風雅モナイ其ノ花ガ目ヲ楽シマセル。ソシテ心マデモ明ルクスル唯一ノモノダ。殊ニ昼間ノ暑イサナカニハ、ソレハアマリニギラギラシテモノウイガ、朝ハ、ソシテ殊ニサワヤカナ朝ハ、露ッポイ其ノ花ガ、更ニモ朝ト朝ノ心ヲサワヤカニスル。ソウシテモーツノモノガ、此ノ sisibangiyao ナノダ。sisibangiyao ハ普通ニハ紅雀^{ノ二種デ}□□□□ト呼バレテ居ルガ、小サナ体ノ赤イ鳥ダガ、羽ノ部ハ黒イ。鳴声ハ体ニ似合ハナイ案^内□外大キナ声デ、ドウカスルト、百舌鳥ノ様ナ声ヲ出ス。^{【欄外に記す】}〔ジェ(尻下リ)ピピピピピ ギユイ(尻下リ)ヂユイ(尻上リ)ヂヂユ(尻下リ)ト〕普通ニハ、チッチイ、チッチイト二声ヅツノ様ニ鳴クガ、チーイ、チーイ トハジメハ尻上リニ、アトハ尻下リニ□ナイタリモスル。嘴ガ稍長クテ、下向キニソッテ居ルノハ、花^{【蜜】}ノ密ヲ吸フノ□ニ都合ガイイラシイ。此ノ紅雀ハ小サナ蟲ヲモ喜ンデ食フラシイガ、花^{【蜜】}ノ密サヘ吸ッテ居レバイイラシク、以前ニ捕ヘテ飼ッテアルノヲ見タ時モ、餌入レニハ赤砂糖ヲ溶イタ水ガヤッテアツタノヲ覚エテ居ル。今度ドウカシテ生キタノガ手ニ入ッたら飼ッテミタイモノダ。ソレハ小サナ奴ダガ、佛桑華ダッテシナシナト弱々シイ木ダカラ、此ノ小サナ愛嬌者ガ、自分ノ倍ノ上モ大キイ花ノ元ニトマルト、枝ガタワワニシナッテ、ブラブラト揺レル。花卉ノモト、萼ノ内側ニ嘴ヲ突込^{【蜜】}ンデハ密ヲ舐ルノダガ、イツデモ別段腹モヘッテ居ナイノカ、決シテ丹念ニ舐ズリマハスノヲ見タコトガナイ。殆ド一寸嘴ヲ突込ムダケデ、直グニ出シテシマフ。ソレモ二度程モヤルト直グニ飛ンデシマッテ、次ノ花ニ行ク。ソナニ一向腹モヘッテ居ナイ様ナノニ、毎日毎日、朝モ昼モ実ニヨク□此ノ花ニ来テ居ルノハ、丁度幼ナイ子供ガ、モウ食ベタクモナイオ菓子ヲ放サウトハシナイデ、手ニ握ッテ時々一寸舐メテ居ルヤウナ、オモチャニシテ居ルノカシラ。ソレトモ、モ少シ情緒ノナ意味デ、自分達ノ体ノ色ニ似タ、ソシテ恐ラクハモットモット美シイコノ花ヲ恋人ノヨウニデモ思ヘテ懐カシンデ居ルノカシラ。朝カラ雨ノ日ハ一^{【層】}増イデラシイ。思ヒキッテ花ニ飛ビツキ、花ニブルサガルノダガ、自分ノ体ヲイトヨウニ、直グニ一度一度葉ノシゲミニカクレテハ、ブルブルト羽ヲハラッテ居ル。山雀ヤ四十雀程デハナイガ、此ノ紅雀モナカナカノ遊ビ好キデ、ドウカシテ爽ヤカデ気嫌ノイイ時ニハ、タッター一本高く空中ニ走ッテ居ル電線ニ片足デブル下ッテ、相変ラズ チーイ、チュラ 繰リカヘシ乍ラ、シカモ両方ノ羽迄ダラリトヒロゲテ、^{風 ニユラレナガラ}□□□□□□□□ヒラヒラト風ニ揺ラレタリシテ居ル。ソノウチニ足ヲハナシテ、何か物デモオッコチル□様ニ、ポタント真直グニオチカケテ、アブナイ所デ チ、チ トヤリナガラ飛ンデ行ク様ナ、芸トウナドヲヤッテ居ル。愛ラシイ sisibangiyao 。ソシテ此ノチツボケナ巢。其ノ巢ハ、高イ所ニモアルガ、^{【ママ】}大テイハ五尺ニモ□足リナイ灌木カ、ドウカスルト草ト云ッテイイ様ナ、ハッパノ元ニナドカケル。何処カラ見ツケテ来ルカ、一□本一本、椰子ノ実ノ^{【欄外に記す】}織維〔ノヨウナモノ(併シソレデハナイ)〕ヲシナハセテ、緩ノ様ニ円クササネテアル。卵ヲ取ル

時ニ落トシテ割ッテシマツサウデ、巢ノ中ハ空ッボダツタガ、私ハ二人ノ土人ノボーイニ、巢ヲ持ッテ来テクレタ事ニ対シテハ何度モ礼ヲ云ヒナガラ、卵ヲ割ッテシマツ事ニツイテハ又、何度モ叱リトバシタノデ、彼等ハ今度ハ必ズ卵ヲ取ッテ来ルコトヲ誓ツタ。ア、ドナニアブナッカシイ、カワイラシイ其ノ卵カ。早ク私ハソレガ見度イ。私ガ今居ル、此ノ「コロール」ノ様ナ街中デハ、ソナニ色々ノ鳥ハ見ラレナイ。殊ニソノ日常ノ生活ヲ、折ニフレテナガメルコトハ出来ナイ。只、今一ツ Terid 鳴ガ毎朝毎朝柴草ノ中ヲ駆ケ歩イテ餌ヲサガスノト、気マグレナ Tangadik 翡翠ガ時々飛ンデ来テ、木ノ天辺ナドニ ポカント暫クトマツテ、又何処カニ飛ンデ行ッテシマフダケダ。

二十七日 水 朝ガサハヤカデ、昼迄明ルイ日ガ照ツタガ、午後又驟雨が来テカラ曇リガチニナツテシマヒ、夕方モ夜モバラバラト雨が来ル。併シ雲ガキレルト、仲秋十五日ノ月ガ白雲ノ間ノ濃イ空ニナツテ、綺麗ダ。

夕方、街迄買物ニ出タガ、バラバラト雨ニ降ラレテ帰ッテ来ルト、Kisaul ガヤツテ来テ、十時頃迄モ一人デガンバツテ居ル。

昼、食堂デ小川節一氏ニ逢フ。何年カブリデ。ヤップ カラ昨日、国光丸デ出テ来タ由。小川君ノ話ニヨレバ、大工サンハ嫁サンヲツレテ来テ居ルノダトノコト。先日便リヲヨコシテ置キ乍ラ、一言モソナコト言ッテ来テ居ナイガ。

二十八日 木 又々朝ガホントニ明ルカッタノニ、背中ガ痛ミダシテ昼前ニハモウ ポツポツ 雨が来、午後モ二度、ソレカラ晩モ亦雨、

イヨイヨ明日ノ国光丸デ南方離島ヲマハル事ニシタノデ、Ngerekebesang ニ行ッテ南方人ヲ一人見ツケタイト思ツタノダガ、背中ガ痛ンデタマラナイノデ病院ニ行ッテ見テ貰フ。ヤッパリ テキパキ トハワカラナイデ、静脈注射一本 キナブロ？ 飲ミ薬ヲ一週間分用心ニ貰ッテクル。一寸買物シテ帰り、役所ニハ行カナイデ寝テシマフ。

〔発信〕 中沢英子、柴山百合子、綾子、桧山義夫、三吉朋十、稲喜蔵（トラック）

十月

〇七日 土 晴、

先月二十九日、国光丸ニ乗り、「ソソル」「メリー」「プル」「トコベイ」「ヘレン」「メリー」「ソソル」トマハリ、今日昼帰ッテクル。役所ニ一寸顔出シ、午後ゴロゴロ、夜一寸舟木氏ノ所ニ行き、林（茂）氏ノ所ニ行き、今度ノ旅行ノ話ナドシテ、十時頃帰ッテクル。

九
□八日 日曜日 晴,

珍ラシク今日ノ日曜ヲ何処ニモ出ズ, サ□リトテナニモセズ ブラブラ シテ暮ス。夕方街ニ出, 帰ッテ来ルト, 野元氏, 小楠氏ニ合ヒ, 共ニ野元氏ノ所ニ行ク。途中松野氏ニ逢ヒ, 共ニ行き, 十時過ぎ帰ル。

十
□九日 月 晴,

金井氏(ロタ)ヨリ電報。「カシムラシヲセウカイス」ト。其故五時入港ノ生駒生ヲ迎ヘニ行ク。「カシムラ」氏アリ。貝ヲ採集ニ来ラレシ由ナルモ, 別ニ出迎人アリ, 南興俱樂部ニ行カル。全船ニテ, 今度文化協会ニ来タ栗山君ト云フ人アリ。夜, 牧野君ト栗山君ト来。

十日(火) 曇, 昼前ヨリ雨, 午後三時頃止ム,

朝ヒドク腹・背痛ミ, 病院ニ行ク。午後休ンデシマフ。

受信 遠藤香苗。雑誌「南洋水産」

発信 ソンソル佐藤, 佐野氏へ「長崎カステラ」2。

●九月二十九日

〔欄外に記す〕
〔南方離島記¹⁸⁵〕

八時ニ「ランチ」ガ出ルト云フノデ, 七時半ニ北村君ト「バス」デ新波止場ニ出ル。昨夜迄盛ニ降ッテ居タガ, 今日ハマタサワヤカニ晴レテ明ルク, 毎朝ノヨウニ今日モ背中ガ痛マナイ。コンナニ快イ朝デモ, ヤッパリ九時ニナレバ痛ミガヤツテクルカシラ。私ハ半分ハ痛ミマセンヨウニト願ヒ, 半分ハ此ノ美シイ日ニ痛ミ出スコトハナイト□□心デ思フ。ソノ様ニ, イツモイツモ見ナレタ此ノ波止場ノ朝ノ空氣ガヨク, 眺メハイツモノ様ニ, 或ハ今更ノヨウニ綺麗ナノダ。波止場ノ先キカラ廻レ右シテフリカヘルト, 右側ガ渡船ノ着ク所デ, 其ノ右側ノサキノ方, 波止場ガ突キ出シテ居ル所ハ深イ「マングロープ」デ, ソレガ海中ヲズツト, 島ヲ取りマイテ伸ビテ居ル。「マングロープ」, ソレハ只々青イ, 緑色ノ木ノ葉ノ塊ナノデハアルガ, ハジメテ南□□□洋ニ来ル人ニハ誰ニモ珍ラシク印象深イ風景ナノダ。何故ト云ッテ, ソレハ細カク見レバ二十種ヲ越ス位色々ナノデハアルガ, ソレモ多クハ場合ニヨッテチガフノデアツテ, 全ク一色ノ木バカリガ海中カラ生エテ, ト云フヨリ浮カンデ居ルヨウニ見エテ, 我々ノ知ッテ居ル所ノ「海岸」ヲ, ソシテ島ノ大部分ト一緒ニ隠シテシマツテ居ルカラ。

ソシテ此ノ「マングロープ」ガ消エル所カラ, 今度ハ本當ニ岩山ガ浮カンデ, 其ノ凸凹ノ岩山ガ伸ビテ伸ビテ来テ, 波止場ノ先キヲ反対側マデ, ズツト遮ッテ居ルノダ。ソシテ「マングロープ」ト岩山トガワカレル所, 其ノ上ニスッカリ上リキッタ太陽ガギラギラト輝ク。岩山ト云□フ。「パラオ」ニ来テ居ル日本人ガ云ヒ習ハシテ居ル俗称デアツテ, 土人ガ Heleb'ahab ト呼ブ島□デアル。確カニ岩山デハアルノダガ, 其ノ凸凹ハ決シテ

岩デハナクテ、ソレハ青黒イ——黒イ迄ニ鬱蒼ト茂ツタ樹木ノ塊ナノデ、稀ニ絶壁ヲナシテ居テ、樹木ヲ生ゼシメナイ所以外ニハ、決シテ岩山ノ岩山タル所ヲ我々ハ見ルコトガ出来ナイノデアアルガ、ソレハマタ確カニ岩山ナノデアアツテ、此ノ海ノ中ニ裾モ引カズニ浮カンデ居ル。高イ島ハ、全部砂モナイ、土モナイ石灰岩ノ塊ナノデアアル。コレガ「パラオ」ノ^殊独特ノ風景ノ一ツナノデアアツテ、コノ Horeor 附近カラ北^[ママ]の a Irai 迄、ソレカラ南ハ速ク Peliliyōu ニ近イ所マデノ間ニ、コノ様ナ岩山ガ大小何百ト云フ程、全ク無駄ニ並ンデ居ルノデアアル。トハ云へ、環礁内ノ静カナ海ニ、ネムルヨウニ浮カンデ居ル此ノ岩山ハ——美シイ空ヲ□画キワリノ様ニ区切り、大小ノソレラハ箱庭ノヨウニ重ナリ合ヒ、綺麗ナ水ハマタ、ソレラヲ丁度上ニ出タ半分ト全ジモノガ、水ノ下ニモ沈ンデ居ルヨウニ、ソシテソレガ透キ通ツテ見エルヨウニ、乱レモシナ□イ影ヲウツシテ——「南洋松島」「パラオ松島」ヲナシテ居ルノデアアル。

八時一寸過ギテ「ランチ」ガ来テ、我々ヲ「マラカル」水道ニ居ル国光丸ニ運ンダガ、「ランチ」ガ曳イテ居ル大型ノ「サンパン¹⁸⁶⁾」ニハ百人余ノ人々が、其々ノ手荷物ト一緒ニ居タ。此ノ人々ハ今度南洋拓殖会社ガ□□燐鉍採掘ヲハジメル為ニ、「ソンソル」島ニ行く人夫達デ、沖繩ノ人ガ大部分ヲ占メテ居ル。国光丸ハモトモト「パラオ」「ヤップ¹⁸⁷⁾」ノ離島ヲマハツテ「コブラ¹⁸⁸⁾」ヲ集メテ歩ク船デアアツテ、オ客ヲ乗セルヨウニハ出来テ居ナイ船ナノデ、我々が上等室（三人ベッド）ヲ取ツテシマ^{ウツ}□□ヒ、今一ツノ「ベッド」ナシノ畳敷キノ小部屋ヲ会社ノ監督者四五名デ占メテシマウト、モウ外ニハ一ツモ船室ト云フモノハナイノデアアル。

船ニハ「ソンソル」ニ運バレル百噸カラノ荷ガツマレテ居リ、「デッキ」ニハ此ノ人達ノ家ニナル板類ガギッシリ積マレテ居ル。其シテ此ノ板荷ノ上ニ「タポレン」ヲ敷キ、上ニ天幕ヲ張ツタ前甲板ガ、是等百人余ノ人々ノ大部屋ナノデアアル。私ハ此ノ人達ガ——中ニハポツポツ女ノ人モ居ルガ——横ヅケニナツタ「サンパン」カラ荷物ト一緒ニ、此ノ「デッキ」ニナダレ上ツテ、其レ其レノ席ヲ探シテ落着キコム有様ヲ見テ、小サナ、併シ眞実ナ生活戦線ノ縮図ヲ見セツケラレタヨウナ気がシテ、ホットスル。

「ソンソル」ニ行く。只ソレダケデハアル。ソシテ既ニ既ニ此ノヨウニシテ、全ク全ジヨウニシテ、全ジヨウナ人々が「フェイス」ニ「トコベイ」ニ渡リ、ソシテ現在其等ノ島ニ働ライテ居ルノデアアル。私ハ「ソンソル」島ニ就イテ細々シタ説明ヲシテハ居ラレナイガ、ソレハ「パラオ」ヲ南ニ去ル 180 哩、絶海ノ孤島——尤モ一寸離レテ更ニ其ノ半分ニモ及バナイ無人島 Falla ガアルノダガ——デアアツテ、総面積ニシテ百町歩ヲ少シ越エルカシラ。寄港船トシテハ、此ノ国光□丸ガ一年間ニ五回行くコトニナツテ居ル、トダケ述ベテ置ク。✓

十一日 水 終日ヨクモヨクモ雨降ッたり止ンダリ、
船室ニ「カバン」ヲ運ンデオイト出テ見ルト、会社ノ「ランチ」ガ来テ居テ、沢山ノ見送人ノ中ニ、松野君、徳村君等、国沢君、白石君等ノ顔が見エル。「ランチ」ニイッパイノ人達が、此ノ一行ノ出発ヲ励マシニ来テ居ルノダ。私達ハコチラノ船ト向フノ船トデ冗談マジリニ話シテ居タガ、船ハ一向出ソウニモナイ。第一アノ、ヤカマシ屋ノ船長ノ姿モ見エナケレバ、声モシナイ所ヲ見ルト、マダ陸カラ来テ居ナイノダ。日ガガンガント強クナッテクル。九時ニナッテシマッタ。出航時間ノ九時デアリ、背中ノ痛ム九時デアル。ソシテ本当ニ背中ガ痛ミダシ、オナカガキリキリト痛ミダシタノデ、私ハ船室ニ入込ンデ葉ヲノミ、長椅子ニヒックリカヘッ□タ。ソシタラ船長ガヤッテ来タ。ナツカシイ？ ダミ声ハ酔ッテ居テ、云フコトハ相変ラズダッタ。ダカラ私ハ思ヒ出ス、昔ノ事ヲ。長明丸ノ広島船長、「カロリン」丸ノ玉井船長、平井船長ナドノ事ヲ。ダガ、ヒョット一時ニ思ヒ出スソナナ人々ノ事モ、書ケバ長イ長イモノニナルダロウカラ、別ノ時ニシヨウ。

ソノウチニ、万歳万歳ト云フ声□ガスル。会社ノ「ランチ」ガカヘルノダ。私ハ急イデ出テ行ッテ、知人達ニ挨拶シタガ、「ランチ」ガ白イモノヲ振り振り遠ザカッテ行クト、再ビ室ニ戻ッテ寝コロンデシマフ。

船ハマダマダ動キソウニナイ。ソノウチニ突然「ザイバ」——琉球蛇三絃——ノ音ガシダシタ。マヅイ「ザイバ」デアルガ、イツ迄モ ベンコベンコト鳴ッテ居ル。又別ナ所カラハ極メテ安ッポイ蓄音器ガ鳴リ出シタ。「ザイバ」ハ相変ラズ止マナイ。

アア、「ザイバ」「ザイバ」。沖縄人□ガ行ク処ヘハ、何処ヘデモ此ノ「ザイバ」ガツイテ歩クノデアル。ソシテ今モ此ノ船デ——私ハサッキ見タノダガ、自転車ダノ他ノ荷物ノ中ニ、確カ二十以上ノ「ザイバ」ガ「ソソル」島ニ渡ラウトシテ居ルノデアル。今モ変リハナイノデアルガ、私ガアマリ村ニ居ナイノト、昔トチガッテ、アタリガヤカマシクナッテ居ルノトデ、アマリ シゲシゲハ聞ク折ガナイノダガ、十年前ニ私ガ「パラオ」ニ来タ頃ニハ、村ノ方ハ実ニサビシイモノダッタ。ソシテ夜ニ□□□□^{ナッテモ}デモナッテ聞コエルモノト云ッテハ、何かデー軒ノ家ニ集ッタ土人達ガウタフ、昔ノ歌カ、ソレハ却ッテ稀デ、毎晩ノヨウニ、ドコカラカ聞エテ来ルモノトテハ、此ノ沖縄ノ「ザイバ」デアッタ。彼等ハ実ニ、独り居レバ「ザイバ」ヲ弾キ、集マレバマタ「ザイバ」ヲ鳴ラスノダカラ。ソレハ近々ト聞クト品ノナイモノデアリ、或ハ騒々シイモノデアルガ、遠クデ聞クト実ニ、何か哀調ヲ帯□ビタモノデ、只一人デ土人ノ家ヲ借りテ暮シテ居タ私ハ、何ウカスルト シンミリトシテ 其ノ音ヲ聞イタコトガアッタ。私ハ其ノ頃、隣リ——ト云ッテモクツツイテ居ル訳デハナイガ、近クニ居タ「チナ」ト云フ沖縄ノ人ト知り合ッテ、一度二度其ノ人ノウチニ上ッタコトガアッタガ、イツモオ茶ヲ入レテクレルト、小皿ニイッパイノ ザラメ砂糖ヲ出サレタノヲ珍ラシク思ッタノデアッタガ、ソレハオ茶

菓子ノ意味デ、丁重ナモテナシデアルト聞イタ。

更ニ更ニ私ハ、私ガハジメテ南洋ニ来ル時ニ、沖繩ノ移民達ト同船シテ、全ジ日本人ノ中ニ、コノ様ニ特別ナ存在ガアツタ事ヲ知ツテ驚イタコトヲ思ヒ出スガ、コレモ書ケバナガイモノニナロウ。

十時ニナツテヤット船ガ動キ出シタガ、私ハ背中ガ痛クテ、モノウクテ起キテ出ル気ガナカッタ。早ク十一時半ニハ中食ガ済ンダノデ、私ハ鱸ノ土人達ノ所ニ出カケテ行ツタ。ト云フノハ、私ハ昨日ノウチニ一人ノ Tohobei 人——デナクトモ南方離島人ヲ通訳兼「ボーイ」トシテ傭ッテクル心算デ居タノヲ、アマリ背中□ノ痛ミガハゲシイノデ、Ngerekabesang 行キヲ断念シテ、病院ニ行ツテ注射ヲシテ貰ッタノデアッタガ、ソレカラ南洋貿易会社ニ、此ノ旅行ノ切符ヲ買ヒニ行クト、其処ニ一人ノ女ガ来テ居タノデアッタ。ソコデ話シテミルト、彼女ハ Tohobei ノ者デアルガ、小サイ時ニ「パラオ」ニ連レテ来ラレ、公学校ヲ三年迄卒業シタノデアッタ。ソシテ此ノ船デ十何年ブリデ Tohobei ニ行クノデアルト云フ。ソレデ私ハ此ノ女ニ通訳ヲシテ貰フ様ニ話シテ置イタノデアッタ。併シ私ガ鱸ニ行ツテ見ルト、アヤシゲナ古イ天幕ノ下ニ五・六人ノ女ガズラリト並ンデ寝テ居タ。昨日ノ Tohobei ノ女ハ一番向フ側ニ莫薩ヲカブツテ寝テ居タガ、一番コチラ側ノ二人ノ女ハ目サメテ居タ。一番コチラノ一人ハモウ五十オヲ過ギタと思ハレル婆サンダガ、大女デ肥ツテ居テ元気ソウデ、幾分ノ愛驕^{〔驕〕}サヘアル。其ノ次ノ一人ハ年ノ頃サヘヨクワカラナイ、マダ案^{〔内〕}□外若イノダロウケレド、土人ニ、殊ニ下層ノ土人ニヨクアル無表情ノ、ソシテ何事ニモ無関心ナ、挙動ノ鈍イ、アノ種類デアル。多分三十ヲ五ツ六ツモ越シタ位ダロウ。「ソンソル」「メリール」辺ニザラニアル顔デ、高クハナイケレド長クテ□□□尖ツタ鼻、ソレダケデアトハ何モ目立タナイヨウナ、ソシテアマリ黒クハナクテ、却ツテ青黄色イ感ジノ、沢ノナイ顔。

私ハ通ズルカ何ウカワカラナカッタケレドモ、Satewal 語デ、「オ前ハ何処ノ人間カ」ト尋ネテミタラ、婆サンハ驚イテ起キ上ツテ、「私ノオ父サンガ「ソンソル」ノ人ナノデ、私ハオ父サンノ島「ソンソル」ニ行クノデス」ト云フ。ソノ言葉ハ Oleai 辺ノ様ナ音モアルガ、確カニ Rūk 方面ノ言葉モ入ツテ居ル。シカモ Oleai 語ヨリモ、Rūk 離島語ヨリモズツト聞き易イ、ハッキリシタ言葉デアル。「ソレデオ前ハ何処カラ来タノカ」、「「サイパン」カラ来タノダ。ソシテ「サイパン」ニ連レテ行ク為ニ、父ノ親類ノ者一人二人ヲ探シニ来タノダガ、彼等ガソレヲ望ムカドウカ」。成ル程、ソレダカラ彼女ハ私ノ言葉ヲヨク聞き、彼女ノ言葉ハ多少チガフトハ云ヘ、私ニハ非常ニ聞き取りヤスイノダ。ソレカラ私達ハ暫ク色々ノコトヲ話シタ。私ハ「ソンソル」ノ有様ヲ出来ルダケ聞カウトシタガ、彼女ハソレニ就イテハ殆ド何モ知ラナカッタ。隣リノ女ハ、Tohobei ノ男ヲ父ニ、「ソンソル」ノ女□ヲ母ニ持ツソウデアルガ、私達ガ話シテ居ル間ニ起キ上ツテ、「バインナップル」ノ罐詰□ニ手ヲ突込ンデハ食べ、食用「ビスケット」ヲモゴモゴ食べ

タガ、一言モ口ヲキカウトハシナカッタ。

私ハ又々背中ガ痛ンデ来タノデ、室ニ帰ッテ寝コロ□ンデシマッタ。午後三時ニハ一天全部曇ッテ、遂ニ雨ニナッタ。四時ニハ大概止ンダノデー一寸出テミタラ、船ハ「アンガウル」ヲ既ニ過ギテ居テ、我々ノ後ノ方ニ、ソレハ平タク板ノ様ニ浮ンデ黒ク見エタ。ソレキリ、私ハ間モナク夕食ヲ済マセタママ、室ニヒックリカヘッテ居ル。ウトウトシタリ、煙草ヲ吸ッテミタリ、帳面ヲ取ッテミタリ。

夜ガマタ長イ。ソシテ何度トナク醒メテハ煙^火□草ニ火ヲツケルノダガ。マタ、オカシイヨウニウトウト寝入ッテシマフ。夜中ノ二時ニ上ニアガッテ見タ。雨ハ止ンデ、黒イヨウナ空ノ真天辺ニ、真円ナ月ガカカッテ居タ。水平線ノ上ハアヤシゲナ厚イ雲ガトザシテ居タガ。✓

十二日(木) 終日、曇、小雨、

ㄨ●九月三十日

天気ヨクナル。雲多ク、昼頃マサニ驟雨ノ中ニ這入りソウダッタガ、ドウニカヌケテ、好イ日。南洋ノココラノ海ヲ行ク時ハ、殊ニソレガ雨^気□季デデモアレバ、普通ニ晴レテ居ルト云フノハ、自分達ノ船ガソナ位置ニアルト云フコトナノデ、四方ヲ見渡セバ何処ニダッテ、イツデモ三ヶ所ヤ四ヶ所、雨が降ッテ居ルノデアル。ソシテソナ雨雲□ハココラノ小サナ島ノ何倍モ、何十倍モノ大キナ雲ナノデアルカラ、風ノ少ナイ時ニソナ雲ノ下ニ入ッタ島デハ、半日位雨ニ降ラレテシマフノデアル。ココラノ航海ト云ッタラ実ニ実ニ島カゲツナク、鳥一羽飛バナイ全クノ空ト海トノ中ヲ行クダケデアルカラ、雲カ、或ハ自分達ノ船ガ切り分け、跡ヅケテ行ク波カ、其レヨリ外ニハ見ルモノトテモナイノデアル。併シマタ、殊ニ朝乃至夕方ノ日ヲ負ウタ驟雨雲ハイツ見テモヨイモノダ。ソレガ近ケレバ影絵ノヨウニナッタ黒紫ノソノ雲ト雨ノカゲ、ソシテ雨脚ノ切目切目カラ透イテ見エル太陽ノ光トハ、ソレハ「グレコ」ノ絵ヲグット引伸バシテ、更ニ明暗共ニ光ヲ与ヘタヨウダ。ソレハ何か小気味ノヨイヨウナ、譬ヘバ残忍ナ破壊ニ対スル恐ロシサノ中ニ感ズル実ニ無意味ナ、併シ本能的ナ快感——此ノ表現ガ少シバカリ悪魔的ノ過ギタニシテモ、ソシテ或ル人々□ハ其ノ中ニ、モット聖ナル或ハ偉ナルモノヘノ聯想ヲモッタニシテモ、兎モ角ソレハ一種ノ大キナ感覺的ナモノヲ持ッテ居ルノダトハ云ヘルダロウ。

ソシテ若シソレガ全ク近スギテ我々ノ上ニカブサッテ来ルナラバ——黒イ雲ノ下部ガ音モナク、急速ニ——ト云ッタッテ、ソレハ高速度写真ト全ジ□意味デアアルガ、垂レ下ッテ煙幕ニナリ、ソレカラ海面ガザワザワト煙ノ中デ泡立ツト見ル間ニ、忽チニ海ノ上ヲ走り寄ッテ来テ、アット云フ間ニ目ノ前ニ来テシマフ。ソシテ大粒ノ雨ガポツポツ我々ノ所ニ届イタ時ニハ、モウ逃ゲ□テモ追ヒツカナイノデアッテ、忽チ瀧ノ様ナ□□雨ニ打タレルノデアル。ソシテ此ノ雨が行キ過ギル迄ハ、我々ハ四方ヲ全クトザ

サレテシマフノデアッテ、一町ト先キハ見エナクナッテシマフノデアル——。

ソシテ、若シモソレラノ雲ガ、我々カラ遠イ遠イ所ノ、寧口彼方ナル太陽ニ近イカト思ハレル様ナ所ニアッタナラ、アア、ソレハ実ニ甘イ、甘イ悲シイ、伝説時□代ノ遺物ヲ見ルヨウナ、□幼ナイ思ヒ出ラ、忘レテシマッテ居タ思出ラ、誰カ オバアサマ ノ様ナヤサシイ心デ思ヒ起コサセテ貰ッテデモ居ルヨウナ、ソナニ柔ラカクテ、殆ドモノウイヨウナ情緒トデモ云ハウカ——コレデハアマリニ感傷的ニ過ギタニシテモ、ソシテ他ノ人々□ハ其処ニ、モット現実的ナ美ナリ思ヒナリヲ呼び起シタニシテモ、兎モ角ソレハ或ル夢幻的ナ、情緒的ナモノヲ持ッテ居ルトハ云ヘルダロウ。

何故ト云ッテ、アノ遠イ遠イ、ソシテ夕日ニ近ク、一体ニ其ノ赤イ光デ包マレテ居ル「彼方ナル」一点ニ、遠イ遠イ距離ガスッカリ柔ラカク軽クシテシマッタ、ソナナ雨ヲ考ヘテミルガヨイ。ソレハ古イ古イ民族ガ見ツケタラシイ、紫ノ野ニ降ル赤イ雨デナケレバナ□ラナイ。

午後一時半頃ニハ背中ノ痛ミガ薄ライダノデ、小サナ上甲板ニ上ッテ見ルト、目ノ前ニ既ニ大キクニツノ島ガ横タワッテ居タ。

左手ノ稍大キイノガ Dongosar (ソソル) □デ、右手ノ小サイノガ Falla (ファンナ) デアル。ト云フノハ、私達ノ船ハ夜ノ間ニ潮ノ為ニ二十哩程モ□東ニ流サレテ居タノデ、昼ノ天測デ舳先ヲ^東□西ニ向ケテ、横カラ島ニ近ヅイテ行ッタノデアッタ。島ハ僅カナ低イ真白ナ一線ノ砂浜ノ上ニ、樹木ノギザギザノ緑ガ、蓋ノヨウニ、低イ台ノヨウニ、カブサッタモノデ、私ニハ見慣レタ、何ノ変リモナイ眺メデアル。^(ハジ)シバメテノ人ニハ、ソレハ実ニタヨリナイ、^(到)倒底其処ニ住ム人間ガアルトハ信ジラレナイ、其処ニ行ッテ住マハフトスル人ノ氣ガ知レナイヨウナ、心細イ、云ハバ大海ノ上ニ一枚ノ「オセンベ」ガ浮イテ居ルヨウナ、ソシテ其ノマハリニ薈ノヨウニ珊瑚礁ガ巻キツイテ居テ、其ノ周囲四方カラ白波ガ寄セテハ碎ケテ、其ノ白イ泡ガ岸ヘ岸ヘト走ッテ行ク、ソナ「オモチャ」ノヨウナ、ソレダカラマタ、一種童話的ナ感傷ヲ起コサセルヨウナ眺メナノデハアルガ。ダカラ私ハ怪シゲナ空ガ雨ニナラナケレバヨイガト案ジタダケデ、上陸スル前ニ少シデモ背中ノ痛ミガナクナルヨウニト考ヘテ、マタマタ室ニカヘッテ寝ソベッテシマフ。ソシテ更ニ一時間スルト船ガトマッタ。最初ノ「ボート」ト「サンパン」トデ、沢山ノ手荷物ト一緒ニ会社ノ人々、百人ニ近イ人々ガ出テ行ッタ。島ハ礁外ガ急ニ深クナッテ居ルノデ、碇ヲ下スコトガ出来ナイノデアル。ダカラ本船ハ「エンジン」ヲ止メテ流レテ居ルノデアルガ、島カラハ大分離レタ所ニ居ルノデアル。オマケニ西風ナノデ島ノ表ニハツケナイデ、我々ハ東側ノ島ノ裏カラ上陸スルノデアルガ、今一ツオマケニ、丁度引汐ナノデ礁内ハ浅クテ「サンパン」ハ勿論「ボート」モ中ニ入ルコトガ出来ナイノデアル。ダカラ船カラ見テ居ルト、人々ハ「サンパン」カラ浅イ水ノ中ニ飛ビコンデ、一人一人荷物ヲカツイデ、腰迄モ海ニツカッテ、チャブチャブト歩イテ行ク。礁内ノ浅

イ水タマリニ、百人カラノ人々ガ白イ鳥ノヨウニ□散ラバツテ見エル。ヤガテ「ボート」ガ帰ツテ来テ残リノ手荷物ヲ積ムト、私ト北村君トハ、手マハリノモノヲツメターツヅツノ小サナ「カバン」ト毛布ヲ一枚ヅツ持ツテ、其ノ荷物ノ上ニ飛ビオリ□タ。一人ノ水夫ト一人ノ島民トガ我々ノ「ボート」ヲ漕イデ行ツタ。ヤット波打チニ近ヅクト碇ヲ投ゲテオイテ、「ロップ」ヲ伸バシ伸バシ「ボート」ヲ逆マニムケテ波打チニ寄セテ行クノデアアルガ、勿論水夫モ島民モ海ニ飛ビコンデ、其ノ「ボート」ヲ波ニ押サレ押サレ引イテ行クノデアアル。前ノ大キナ「サンパン」ハマダ荷物が半分モオリズ、来ル波、来ル波ニ打タレテハ其ノシブキデビチヨビチヨニ濡レテ行ク。北村君ガ「カバン」ト毛布トヲモツタママ、島民ノ肩車ニ乗ツタ。腹迄海ニツカッテ沖繩ガ二十人モ波ノ為ニ荷物ヲ取ルコトモ出来ズニ、「サンパン」ノマハリニ取りツイテ居ル。北村君ヲ運ンデ行ツタ島民ガ引カヘシテ来タノデ、今度ハ私ガ「カバン」ヲサゲテ彼ノ肩車ニ乗ツタ。マダ陸迄ハ大分アルガ、水ノヒタヒタニナツタ所デ北村君ガ待ツテ居タノデ、私モソコデオリテ、二人デチャボチャボト水ノ上ヲ歩イテ浜ニ上ツタノデアアツタ。

島ヲ横ギツテ西側ノ村ノ方ヘ。

水産組合ノ佐藤、佐野両所ノ宅ヘ。

会社ノ青山氏、浜山氏モ全ジ所ニ先キニ来テ居タ。

皆デ賑ヤカニ夕食ヲスマセル前カラ、又々ヒドイ雨ニナル。

夜ノ話ハ、昔ノ古イ人達ガ多イコトトテ、山内賢洲ガ軍政所^(署)ノ下ニ散髪ヤラヤツテ居タトカ、藤□本ガ豆腐屋デ、内地カラノ婦リニ手荷物商店ヲ出シタ当時ハ浴衣ガ一反四円五十錢デ売レタ話ナド。ソレカラ飛ンデ歐洲状勢ノ、皆、片ッパシノ智識ヲサラケダシテノ気焰ナドデ勞レテ、皆早く床ニ就ク。

●十月一日

皆、バラバラニソレゾレノ仕事。北村君ハ人頭税集メ、私ハ「ノート」取り。金太郎、サンティヤコ。

私ノ「ノート」ハホンノ部分的ナモノデアアルガ、〔N6. 69〕以下ニ小サクマトメテアルカラ、ココニハ触レナイコトニスル。

天気ハスッカリヨクナリ、船ヲ此ノ西海岸ニマハスコトガ出来タノデ、百噸余ノ荷ガ夕方迄ニ全部上ツテシマフ。ソレデ夕食後帰船、今度ハ佐藤氏ガ「メリール」迄全船スル。✓

十三日 金 晴、

役所ニ柏村氏尋ネ来ル。直チニ熱帯生物研究所ニ案内スル。柏村氏ハ自彊術ノ大家ニテ我ノ胃腸病 ロイマチス ヲ癒シテクレシト云フ。ヨツテ共ニ興発倶楽部ニ行ツテ施術シテ貰ヒ、色々話ヲキイテ、昼帰ル。明日ヨリ早□朝施術ヲ受ケ乍ラ、体操ヲ習フ約束。

夜、テレーケヅ来ル。明日ガラルヅニ帰ル由トテ。

ㇿ●十月二日

昨夜ハ夜中迄流シテ¹⁸⁹⁾、ソレカラ「エンヂン」ヲカケタノダツタガ、今朝六時、正面ニPūr 島ヲ見ル。七時半上陸。コノ島ニハ島民ガ十八・九名シカ居ナイノダ。ソレデ船長ガ「コプラ」ダケ買ヒアツメルト、九時半ニハ帰船、直チニ出航。

天気ハ上々デアアル。

十二時過ギニMelielニ着イタガ、汐ガナイシ、船長ガ相変ラズ、馬鹿ノ様ニ急イデ居ルノデ、帰りニ寄ルコトニシテ上陸セズ。佐野氏等ダケココデオリル。一時半、二三ノ島民ト一艘ノ「カヌー」トヲツンデ出航。

スバラシイタ方^[ママ]ノ空。ソレラノ色ハ画家ノ「パレット」ノ上ニ出シ得ルデハアラウガ、其等ノ光ト、ソレラノ大キサトハ、ツマリハ此ノ感じ全体トシテハ決シテ表現セラルベクモナイモノデアアル。

[欄外に記す]
[プル島]

モウ一度フリカハッテミルコトニシヨウ。船長ト佐野君ト我々トヲノセタ「ポート」ハ、折ヨク汐ガ満チテ居タノデ、波打チヲ越エテ礁内ノ浅瀬ニ入り、直グ砂浜ノ所迄行クコトガ出来タ。白イ綺麗ナ、シカシ荒涼タル砂浜デアアル。

島ノ男女ガホンノ五六人、立ツタリ座ツタリシテ居タ。砂浜ノ向フノ小高クナツタ所ニ、森ノ中ニ二三軒ノ家が見エ、一頭ノ大キナ黒イ、ケレドモヤセヒボケタ豚ガツナガレテ居ル。我々ハ漠々タル砂浜ニ居タダケデ、家ノアル方ニハ入ラウトシナイノデアアル。ト云フノハ、我々ハアマリニ有名ナ蚊ヲ恐レテ居ルノデアアル。我々ハ、イクラ誰モ誰モカラ話ニ聞イテ居テモ、ソレハ余リニ誇張的ニ思ヘテ信ズルコトガ出来ナカッタノデ、別段ノ用意モシナカッタノデアアルガ、イヨイヨ船ヲ出ルトナルト、イツモ行ツテ居ル船長ハ、厚イ「ズボン」ト上着トヲ着ケ、ゴムノ長靴ヲ穿チ、頸ニハ「タオル」ヲ巻イテ上着ノ「ボタン」ヲシッカリトカケテ、帽子ヲカブツテ出テ来タノデ、私達ハ驚イタノデアアツタ。ソシテ笑ツタノデアアツタガ、船長ハ反対ニマジメクサツテ、半「ズボン」デ膝ツッコヲ出シテ居ル我々ヲタシナメテ、逃ゲ帰ルヨウナ目ニアフカラト云フノデアアル。併シ私ハソノママ出カケタ。譬へ彼等ガ嘘ヲツイテ居ルノデナイコトガワカッテ居タニシロ、此ノ私ハ八九年前ニ、兎モ角モ此ノ島ニ、一寸ダケデハアルガ来タコトガアルノデアアル。ソシテ浜ニ上ツタ我々ハ逃ゲカヘルコトモナク、ナルホド僅カバカリ居ル蚊ヲ追フコトスラ稀デアアツタ。ソレハ一ヶ月来盛ニ西風ガ荒レタアトデアリ、今日モ亦僅カ乍ラ西風デアアルカラ、此ノ西海岸ハ比較的蚊ガ居ナイノデアアルガ、船長ト佐野君トハ、殊ニ船長ハ、コンナニ蚊ノ居ナイコトハ全ク珍ラシイノデ、彼ガ国光丸ニ乗ツテ以来ノコトデアルト、何度モ繰リカヘシテ云フノデアアツタ。呼バセタノデ島ノモノガ全部、子

供マデツレテ海岸ニ出テ来タ。ソシテ男達ハ椰子ノ葉デ編ンダ籠ニ、古イ「コプラ」ノ入ッタノラーツツ家カラ持ち出シテ来タ。

〔欄外に記す〕
〔ナポレオン〕

島ノ者、ソレハ七十才ニモナル村長カラ、昨年生レタ赤ン坊迄数ヘテ十八・九人デアアル。ソシテ此ノ十八九人ノ中ニ、十三四才ニナル「パラオ」人ノ子供ガ一人居ルノデアアルガ、皮肉ニモ此ノ少年ノ名ハ「ナポレオン」ト云フノデアアル。ソシテ此ノ遠イ「パラオ」ノ小「ナポレオン」ガ、只一人コノ様ナ離島ニ居ル理由ガ、マタ香バシクナイノデアアッテ、コノ、マダ公学校モ卒業シナイ少年ガ、警察ノ手ニモオヘナイ悪性ナ窃盜常習ノ故ヲ以テ、此ノ二□百哩モ離レタ、人口十八・九名ノ離島ニ流刑ニ処セラレテ居ルノデアアル。三年ノ刑期ヲ既ニ二年近ク、此ノ少年ハココニ過シテ居ルノデアアル。公学校モ補習一年迄行ッテ居タト云フノデアアルカラ、日本語モ相当出来テ居タ筈デアアルガ、我々が他ニ言葉ノ分ルモノガ居ナイ為ニ、此ノ少年ヲツカマヘテ何か云フト、此ノ少年ハ只々、ワカラナイ、私ハ日本語ガワカラナイ、ト云フノデアアッテ。併シ誰モガコノ少年ハ日本語ガ、普通ノ用事ヲ通ズル位ハ出来ルト云ッテ居タノデ、私ハ彼ガ横着（オーチャク）デ、ソナナ風ニスルノダト思ッタ。私バカリデナク、船長モガ、嘘ヲ云フナ、前ニハヨク解ッテヤナイカ！ト何度モ云ッタ位デアアッテ。ダカラ私ハコノ「ナポレオン」ニ向ッテ、「パラオ語」デヤリ出シタノダ。スルト彼□ハ一寸驚イタ顔ヲシタガ、何度モ聞キ直シテハ、サテ答ヘル時ニハ「パラオ」語デ答ヘハジメルガ、少シモ続カナイデ、イツノ間ニカ此ノ島ノ、Pūr 語デ話シテ居ルノデアアッテ。ソレニ一寸ノ間ハ気がツカナイデ居ルカノヨウニ。

私ハカマハズニ「パラオ」語デハナシカケタガ、イツデモ彼ノ答ハ殆ド、ハジメノ肯定否定ト其ノ次位ダケガ「パラオ」語デ、日本語ノ単語ガ時々ト、ソシテアトハPūr 語ニナッテシマフノデアアッテ。

他ノ人達ニ対シテハ彼ハ「ワカラナイ」ヲ連発シナガラモ、兎モ角日本語デヤッテ居ルノデアアル。スルト「パラオ」語ヲ使ハレルト、ズット気楽ニハナルラシイ。ト全時ニ、気楽ニナレバPūr 語ガ口ヲツイテ出ルラシイ。ソレニシテモ、タッタ二年バカリノ間ニ、生レテカラ十年間モ、ソレノミニ親シンデ居タ自分達ノ言葉ヲ、ソナナ風ニ忘レテシマフ——ノデハアルマイガ、話シニククナッテシマフト云フコトガ有り得ルダロウカ。多分ソレハ有り得ルノダロウ。何故ト云ッテ、彼ハ此ノ全ジ年月ノ間ニ全クPūr 語ヲ征服シ——ト云フヨリPūr 語ニ征服サレテシマッテ居ルノデアアッテ、彼ニトッテハPūr 語ハ既ニ既ニ、生レタ時カラPūr 語ヲ語ッテ居ル者ト全ジニ、例外ナシニ彼ノモノトナッテ居ルノダカラ。誰カガ此ノ□少年ニキイタ。

「一体、オ前ハドコノ村ノ子ナノダ」

スルト少年ハ、一枚ノ紙キレヲ出シテ見セタ。

「私ノオ父サンノ名前ハココニアリマス。「アルベシ」デス」

紙片ニハ「インキ」デ只「アルベシ」ト書イテアツタ。
 「ドコニ居ルノダ」
 「「アラカサオ」デス」
 「Ngerekesoal カ」ト私ガキクト、今度ハ懐シソウニ
 「ア、アナタハ知ッテ居ルノデスネ、ソノNgerekesoal ニ居ルノデス」。「アラカサ
 オ」ト云フノハ、日本人ガ云ヒニクイ為ニ勝手ニ呼ビナラハシテ居ル名ナノデア
 ル。不^橋
 □□懸ナモノデハアル。併シ又、此ノ少年ハ生レツイタ悪性カ、二年モコノ様ナ□
 島ニ
 流サレテ居テモ、ソシテ生レ□テ育ツタ「パラオ」ニ帰リ度イ心デイッパイデア
 ヂテモ、
 (欄外に記す)
 [(実ワ今デワ、殊更ニ生レ故郷ニ帰リ度イト思ッテイルカドウカ)]一向本心カラ
 悔イテ
 改メヨウト努力シテ居ルトハ思ハレナイノデアツテ、小サナクセニ島ノ大人ドモ
 目下
 ノモノノ様ニ取扱ッテ居ルサマガ有リ有リト見エ、一点謙譲ノ心ヲ持ッテハ居
 ナイ様
 子デアリ、横柄ト云フカ、不敵ト云フカ、何事ヲモゴマカシテ過ゴシテ行ク
 コトニバカリ
 慣レテ了ッテ居ルヨウニ見エルノデアツテ、聖人デモ此ノ少年ヲ打チ直スコトハ
 六ヶシ
 イノデハアルマイカトサヘ思ハレル。ソレハ、「ドストイエフスキー」ノ愛ヲ以テ
 伸ビ返
 ラサレ得ル虐ゲラレタ心トハ、マタ□別ナ何物カノヨウニ思ハレルノデアツタ。
 「セント・ヘレナ」ナラズ絶海ノ孤島Pürニ流サレタ「小ナボレオン」ノ行末ヲ
 チラト考ヘ
 タケデ私ハ、何か世ノ中ノ一番真暗ナ一面ニブツカッタ様ナ気がスル。ト云フ
 ノハ、世
 ノ中ノ悪事ト云フ悪事ハ、勿論出来心ヤ環境ノ影響カラ生レル場合ノ方ガズ
 ヂト多イ
 トハ云ヘ、コノ様ナ、ヨリ運命ノナモノガアルノデハナイカト考ヘラレルカラ
 デアル。併
 シ私ハモウ此ノ辺デ「ナボレオン」ニ係ハルコトヲ止メヨウ。
 佐野君ガ此ノ少年ニ二三冊ノ古雑誌ト、ヤサシイ少年ノ絵本トヲヤルト、彼ハ
 ソレヲ
 シッカリト片腕ニカカヘ込ンデ、何ヲスルニモソレヲハナソウトハシナカ
 ヂタ。
 (欄外に記す)
 [123頁へ。]

十四日 土 晴,

朝五時ニ興発倶楽部ニ柏村氏ヲ訪ネル。野口君モ来ル。約束ノ体操ヲ一通リ習
 ヂタガ、
 数ガ多クテトテモ一寸ヤソツトデハオボエラレルモノデナイ。

「ボーイ」ノOdoriong達ガ又鳥ヲ一羽ツカマヘテ来テクレタ。鶯ノ類デア
 ルガ、Sohouh
 トハチガッテHoleteyاهر(oleteyaor)ト云フノダト云フ。足ヲシバツテオ
 イテ「スケ
 ヂ」シタガ、ノベツニ動イテ居テ物ニナラナイ。(ハクセイ)ニスル様ニ倶
 楽部ノ爺サ
 ンノ所ニモツテ行ッテシマフ。

生駒丸出航、陣内君休暇デカヘル。

十五日 日曜日 朝が晴、午^{〔雨服〕}後ヒドイ驟が三四回ツツケテアリ、四時ニハ止ミシモ
□夜九時半過ギテ又雨トナル。

スバラシイヨイ天気ダツタノデ、九時半カモット過ギタ頃、チリチリト日高照ツテカラ出カケ、Ilamms ニ行ツタガ、Ngelūūl ハマダ居ナイ (Halap トノイキサツノ後、隠レテシマツテ居ルノデアル)、Kūkong ハ加減ガ悪イ。ソレデー人デ Ngerehemai ニ行ク。Koriang ノ所ニ行ツテ Kirūū ヲ尋ネタラ、近所ニ遊ビニ行ツテ居ルトテ間モナク呼ンデクル。□ Kirūū ト a Yoboh ノ所ニ行ク。a Yoboh ハ此ノ頃ニナツテヤット一人ノ赤ン坊ガ生レタトテニコニコ喜ンデ居ル。ココデ「タピオカ」ガ煮エタト云フノデ少シ貰^{〔鹿〕}ツタガ、odoim ガナイトテ a Yoboh ガ密柑ヲ取ツテクレ、若椰子ヲ取ツテクレル。暫ラク休ムウチニ、Kirūū ガ向フニ沢山人ガ居ルカラ行ツテ遊ボウト云フノデ、bai ノ裏ヲマハツテ一軒ノ離レタ家ニユク。ソコニ、全ジヨウナ年頃ノ三人ノ女ガ居テ賑ヤカニ私ラムカヘテクレタガ、此処ニ Sabūrang ノ「キシガミサン」ガ居タ。今日ハ Olbasūh ガ会社ノ人達ト Helebahab ヘ行ツタトカデ来ナイノデ、彼等少シモノ足りナカツタ所ダツタノダ。ダカラ流ス様ナ□雨が降ツテ後ノ晴間ニ、御馳走ガドンドン運バレタ。Kūkāū ト diokang ト liūs ノカイトノト、牛肉ノ罐詰ト鶏^{〔タ〕}ノ煮トノト、煮魚ト、魚ノ Garat ト、ソレカラ何年ブリカデオ目ニカカル Keam ト、ソシテ Mngūūr ト。又雨が来、風が来、「ベランダ」ハ雨漏リト吹キコムノトデ、外ノ様ニナツテシマヒ、沢山ノ人達ハ戸ヲシメキツテ薄暗イ部屋ノ中ニテンデニ枕ヲ出シテ寝コロンデシマフ。歌ヲウタヒ、聞コヘナイ蓄音器ヲナラシテ、外ノ雨風ニ挑ミカカツテモダメダ。外ノ雨ハ一寸止ンデハ又風ト一緒ニヤツテ来タガ、四時ニハドウヤラ晴レタ。其ノ間ニ Koriang モ傘ヲサシテヤツテ来タ。Uhelbil ハ反対ニ雨ノヤミ間ニ帰ツテ行ツタ。Uheliyoū ト Kirūū トハ寝タリオキタリシタ。私ヲツカマヘテ歌バカリ歌ツタ女ノ名□ハ知ラナイ。向フデハヨク知テ居タラシイケレド。マダマダアヤシイノデ私ハ帰ツテ来タ。Ilamms ニ一寸ヨツテ Tehekī ノ所マデ来タラ、後カラ Maria ガ追ヒカケテ来タ。「何処ヘ行ク」ト云ヘバ「アナタノ処ヘ行ク」ト云フ。デー一緒ニツレテ来ル。オ茶ヲ入レテ居ルト、栗山君ガ、小林君ガ、交通課ガ、三瓶君ガ集ツテ来テ賑ク□賑ハフ。皆ガ散ツテカラ長イコト小林君ノ所デ蓄音器。九時、小林君ガ Maria ヲ送ツテ行ク。私ハ風呂ヲアビテ九時半頃カラ柏村氏ノ所ニ体操ニ行ク。済ムト、隣リニ杉浦 (健一) 君ガ帰ツテ来テ居タノデ寄り、十二時辞シテ帰ル。

十六日 月 終日ドンヨリト曇ツテ寒ク、背中痛ム、

明日カラ Melekeok¹⁹⁰⁾ ニ出張スルコトニナツタノデ、役所ガヒケテカラ買物ヲトトノヘ、夕食□前舟木氏ノ所ヘ一寸。夕食後ハ、昨日 Maria ト約束シテ置イタノデ、小林君ト Ngerehamai ニ行ク。途デ Maria ニ逢ツタガ、先キニ行ツテクレト云フノデ行クト、Kirūū ガ居ナイ。一寸待ツテ居ルト帰ツテ来タガ、蓄音器ノ譜ヲ何処カラカ借りテ来タ

ノダ。スグニ昨日ノ家ニ行クト、Sablang ガチャント来テ居ル。Uheliyōu ガ喜ブ。Kūlkūdai ガボンヤリシテ居ル。今日ハ呼ンデアッタト見エテ、男ノ子達モ二三人居ル。ソレカラ又モ一度夕食。ニギヤカナ出タラメナ夕食。ソノウチニ Maria モ来ル。Uhelbil モ来ル。「アヤコ」モ。蓄音器デ踊（ダンス）ヲ習ツタガ、私ハ背中カラ胸が痛ンデ大方騒々シイ中ニ寝コロンデ居ル。ソレカラ matomatong ヲモヤラセタガ、皆忘レテシマツテ居テーツモマトマラナイ

十七日 火 晴，昨日ト反対ニ風モナク，スバラシイ□ヨイ日，

昨日ハ日記ヲツケカケタママダツタガモウヤメ。

朝，本寫行キノ仕度ヲシテ居タラ，野元氏ガ来タ。ソレデ杉浦君ノ所ニ電話ヲカテ途^{〔ママ〕}中寄ツテモラヒ，九時前ニ波止場ニ荷物ヲ運ンデシマヒ，野元氏ノ所ニ行ツテ話シテ居ル。

十時，緑丸ニ乗り，途中 Ngkeisar ニ寄り，二時前 Melekeok 着，高橋巡查ガ波止場ニ出テ居タガ，挨拶ダケシテ公学校^{〔昆清〕}ニ森校長ヲ尋ネル。暫ラク休ンデ後，昔ノ Malūbik ノ家ニ宿ルコトニシテオチツク。夕方，森氏ノ所へ「バス」ニ行き，帰ツテ diokang ノ夕食。かなり遅クナツテ^{M e n t e i}□□□□□ Siabal ガ通訳□トシテ，Medalangkal ト^{N g e}□□□^r□ Rehetaoh 老人トガ話シニ来ル。

夕方カラ背中が痛ミ出シテ苦シク，暫ラク話ヲキイテ居タガ，堪エラレナクテ寝コロンデシマフ。

十八日 水 晴，

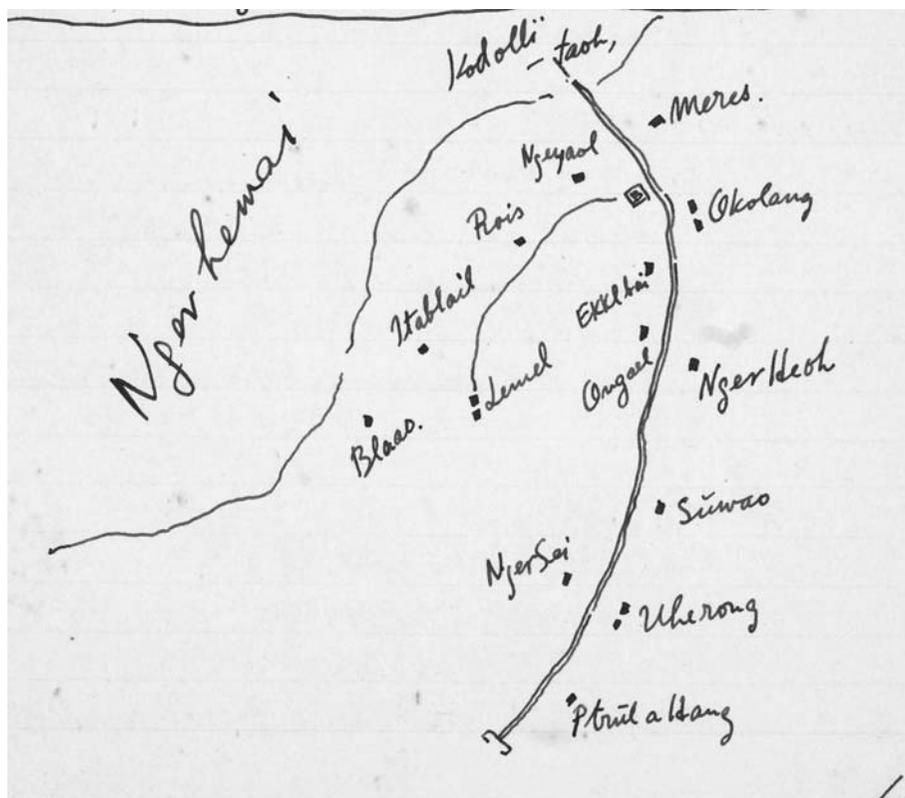
朝九時頃カモット過ギニ Medarangkal ト^{N g e r}□□□□ Rehetaoh トガ来ル。通訳 Tellei。夕方四時過ギ迄ブツツケニヤル。夕方 Ngabūrh ノ方ニ杉浦君ト二人デ散歩。帰ツテクルト背中ト腹ト一緒ニ痛ミダシテ堪エラレズ，夕方後八時頃^{〔食〕}Rūbak 達来リシモ，何トモ堪エラレズ，杉浦君ハ十時頃迄ヤツテ居タガ，自分ハ寝テシマフ。

十九日 木 快晴，

明日学校デ寄宿舎ノ落成式ガアル筈デ，支庁長ガ来ルト云フノデ，村デハ道ヲ手入スルヤラ何かデー向誰モヤツテ来ナイ。ソレデ杉浦君ト村ヲ一マハリ歩イテ，家々ノ場所ダケトフテ，十一時頃カ帰ツテクルト，Rehetaoh ガ来テ居ル。村ヲ廻ル頃カラ背中ト腹が痛ミ出シテ堪エラレナクッタノデ，家ニカヘルトイキナリ^{〔ママ〕}ヒックリ帰ツタガ，学校デハ明日ノ学芸会ノ総練習ヲシテ居ルノデ，青年団カラ通訳ノ者ガ来ナイ。ソレデ胸ヲシバリツケテ，又少シバカリ話ヲ続ケテ居ルウチニ，痛ミガダンダン遠ノイテクル。昼間ノ質問ヲ早くウチキツテ止メ。

夜ハ又 Rehetaoh ガ来タノデ，Saharūleong ト二人デ，Molongoes ヲ通訳デ，又杉浦

君ガハジメル。



二十日 金 晴，午頃一寸雨ガアツタガ，直グ過ギテシマフ。

寄宿舎ノ落成式，学芸会ト云フノデ，朝カラ子供達ガ（イッチョーラ）ノ着物ヲキセテ貫ッテ飛びハネテ居ル。Ungiwal カラ，Ngkeisar 方面カラ，人々ガドンドン集マツテ来ル。

十二時過ギ杉浦君ト学校ニ行ッテ見ルト，モウ支庁長ノ一行ハ来テ居タ。新寄□宿舎デ，一行及ビ来賓，「ライスカレー」ノ会食。

直チニ落成式ニ引続イテ学芸会デ夕方ニナツテシマフ。

晩ハ村吏事務所デ山海ノ御馳走ニヨバレ，後「パイ」デ女達ノ matomatong。Saharüleong ノオバサンモNgarard カラ帰ッテ来ル。昔ノ Idüp ガ大キクナツテ Ungiwal カラ出テ来ル。

今日ハ幸ニ朝カラ一日背中ガ痛マナイ。

二十一日 土 晴，無風，

朝十時迄モ支庁長ノ話相手ニナツテシマフ。後一行ハ「ガラルヅ」ニ向ケ出發。

午後又 Madaranghal, Ngirasahadūi, Rehetaoh 来ル。夕方六時近ク迄ヤリ，学校ニ風呂ヲアビニ行ク。

夜又皆集ツタガ，私ハ又背中ガ痛ンデ寝テシマフ。

杉浦君ハ，十二時迄モ続ケテ居タ。

二十二日 日曜日 晴，

村ノ者等総ガカリデ（ボラ）漁ニ出タノデ，十時前頃，波止場ニ出テ参加シ，昼頃サキニ帰ツテクル。

夜ハ Madarangkar, Ngirasahadūi, Rehetaoh 来，十一時迄。

二十三日 月 晴，無風，午後パラバラ雨アリ，

昼迄 Rūbak, 午後ハ婆サン五六人，夜ハ又 Rūbak。

夕方カラ又々背中ガ痛ンデ早ク寝コロブ。

二十四日 火 晴，

昼迄爺サン達，午後婆サン達，夜又爺サン達，十二時迄。

二十五日 水 晴，

朝 Telbokod ニ行ツテ Rūlūkd ノ所デ昼迄。Balao ニ行キ Tomol ノ所デ二時頃迄，中食後夕方迄 um デ。夕食ヲ森氏ノ所デ呼バレル。高橋巡查モ遅レテ来ル。九時ニ帰り，自分ハ ūm デ，書キ残シタ，家々ニ就イテキキタダシ，杉浦君ハ例ノ通り老人達ト，夜中ノ二時迄モヤル。

二十六日 木 晴，

九時「マルキョク」發，「ミドリ丸」デ「コロール」ニ帰ル。午後一時着，後役所ニ顔出シテ来ル。

夜，栗山君ト「コロール」波止場ノ方ヲ一廻リシテ来ル。

笠置丸入港。

二十七日 金 晴，昼暫ク雨アリ，

受信 津山尚，山口歌子，新井正治，三沢寛，金子九平次，西尾滋，中沢英子，江崎悌三，山田剛，後藤貞二・園子

○中沢忠久（ノートブック），「美ノ国」八月号

○山口歌子（ズボン）

森井氏ヨリ、飛行便デ来ル由入電、

夜、「美ノ国」ヲモッテ野元氏ノ所ニ遊ビニ行ク。

マルキョク以来、毎晩実二月ガ美シク

二十八日 土 晴、

発信 津山尚、山口歌子、遠藤香苗、中川善之助、西尾滋、新井正治、江崎悌三、中沢英子、玉枝、田辺保英

〔欄外に記す〕
〔114頁ヨリ。〕

ソシテ「プル」島ノ人々ニ就イテ考ヘル時、私ハ是等ノ印象ヲドンナ言葉デ語ルベキカ全ク解ラナイノdeal。荒涼タル浜deal。島ノ西側ノ小サナ一部ニ三軒カ五軒ノ小屋ガアリ、二人ノ老人ト二人ノ中年者ト、ソシテ三人ノ青年ト、ソシテ全ジ位ノ女ト若干ノ子供トガ住ンデ居ル。島ノ中央ニ□「バン」ノ木ヤ其□他ノ巨大ナ雑木林ノ、日モ通サナイ茂ミノ中ニ、大キナ沼地ガアッテ、其処ニハ又「マングロブ」ガカラミ合ッテ居ル。ソシテ其処ニ一年中無数ノ蚊群ガワメキタテテ居ルノdeal。豚ガ三四頭ト、ソシテ瘠セタ鶏ガ十数羽。二ヶ月半毎ニ国光丸ガ来テ、一二時間寄ッテユク。其ノ間ニ彼等ハ十俵バカリノ「コブラ」ヲ造ッテ置クコトニヨッテ、僅カナ金錢ヲ得、ソレガ彼等ノ禪トナリ、女達ノ簡単服トナリ、煙草トナリ、マツトナルノdeal。是レガ外カラ見タ彼等deal。ソシテ内カラ見タ彼等ハ？ 酋長 Maiyang ハ昔気質ノアドヴェン□□チュラーdeal。^{極メテ}□□□不細工ナ「カヌー」ニ帆ヲ上ゲテ Meliel ニ、Dongosar ニ遊ビニ行ク。ソシテカツテハ流サレテ、遠ク「パラオ」ニ流着シ、永イ滞在ノ後ニ、汽船デ此ノ島ニ再ビ連レカヘラレタ。Dongosar ニモ何度カ滞在シタ。佐野君達ガ「Pül ニ帰ッテミテ何ガアルカ、Dongosar ニ居テ島ノ人ニナレ」ト、イクラススメテモ、自分ノ村ガヨイト云ッテハ帰ッテシマフノdealト云フ。ケレドモ亦、Maiyang ノ云フトコロニヨルト、彼ノ子供ノ時分ニハ、此ノ村ハ、中央及ビ南北ノ三ツノ村ニ分レ、三百人ヲ下ラナイ人口ヲモ□ッテ居タ。ソレハ彼ガ数ヘタ氏族ノ数ニヨッテモ肯カレル数dealルト思フガ、ソレガ大嵐ノ時、津浪ニ合ッテ一タマリモナク流サレテシマヒ、其後更ニ「パラオ」其他ノ島ニ逃ゲタモノガ多ク、一朝ニシテ此ノ様ナ、見ル影モナイ村ニナリハタタノダト云フ。「オレヤイ」方面ノ小島ニモ嵐ニヨル村ノ崩壊ニ関スル話ハ、必ズ持ッテ居ルノdealガ、ソレデモ此ノ島位ヒ其ノ惨禍ノ影響ヲ□□^{如実}現実ニ伝ヘテ居ル島ハナイノdeal。尤モ隣島ノ meliel モ亦、此ノ島ト並ンデ唯ニツノ例dealノダガ。

私達ハ一時間ノ後ニ、コレヲ「生き残り」ト、小「ナポレオン」トヲ見ステテ「ボート」^{〔ママ〕}ノ乗ッタノdeal。

●十月三日

稍雲ハ多イケレドモ、天気ハ上々デアル。風モ南寄りノ西風ダガ、波ノタツ程デハナイ。ソシテ七時ニハ懐カシイ「トコベイ」ノ島影ガ現ハレ、八時ニハ既ニ其ノ西海岸ノ外ニ居タ。私達ハ直チニ上陸シ、興発会社ノ事務所ニ案内サレタガ、此処ノ所長ノ河野氏ハ、私ガ以前ニ「パラオ」ニ居タ時分ニ、私ヲ知ッテ居タト云フ。ダンダン思ヒ出スト、此ノ河野氏ハ当時「パラオ」支庁ノ刑務ニ勤メテ居タ人ダツタ。併シ斯ウシテ民間ノ会社ニ勤メテ永クナツタ河野氏ハ、誠ニ如才無クナリ、全時ニ所長ラシイ貫録ヲ備ヘテ居タ。暫ク雑談ノ後ニ河野氏ノ案内デ島ヲ一週シタガ、途中東海岸ニ今度出来タ測候所ニ寄ツタ。若イ宇津木君ガ此処ノ所長デ、更ニ若イ事務員ガ三人、裸デ事務ヲ取ッテ居タ。此ノ測候所ノ高台カラ例ノ田圃ガズツト見渡セルガ、私ハ此ノ島ノ此ノ田圃ガ実ニ好キダ。

「トコベイ」島ハ此ノ田圃ガアルバカリニ、他ノ無数ノ、ソシテ全ク退屈ナ程似通ツタ小サナ珊瑚礁島ノ中デ唯一ナ気分ヲ持つテ居ルノデアル。「トコベイ」島ノコノ田圃ハ全ク人工的ナモノナデアツテ、彼等ノ祖先ガ永イ永イ年月ヲカケテ作り上ゲタ、貴重ナ彼等ノ財産ナノデアル。彼等ハ此ノ小サナ島ヲ、他ノ無数ノ全ジ様ナ島ノ自然ノ状態カラ、永イ永イ年月ヲカケテ、此ノ状態ニマデ整理シ、彼等ナリニ征服シテ^居来タノデアル。ソレハ実ニ整然タルモノデ、彼等ハ周囲ノ砂浜ノ内側ニ添ウテグルリト椰子林ヲメグラシ、育テ上ゲタ。ソシテ其ノ又中側ニグルリト、昔ナガラノ雑木ノ林ヲ残シテ壁ヲ築イタ。ソシテ其ノ壁ノ中ヲ、密林ヲ伐切シ、根コソギホジリカヘシ、ソウシテ彼等ノ田圃ヲ得ル為ニハ、其処ヲ、水ノ出ル迄掘リサゲナケレバナラナカッタノデアル。此ノ^居掘リ上ゲラレタ土ガ、^{雑林}□□雑木林ノ壁ノ中側ニ丘陵ヲナシテ積上ゲラレテ居ルノデアル。ソレハ大変ナ努力ヲ必要トシタモノデ、道具ヲ持タナ□□カッタ彼等ハ、唯一ツノ小サナ椀、椰子ノ実ノ殻デ、イッパイ、イッパイト、燐鉍ノ塊ヲオコシテハ砂土ヲ掘ッタモノデアル。斯ウシテ永イ永イ年月ノ間ニ、何代カノ人間ニヨツテ為サレタモノデ、一度ニナサレタモノデモナク、一貫サレタ計画ノ下ニナサレタモノデモナカッタノデ、前ニ□□述ベタ様ニ、大体ニ於テ、全週ニワタツテ丘陵ガ築カレタ外ニ、此ノ田圃ノ中一面ニ、不規則ニ、掘ッテハ積ミ上ゲラレタ凸凹ノ小山ガ幾ツトナクアルノデアル。ソシテ此ノ小山ニハ、稀ニ氣マグレニ椰子ノ木ガ一二本植エラレテ居ル外ニハ、一本モ木ガナクテ、^{〔二脱〕}綠色ノ草ガ生エテ居ルダケナノデアル。ソシテ是等ノ小山ガ築カレルコトヨツテ掘リ下ゲラレタ一面ノ田圃ニハ、ギッシリト瘠セタ「タロ」芋ガ、全ジ様ナ背丈ニ、全ジ形ノ葉ヲギッチリト並ベテ居ルノデアル。外ノ椰子林ノ中ヲ、海岸ニ添ウテ島ヲマハリスル道ガツケラレ、ソレカラ此ノ測候所ノ所カラ反対側ニアル村ニ、□□真直グニ抜ケラレル様ニ、田圃ヲ突切ッテ土堤道ガ通ッテ居ルノデアル。八年前ニ私ハ此ノ島ヲ探シテ来タノデアツタ。「パラオ」カラ初メテ此ノ離島ヲマハツテ来タ時、ソシテ此ノ島ニ迄来タ時ニ、私ハ此ノ美シイ、然シ本当ニ取残サレタ様ナ島□□ト島人トヲ見タ時、実

ニ謂レナイ悲シサデ胸ガフサガッタノデアッタ。私ハ此ノ島ヲ、コレヨリ何ウニモ動シタクナカッタ。其ノ当時、此ノ島ハ既ニ絶滅ノ一路ヲ巡ッテ居タノデアッタ。島ニハマダ二百人足ラズノ人間ガ居タノデアッタガ、子供ト云フモノハナカッタノデ、唯一人ノ五才程ニモナル子供ガ、全ク二百人カラノ島人ノ中ノ、唯一人ノ子供ダッタノデアル。私ハ本當ニ、此ノ悲シイ島ト島人トガ、此ノ儘絶滅シテモ、コレヨリ少シデモ手ヲ加ヘテ、無益ナ現象ヲ此ノ島ト島人トニ起コサセタクナカッタ。否、此ノ□儘絶滅サセテ了フコトガ、彼等ノ、何ト云ハウ、名譽ヲ傷ケナイデ、彼等ヲ□□□^{全ウサ}彼等ナリニ全ウサセルコトデアル。

併シ時ハドンドント総ベテヲ進行サセ、汝ハドンドント容赦ナク此ノ絶海ノ孤島ニモオシ寄セル。ソシテ弱者ハ常ニ常ニ、強者ノ意志ニヨッテ歪メラレテ行クノデアル。此ノ時、既ニ「スペイン」ノ坊主ガ、遠クコノ離レ島ニ入ッテ来テ、島人等ヲカキマハシテ居タノデアッタ。何デモ私ガ行ッタ時ニモ、一緒ニ行ッテ居タガ、「カトリック」ニ於テハ唯一回ノ結婚ヲノミ認メルモノデアルト云フ訳デ、再婚三婚シテ居ル島人等ヲ集メテ、再婚者三婚者ヲ引分ケテ、再ビ初婚ノ者ニ返ラセル為ニ、坊主自身が大立マハリデ、結^[ママ]ブノ神ニナッテ居タノヲ思ヒ出ス。私ニハソレガ彼等ノ為ヨリハ、更ニ更ニ、ドレダケ私自身ノ為ニ悲イコトデアッタロウ。アノ時「スペイン」坊主ガ入ッテ居ナカッタナラバ、私ハ今ノヨウニハ決シテナッテ居ナカッタデアロウ。

測候所ニ居ル間ニドット「スコール」ガヤッテ来テ過ギタ。島ヲ一マハリシテ来ルト、オ風呂ノ用意ガ出来テ居タノデ、私達ハオ風呂ニ入ッテ浴衣ニクツロギ、間モナク「コプラ」ヲ半分済マセテ来タ船長ト一緒ニ昼食ヲ馳走ニナル。

午後二時、村長ト通訳□トガ来タノデ、北村君ハ人頭税ヲアツメタガ、大概集ツタ頃カラ、私ノ方ハ例ノ通り、クドクドシタ質問ヲ六時過ギ迄モ続ケル。ソノ結果ハDongosart共ニ非常ニ面白イモノデアッタガ、是レハ別ニ書クコトニスル。

暮レルト、大「テーブル」ニ会社ノ人ガ河野氏共ニ四人、私達ト、宇津木氏トガオ客デ、賑ヤカナ鶏鍋ガ、長イコトカカッテツツカレタ。昼頃「スコール」ガ来テカラ、西風ガ、アノ西風ガ——コノ西風ハ南洋ノココラノ、此ノ季節ノ習ハシデ、吹き出スト朝カラ晩マデ、ノベツニ幕ナシニ吹イテ吹イテ、ドウカスルト一ヶ月モ止ミ間ナク吹イテ椰子ノ葉ヲサヘ赤ク吹キカラスノデアル——ノベッタラニ吹キスサビ、天気ガスッカリ曇ッテシマッタ。

^[欄外に記す]
[135 頁へ]

夜ブラブラ村ニ出ル。安達サンノ前ヲ通ツタラ Terēked ガ居テツカマル。Terēked ハ昨晚モ「バナナ」ヲ持ッテ尋ネテ呉レタノデアッタガ、今日モ私ノ所ニ行ッテ来タ所ダト云フ。ūdoūd ヲ四ツ探シテ来テクレタ。娘ノ Emikosang ト云フノヲ呼ンデクルト云ッテ出テ行ッタガ、ヂキニ其ノ娘ヲツレテ来ル。暫ク話シテ、明後日 Ngarald ニ帰ルト

云ッテ帰ッテ行ッタ。後、背中が痛ンデ来タガ Ilamms ニ行ク。Halap ガ「カルブス」ニ入ッテシマッタノデ、Ngelūūl モ帰ッテ来テ居タシ、Kūkong モ居タシ、ソレカラ Sahabid モ来テ居タ。月デ明ルイ道ヲ十二時近クナッテ帰ッテクル。

二十九日 日曜日 晴，十時頃雨アリ，後晴レシモ昼ニハ又雨，其後漸次悪ク降ッタリ止ンダリ，夜ハヒドイ雨，

十時半頃一雨来タ後ヨク晴レタノデ，思ヒキッテブラブラ出テ Ilamms ニ行ッタガ，ダンダン天気悪ク一日トヂコメラレテ，夕方 Müttükūl ノ ohoraol カラ御馳走ガ持ち帰ラレテ皆デ集ッテ食ベル迄モ居テ，八時過ぎ雨ノ止ミ間ニ帰ッテ来タガ，途中で，又降ラレテ ビチョ スレニナッテ帰ル。

三十日 月 終日曇，何度カ雨，

午後，会議室デ課長及ビ関係者会議デ呼び出サレタガ，内地デ米ノ不足ニツレテ統制ガ行ハレハジメタ際，南洋デモ対策ヲ考ヘル必要ガアルト云フノデ，補助食料ニ就イテト，其ノ増産及ビ普及宣伝ニツイテノ討議アリ。此ノ所何カ，ビッコノ様ナ世ノ中デア
ル。

三十一日 火 曇，小雨何度モ降ル，

飛行機デ，森井君ガ帰ッテクル。内地ノ話，上海迄一日デ行ッテ来タ話。

十一月

一日 水 晴，

興亜紀念日デ，朝五時半カラ，遥拝，黙禱，ラヂオ体操。

^{登置}
□□サイパン丸入港。

受信 柴山百合子，杉浦佐助，「オール女性」

百合チャン，

御手紙ヲアリガタウ。ソレカラ今度ハコワガラナクテモイイヨ。ダッテ，モウ叱ルコトモナクナッテシマッタヨウダモノ。秋モ深クナッテ——百合チャンモ何ダカ悲シクナッタンダロ。本当ニ百合チャンノ手紙ヲ見タラ，僕モ何カラ思ヒ出シタ様ナ氣ガシタヨ。僕モ若イ大事ナ大事ナ時ヲ家ノ中ノクサビニナッテ——ソリヤ百合チャンノ場合トハ□マルデチガウモノダケドサ——長イ間ゼット自分ヲオサヘツケテ居タコトガアツタカラサ。ダケド今日ハ別ナ事ヲ思ヒ出ソウヨ。ソリヤ イツダッテヨカッタケドサ，秋ニナルト鎌倉ハヨクッタネ。天園ダノ，百八槽ダノ，ソレカラ何トカ峠ダノ，何トカガ谷（ヤ

ッ) ダノト実ニヨク歩キマハッタネ。銭洗ヒトカ云フベンテン様モアッタネ。ソレカラ小サナ赤イ鳥井^(原)ガ沢山ナランデ居ル小サナオイナリサンモアッタネ。ソレカラ峠ニハ薄ガ高クノビテ、足ノ下ニカワイラシイ紫色ノリンドウノ花ヲ見ツケタネ、道ノワキノ木ニ烏瓜ガ赤クナッテブルサガッテ居タリ、名モナイ ツマラナイ花ニ シジミノ蝶ガ音モナク ハタハタシタ、ソシテ カラット晴レタ青イ空ガ、夕方ニナッテクルト悲シク霞ンデ——秋モ末ニナル頃ノ、アノヤワラカイ深イ靄ヲ、ソシテヨク歩イテ暖カクナッタ肌ニ風モナイ冷エガ、ヒエヒエト触ッテクルノハ何テイイ気持ダロウ。ソレカラオ庭ニハコスモスが咲イテユレタネ。紫苑モアッタネ。コスモスダノ紫苑ダノ、ナンテツマラナイ花ダケド、ソリヤ時色ノ大輪ノ菊ダノ、白イ目ノサメルヨウナ懸崖ダノモ立派ダケド、ソレヨリモ秋ヲ深く親シムニハ、ヤッバリ野ノ□花ノ感ジヲソノママ持ッテ居ルヨウナ花ガイイ。ソレカラ シットリトシタ雨ナド降ルト、裏ノ土手ノ彼岸花ガ パット赤ク目ニツク。アノ二階ノ裏ノ窓ノ眺メトキタラ、実ニジメジメシテ居タネ。

百合チャンハ机ニチョコント座ッテ、出来ナイサンジュツヲ、タンネンニ削ッテ鉛筆デ、ゴムデ消シテハ タンネンニ書イテキタ。ソナ日ニ僕ハオ客間ノ椅子ニ腰カケテ、チクリチクリ外国ノ田舎ノオ婆サンノヨウニ、フランスシシューヲシタリ、編棒ヲ使ッテ小サナ葉ヲ編ンダリシタノヲ思ヒ出スヨ。

サテ、御手紙ト云フモノハ、コンナ風ニ書クモノデスヨ。

処デ御紅茶ヲイッパイイレテ頂戴。スッカリオ喋リデ咽ガカワイテシマッタ。

ヒサカツ

二日 木 曇ッテ何度トナク何度トナク雨が降ッタガ、□時々日モ照ッタリ、警察練習生達ニ課外講議^(義)トシテ島民ニツイテ何カ話シテ貰ヒ度イト、刑務課長カラ話シガアッタノデ、夕方石川法院長ノ所ニ、ソナ相談カタガタ行ッテ来ル。帰ッテクルト野元氏が見エ、高松君ガ来ル。

三日 金 明治節^(昨) 作晩中止ンダリ降ッタリシタ雨が晴レテ、一日ヨイ天気、八時、役所ニテ式。

小学校デ体育デー運動会。一人一種目以上参加ノコト、トデアッタ処、地方課デアアインク当直ニ当ッテ居ルモノガ多クテ、申込ンデアアッタ百足競走ノ人間ガドウシテモ一人足りナクナッテ、出テクレト云フノデ、小学校ニ行ッテ百足競走ニ加ハル。十一時前、公学校ノ方ノ運動会ヲ見ニ行ク。高橋君、森井君、杉浦君ダケ来テ居ル。

十二時半頃終リ、一時半頃公学校ノ先生達ト一緒ニ昼食ヲ呼バレル。高橋君ハ先キニ帰ッタガ、三時^(過)頃デア開キ、後杉浦君ト野元校長ノ所ニ行キ、ユックリ寝転ンデ話シ、後カラ、モ一人ノ先生モ遊ビニ来テ、夕方暗クナル□□マデ話ガハヅム。

杉浦君ト一緒ニ辞シ、一寸 Oreklil ノ所ニヨッテ、道ニ出ルト a bai ニ大変ナ人ガタ

カッテ居ルノデ見ルト、青年男女ガ matomatong ヲヤルノダト云フ。bai ノ中ハギッシリトイッパイノ人デ、外ニマデアフレテ居ル。今日ノ運動会ニ集ッタノヲ機ニ、 $\begin{matrix} \text{N} & \text{g} & \text{e} \\ \square & \square & \square \\ \text{r} & \text{m} & \text{ü} \\ \square & \square & \square \end{matrix}$ 「アルモノグイ」「アイミリーキ」「アイライ」ノ者達ガ踊ヲ見セルノダト云フ。暫ク外ニ立ッテ \square 見物シ、後杉浦君ト街デ食事シ、帰り高松君ノ所ニ a bai ノ模型ヲ見ニ行ク。高松君ハ居ナカッタガ上ッテ見セテ貰ヒ、十時頃帰ッテクル。

四日 土 晴、真夜中ニナッテ雨ニナル、

杉浦君ガ役所ニ来タノデ、商工課ノ吉本君ノ所ニ行ッテ博物館ノ事ニツイテ質問相談シタガ、何モカモガ未決定デ、話シ半バニ、会議室ニ呼バレル。来年一月カラ実施サレル土地登記法ノ文案審議デ、法院長、検事、地方課長、文書課長、税務課長、刑務課長ノ議論。

杉浦君ト街ニオ茶ヅケヲ食イニ出、後 Isikawasang ノ所ニ行ク。板橋君来テ真面目クサッテ話ヲ聞イテ居タガ、帰り一緒ニ来ル。夕方高松君来ル。夜高松、栗山君ト一緒ニ「アラカマイ」ニ踊ヲ見ニ行ク。今日ノハ「イミリーキ」ノ青年男女ノ Matomatong ダ。

十二時前キリ上ゲテ帰ッタガ、高松、栗山君ヲ見失ッテシマフ。Ngelul, Sahabid ト一緒ニ Ilamms ニ行ク。話シテ居ルウチニ雨ニナッタノデ宿マッテシマフ。

五日 日曜日 晴、雲多く、夜九時過ギテ雨ニナル、

夜、Orklil 助役カラ夕食ニ招カレテ居タノデ、杉浦君ガ迎ヘニ来テクレ、一緒ニ行ク。御馳走ハ

Ongraol	{	Klsiyüh el Kūkaū Blehidel Kūkaū
Odoim	{	Ngariyok'l Mark Bldakkl ngikel (Klsübūül) Dülül ngikel (Klsübūül)
Kliyoū	{	{ Toroh Dittimml Herdohod era diokang ma Howes? Halang (Halabd) ra Dait

六日 月 朝迄降ッテ居タガ、後ドウニカ晴レル、雲多く夜ニ入ッテ一雨降ル、

〔欄外に記す〕
[129 頁ヨリ]

●十月四日

蒸々ト暑クテ寝苦シイ一夜。

六時ニ起キルト、既ニ隣リノ事務所ニ、河野氏ト宇津木氏ノ話声ガ聞エル。外ニハ仕事服ヲツケタ人々ガ行ツタリ来タリシテ居ル。若イ人ガ二人、朝食ノ膳ヲニツ持ッテ来テ、茲デハ七時カラ作業ナソウデ、未ダ寝テ居タ北村君ヲオコシテ、床ヲ上ゲテ行ツタ。空ハ暗ク曇ッテ、相変ラズ西風ガ吹キツツケ、海岸一帯ノ椰子ノ葉ガ サウサウ ト鳴リ、沖ハ一面ノ白波ノ□穗デアル。顔ヲ洗ッテ居ルト、国光丸ノ汽笛ガ ブーブー □ト鳴ッテ、ヨクヨク見ルト「ボート」ガオロサレテ漕イデ来ル。私達ハ早々御□飯ヲ食ベテ用意ヲスルト、「ボート」ハ水道ヲ入ッテ岸ニ着イタノデ、直グニ出カケル。ヒドイ波ダ。東海岸ハ静カナノダロウガ、未ダ汐ガ来ナイノデ礁内ハヒタヒタデ、「ボート」ガ入ラナイノデアル。船デハ又々 ブーブー ヤッテセキタテルノデ、私達ハ人々ニ挨拶シテ「ボート」ニ乗ル。

船カラ来タノハ若イ「セイラー」ガ一人ト、二人ノ島民デアルガ、私達二人ノ外ニ会社ノ若イ夫婦者ガ居タ。波ガ高イノデ島民ノ一人ガ舵ヲ持チ、北村君ト会社ノ若イ人モソレゾレ「オール」□ヲ握ツタ。私ト若イ女ノ人トガ並ンデ腰カケタガ、「ボート」ガ動き出シテ、最初ノ一波ニ揺リモマレルト、女ハ キヤッ ト叫ンデ私ニカジリツイテ来タ。「ボート」ガ波打チヲ越スノハ容易デナカッタ。女ハノベツニ声デナイヨウナ叫ビト共ニ、私^{ママ}ノ体ニシガミツイタ。僅カニ其ノ手ガユルムト、ガタガタト震エテ居タ。ヤットノ事デ「ボート」ハ波打ヲ越シテ礁外ニ出タガ、其ノ時、舵ハ外レテ流レテシマッタ。併シソレヲ取りニ戻ルノハ危険ナノデ、ソノ儘外ニ出ルヨリ仕方ガナカッタ。国光丸ハ其ノ間ニ大分近イ所迄寄セテ来テクレタノデ、間モナク我々ノ「ボート」ハ其ノ側ニツキ、「ロップ」ヲ取ツタ。併シ国光丸ハグラグラト傾キ、「ボート」ハハゲシク上ツタリ下ツタリスルノデ、舷側ハ手モ届カナカッタリ、一瞬ニ尺位ノ所迄下ッテクル。其□ノスキヲ見テ一人一人船ニ飛び移ルノデアル。一番先キニ女ガ抛リ上ゲラレタ。ツヅイテ私ガ、二三回ノ上下ノ後ニ、手荷物ヲモッタママ 舷側ニツカマルト、全時ニ足場ハ□急ニ下ッテシマッタ。併シ幸ニ二三本ノ手ガ私ノ尻ト足トヲ支ヘテクレタノデ、私ハ辛ウジテ其ノママ船ニ上ツタ。ソノ様ニシテ皆次々ニ上ツタガ、「ボート」ヲ引上ゲル術ハナイノデ、一人ノ島民ヲ残シテ、船尾ニ綱ヲマハシテ曳クコトニシタ。

女ハ彼女ノ夫ガ ヨロケテ 上ッテ来タ時ニ、怖カッタネート云ツタガ、其ノママ私ノ方ヲ見テ、キマリノ悪ソウナ笑顔ヲ作ツタ。「ボート」ハ綱デ曳カレ乍ラ、波ニハサマレテ ヒラヒラト傾キユライダガ、島民ハ一本ノ「オール」デ巧ミ□ニ舵ヲ取ツタ。船ハ南ヲマハッテ、東海岸ニ出タ。ココハ全ク風ヲヨケテ静カデアッタ。

船ガ止マリ、「ボート」ガ引上ゲラレ、ソシテ再ビ船ハ東ヲ向イテ進ミ、ヤガテ又々波ノ中ニ出テ、クラクラトノベツニ傾キユライダ。空ハマスマス暗ク、一時間ノ後ニハ、ヒドイ雨ニ包マレテシマフ。然シ更ニ一時間ノ後ニ、我々□ノ船ハ又雨カラ外ニ出テ居タ。十一時半ニハ我々ノ船ハモウ揺レナカッタ。ソレハアノ広大ナ「ヘレン」ノ環礁ノ中ニ入ツタカラデアル。船ハ速力ヲユルメテ、緑色ニ透イテ見エル浅瀬ノ間ヲ縫ッテ進

ンデユク。ソノ向フニ、小サナ小サナ「ヘレン」ノ島が見エル¹⁹¹⁾。左手ノ一部ニダケ、コンモリト椰子其ノ他ノ樹木ガ茂リ、右手ノ方ハ長ク尾ヲ引イテ、白イ砂島ガ伸ビテ居ル。

十二時半ニ船ハ小サナ「ヘレン」島ノ近クニ錨ヲオロシタ。私達ハ「ボート」ヲオロシタ。ア、小サナ小サナ「ヘレン」島——土人ノ歌ニアル「懐カシイ鳥島」、実ニソノ小サナ島ハ何千ト云フ海鳥デ□オホハレテ居ルノデア。何千ト云フ鳥ハ目マグルシイ程ニ、島ノ上ヲ飛ビカッテ居ル。ゲゲ、カカ、ピーピート其等ハ鳴キサワギ、飛ビカヒ、ア、何ト云ハウカ、何が嬉シイノカ、何が悲シイノカ。此ノ無人ノ境ヲ彼等ハ享樂シテ居ルノダロウカ。我々ノ「ボート」、異常ナ闖入者ノ上ニ、彼等ハ近々ト飛ンデクル。此ノ異常ナ来客ヲ畏喝シニ来ルノダロウカ。偵察シニ来ルノダロウカ。折カラノ驟雨ヲハラント低ク垂レ下ツタ黒雲、其ノ降雨ノ前ブレノ一陣ノ突風ニ、彼等ハ吹キ飛バサレ、ソシテハ又悠々ト我々ノ「ボート」ノ上ニカヘツテクル。雨ハバラバラト落ちハジメ、ソレヨリモ突風ニ吹キチギラレタ汐ノ為ニ、我々ハ一波毎ニグシヨ濡レニ濡レテシマフ。イヨイヨ鳥ニ近ヅクト、舞ヒ上ツテ居ル鳥ハ半分□ニモ足りナイデ、真白ナ砂ヲ埋メルヨウニ、此処ニハ白イ鳥ガ、彼処ニハ黒イ鳥ガ、何千ト群ヲナシテ、強イ風□ノ為ニヒラヒラト羽ヲ上げ、ヨロヨロトブツカリ合ツテ、ケケ、ピーヨ、ピーヨトヤカマシク鳴キワメイテ居ルノデア。「ボート」ガ岸ニツクト我々ハ、我先キニト砂浜ニ飛ビ上ツタ。ソシテイキナリ駈出シテ、其ノ鳥ノ群ノ中ニ駈ケ入ツタ。或種ノ群ハ、我々が駈ケ入ルト一斉ニパツト飛ビ上ツテ天ニ舞ツタガ、他ノ或種ノ鳥ハ、全ジ様ニ立派ニ飛ブコトガ出来ルニモカカラズ、強イ風ニ吹カレテ、ヨチヨチト砂ノ上ヲ駈ケマハリ、我々ノ駈ケ入ル道ヲアケルダケダツタシ、又他ノ種ノ鳥ハ矢張り飛ビ上ラウトハシナイデ、ヨロヨロト群レタママ、海へ海へト逃ゲテ泳グノデアツタ。其ノ中ニハ又沢山ノ□握拳ニモ足りナイ黄色イ雛モマジツテ居タガ、全ジヨウニ水ノ中ニ逃ゲマハツタ。本當ニマタタク間ニ□私達ハ、其ノ白イノ、黒イノ、ソシテ大キイノ、小サイノヲ両手ニモチキレナイ程、手掴ミニシタ。コレガ本能ノダロウカ。□北村君ナドハ、其ノ大キイノバカリ取ル為ニ、雛デハアルガ、体ガ二尺モアリ、大キナクチバシナノデ、喰ヒツカレルトカナリ痛イノデ、手頃ナ棒切レヲ持ツテ、片ツバシカラナグツテ歩イタ。コレガ本能ノダロウカ。ダガ、私達ハ反対側ノ、風ノアテナイ所ニ出ルト、其ノ一割ニハ踏ミツケル程ノ、ムキダシ□ノ卵ガアツタ。中ニハ□首ヲダラリト垂レタ、昨日孵化シタバカリノ様ナ、小サナ雛モアリ、其ノ僅カニ凹ンダダケノ砂ノ凹ミノ中ニ、オトナシクシテハ居ルガ、私達ガ追フトヨロヨロト歩キ出ス様ナノモ、更ニ大キイノモ居タ。私ハ又卵ノニツツヲ取ツテ「ポケット」ニ入レタガ、ソノ頃ニナツテ私達ハヤットオチツイテ来タ。コンナニ只ツカマヘテ何ウシヨウト云フノダ。ソレニ本當ノトコロヲ云フト、握マレタ^{彼等}□□鳥等ハ、アバレタリ、手ニカミツイタリスルノダ。ソレデ、一種類一羽ダケ持ツテカヘル事ニシテ、他ハ皆ハナシテヤツタ。ソシタラ私ノ手ニハ□四羽ダケ

ニナッテシマッタ。他ノ燕ノ類ヤ、鳴ノ類ハ、一ツモ手□ヅカミデハ取レナカッタカラ。

ソレカラ、是レモ砂ノ上ニ小サナ枯枝ヲアツメテ作ッタ Ama ノ巢ノ中ニハ、青鼠色ノマル裸ノ、握リ拳程ナノカラ、モウ二尺ニモナッテ、マダ羽モナク、馬鹿ノヨウニキョロキョロシテ居ルノマデアッタガ、私ハ其ノ青イ、カタイ卵ヲ一ツダケ取ッテ、「ポケット」ニ入レタ。

此ノ島ニハ先頃迄、紀美水産会社ノ人達が暫ク住ンデ居タノデ、□小サナ茂ミノ中ニハ立派ナ家が建ッテ居タ。「セメント」ノ大キナ「タンク」モアリ、ソレヨリモ大キナ、カマドノ幾ツカモ「コンクリート」^{「コンクリート」デ作ラレテ居リ}アリ、「コンクリート」デカタメラレタ大キナ流シ場モアッタ。併シソレラハ大方蔓草ノ為ニオホハレテ居リ、何処トナクコワレタリ、ユガンダリ、荒廃シテ居ル。其処ヘ行クト、モウ島民「セイラー」ガ二人デ火ヲオコシ、カタッパシカラ羽ヲムシッテハ、鳥ヲ丸焼キニシテ居タ。私ハ、体ガ、シャツゴト ビッシヨリ濡レテ居^{タノデ}□□□テ寒カッタノデ、スグニ其ノ火ノ側ニ腰ヲオロシテ暖マッタ。雨ハヒドクモナラナイデ、ドウニカ止ンダ。私ハ此ノ様ナヤリ方ニハ慣レテ居ルノデ、平気デ其ノ黒コゲノ丸焼ノ鳥ヲ取ッテ、食べハジメタ。北村君ニモススメタガ、何トカカトカ云ッテ手ヲ出サウトシナカッタ。併シ私モ強情ニ強ヒタノデ、トウトウ手ヲ出シタ。ハジメハ コワゴワヤリ出シタガ、ダンダンガンコニナリ、シマヒニハ私ト全ジニ、ト云フヨリ私ヨリ下手ニ、手カラ口ノマハリマデ ベタバタニシテ、三羽モ四羽モ次々ヘト食ベタ。私達□ハ思フ様野蠻ニフル□^振舞ヒ、ソシテ、イタヅラ好キナ子供ノヨウ□□□□^{ニ満足シタ}ナ心ニ満足シタ。ソコヘ島民ガマタ、若椰^{ヲ取}□□子ヲ取ッテ来テ、口ヲツケテクレタ。私達ハソレヲモ食ルヨウニ飲ミホシテ満腹シタ。

暫ク休ンデ、汐ガ干テ来タノデ、「ボート」ヲ押シダシテ帰ッタ。「ボート」ニハ私達ノ箱ニ入レタ、生カシタママノ鳥ノ外ニ、死ンデ東ニシテククラレタモノ、ヒヨコ、ソレカラ「バケツ」ニイッパイノ卵、ソレカラ色ンナ貝ガゴロゴロト、若椰子ノ実ト一緒ニコロガッタ。

三時ニ「ヘレン」ヲタツ。一時間ノ後ニ環礁外ニ出ルト、船ハ又々揺レ出ス。何デモカデモ、^ニツタリ、引繰返ツタリスルノデ、箱類ノ如キモノハ皆「ロップ」ヲカケテ縛リツケラレル。私ハ永イコト上甲板ニ居ッテ、三角定規ヲ以テ見テ居タガ、確カニ一方ニ十五度ハ傾イタ。両側デハイツモ三十度傾イタ。波ハソンナニ高イトモ思ハレナイノダガ。多分、此ノ船ハ「ソンスル」デ百何十噸ノ荷ヲ下シテシマッテ、其ノカハリト云ッテハ島々デ三噸カ五噸ノ「コブラ」ヲ積ンダダケダカラ、船足ガ輕過ギルノカモシレナイ。

兎モ角、コレカラ一晚ノ間、実ニ続ケ様ニ揺ラレ続ケテ、ウトウトト寝タリ、醒メタリシテ走りツツケタ。モウ我々ハ寝台ノ上ニ寝コロビ勞レテシマフ。✓

七日 火 朝迄降ッたり止ンダリシタガ、後ドウニカ止ンデ晴レタリ曇ッたり、雲が多クテ厚カッタガ、ドウニカ晩迄降ラズニモツ。

午後一時半カラ会議室デ、杉浦君ノ講演。

〔発信〕 柴山百合子、^中□□三沢寛、露子、後藤^{〔親〕}貞二、園子、

八日 水 ヨク晴レテ暑イ、

午後、警察練習所ニ行キ、二時間課外講演ヲシテクル。

夜、高松君来、朝モ役所ニ来タノダッタガ——履歷書ヲモツテ。

▼●十月五日、

ソウシテ今日五日デアル。寝コロビ勞レテ、頸ハ枕ノ上ヲノベツニコロガッタノデ、寝チガヘタヨウニ痛ク、腰ノ骨ガスケタヨウニナリ、腹ノ皮ハヨヂレテシマッタ。朝ノ四時ニハモウ何トシテモガマンガ出来ナクテ、甲板ニ上ッテ行ッた。オソイ月ガ冲天ニカカッテ居テ、其ノ下ノ暗イ海ノ上ヲ、我々ノ船ダケガ一生懸命ニ走ッテ居ル。帆柱ノ先キヲ見テ居ルト、マルデ月ガ右ニ左ニ三間モ五間モ飛び動イテ居ル様ニ見エル。ジツト、スグ下ノ海ヲ見ルト、ソレハ急ニ三間バカリモ下ノ方ニ落ちコンダカト思フト、□忽チ目ノ下迄盛り上ッテ来ル。ソシテ其ノ度ニ白イ波ノ泡ガ月ノ光ニ光ッテ、サツ、サツト泡ノハヂケル音ガスル。熟睡スルコトモナク、安定スルコトモナク、不断ニ揺レ動キ乍ラ、夢現ノ間ヲ長イ間彷徨シテ、勞レキッタ頭ハ、何ノ判断モナクナリ、只々目ニウツルモノヲ見、耳ニ響クモノヲ聞クダケダ。ソノ上総括ヲ失ッテ、ソレヲバラバラニ、無関係ニ感ズルダケダッタ。ソウシテ私ハ夜ガ明ケル迄ヲ甲板デ過シタガ、私ハ寒クナッテ船室ニ戻リ、今コレヲ書キトメテ居ルノデアルガ、ボンヤリ座ッテ居レバ倒サレルノデ、寝台ノ上ニ仰向ニ寝転ンデ認メテ居ル。天気ハ明るク晴レタガ、波ハ高く、船ハヨクユレル。十時過ギニハ「メリエル」ニ着ケルダロウ。

十時ヲ大分廻ッた頃ニ Meliel ニツイタガ、西側ハヒドイ波ナノデ、東海岸ノ沖ニ船ヲ止メタ。誰モ上陸シヨウトハシナイ。北村君モタッタ四人ノ人頭税ヲ取ル為ニ、上陸スル元気ハナクテ、船ニ居ルト云フノデ、私一人「ボート」ニ乗ッテ島ニ行ク。此ノ島ニハ「サンサロ水産組合」ノ人々ガ三人（一人ハ女）居テ、鰹節ヲ製造シテ居ルノデアルガ、島民ハ「プル」ヨリモ更ニ少ナク、酋長家ガ一家族残ッテ居ルダケデアッテ、男子四名、女子四名、ソレニ「トコベイ」島カラ貰ッテ来タト云フ、八・九才位ノ男ノ子ガ一名居ルダケデアル。鰹モ結構沢山取レルノデアルガ、「プル」ト全□ジデ、蚊ガ非常ニ多イ為ニ、「ソソル」アタリノ島民サヘガ、来テ働カウトハ云ハナイノダソウデ、現在三人ノ邦人ノウチ、若イ夫婦者ハ此ノ便デ暇ヲトッテ帰ルノダト云フ。浜ニハ「コブ

ラ」ト鯉節ノ荷ガ出シテアリ、佐野君ト、二・三ノ島民トガ出テ来テ居タ。私ハ佐野君ノ案内デ反対側ノ、家ノアル海岸ニ行ツタガ、茲モ西風ガヒドイノデ、名物ノ蚊モ居ナカッタ。海岸カラ直グノ所ガ、三間バカリモ崖ニナツテ小高クナツテ居ル所ニ、秋山君ノ小サナ家ト、大キナ鯉節製造所トガアリ、向フノ方ニ島民ノ家ガ二軒ホド見エル。島民ガ四人シカ居ナイノデ、四十箱ノ鯉節ト三十俵ノ「コブラ」ヲ向フ海岸ニ運ブノハ容易ナコトデハナイ。私ハ折角上ツテハ来タモノノ、島民トハ話ヲスルコトモ出来ズ、佐野君ト家ニ上リコンデ煙草ヲフカシテ居ルヨリ仕方ガナカッタ。ソウシテ島民ノ荷役ヲ終ヘルノヲ待ツテ居タガ、其ノウチニ船長カラノ使ヒデ、出航スルカラ直グ船ニ帰ツテクレト云ツテクル。船長ガ何故ニコノヨウニ出航ライソグノカ、私達ニハ全クワカラナイ。只タイデワルクテスルトヨリ外思ヘナイノデ。ト云フノハ今日、今カラ出航シタ所デ、「ソンスル」ニ着クノハ晩ニナリ、一晚船ヲ流シテ明ケルノヲ待タナケレバナラナイノデアル。晩ニ、ソレモ遅クナツテカラ出テ行ケバ、明方□ニハ丁度「ソンスル」ニ入レルノデアルカラ。併シ船長カラハノベツニ催促□ガ来ルノデ仕方ナシニ、秋山君ガ忙ガシイ間ニ作ツテクレタ親子井ヲ馳走ニナツテ、直グニ挨拶シテ、東海岸ニ出タ。其処ニ白髪・白髯ノ此ノ島ノ酋長ヲ見タ時、私ハコノ酋長トユックリ話シテ居ル暇ノナイノヲ甚ダ残念ニ思ヒ、心ナイ船長ヲ恨ンダ。併シ船長ノ無意味ナ計画ノ為ニ實際困ツテ居ルノハ、私デハナクテ島ノ人達ナノデアツテ、此ノ人々ハ内地ヘノ、ナホ其他、取引上ニ是非必要ナ便リサヘ書クコトガ出来ナイ□デ居ルノデアル。ソウシテ次ニ来ルノハ、早クトモ十二月ノ半ナノデアル。

私達皆ガ最後ノ「ボート」ニ乗ツテ、漸ク汐ノ引キカケタ浅イ海ヲ押シ出サレテ行クト、後ノ方デ、オーイ、オーイト呼ブ声ガスル。振りムイテ見ルト、秋山老人ガ黒イ服ヲ□着テ、二間モアル竿ニ日ノ丸ノ国旗ヲ結ンデ、遅レバセニ浜ニ走ツテ来タノデアル。私達ハ一斉ニ帽子ヲ□フツテ之ニ応ヘタガ、彼ハコレデ帰ツテ行ク若イ夫婦ノ、殊ニ其ノ女ノ名ヲ呼ビツツケタ。併シ何故カ若イ女ハ、案外冷静ニシテ、老人ノ最後ノ誠意ヲソックリ受け取ツテハ居ナイヨウニ見エタ。ソシテ「ボート」ハドンドン遠クナリ、遂ニ波打チノ外ニ浮ビ出タ。秋山老人ノ□打振ル国旗ガ、イツ迄モ右ニ左ニユライダ。私ハ今日迄、彼ノ下ニ、云ハバ子供ノヨウニ、併シ又一方彼ノ両腕ノヨウニ働イタ、若イ夫婦ニ捨テラレテ、只々十人ニ足りナイ島民ノ中ニ、独り踏ミトドマル秋山老人ノ心情ヲ誠ニ淋シイモノニ思ツタ。ソシテ私ハアノ白髪白髯ノ偉大ナル酋長ト話ノ出来ナカッタ事ヲ、今一度残念ニ思フ。

一時ニ船ハ、機械ヲカケルト全時ニ、一斉ニ帆ヲ上げ、折柄ノ西風ヲイッパイニ受ケテ、無意味ニ全速力デ走り出シタ。全ク無意味ニ。ソウシテ波ハ高く、一日中、否、更ニ一晚中、船ハクラクラト揺レ通シ、私達ハ寝台ノ上ニ横タワツテ居テサヘモ、体ガ一方ヘ一方ヘトズツテ、ノベツニカヲ入レテ居ナケレバナラナカッタ。此ノ様ナ意気込ミニモカカワラズ——船長ニ云ハセルト、機械ニ故障ガアッタノダト云フガ——船ハ殆ド

真夜中ニ近ク「ソンソル」島ヲ見ツケタラシク、「エンジン」ヲ止メタ。ソレカラ朝迄ノ間ニ、船ハ又「エンジン」ヲカケテ走ツタリ、止メテ又流シタリシタガ、ドッチニシテモ、船ハバサリバサリト揺レツツケ、我々ハ一晩中横ニナツテ居テモ、眠ルト云フコトハナカッタ。↙

九日 木 晴，雲多ク何度カ小雨アリ，

杉浦君ガ明日ノ山城丸デ帰ルノデ，今日ハ課長始メ皆デ，南拓「ホテル」ニ中食ヲ食ベニ出カケル。

↘●十月六日

既ニ既ニ太陽モ上リキツテ，七時ニナツテヤット「ソンソル」島ノ東海岸ニ着イタノデアッタ。我々ハ昨日ノ夜中ニ出帆スレバ，全ジ頃ニ，ラクニ「ソンソル」ニ着イタデアロウニ，船長ノ気マグレナ，イヂワルナ計画ノ為ニ，殆ド三倍ノ時間ヲ，ホントニ無意味ニ走り続ケ，ソシテ揺レ続ケタノデアッタ。

ソレデモナホ，船長ハ上陸スル人ダケ上陸サセテ，直チニ出航スルト宣言スルノデアッタ。先日來タ時ニ，全然積取ラナカッタ五噸ノ「コブラ」ト何十箱ノ鰹節ガ，其ノママ何処ヘモ行カズニアルコトヲ知ツテ居ルニモ拘ラズ。其故私達モ上陸シナイ事ニシテ甲板ニ居ルト，十一時デナケレバ汐ガ来ナイカラ，其レ迄ノ間上陸シテクレト云ツテクル。十一時デナケレバ汐ノ来ナイコトハ，始メカラワカリキツテ居ルニモ拘ラズ。

世ノ中ニ斯ウモヒネクレタ心ガアルモノダロウカ。少シモ利害ノナイ者ニ迄モ，一々ブツカッテハ互ニ氣持ヲ悪クシテ居ナケレバ居ラレナイヨウナ。

其故，私達ハマタ「ポート」ニ移ツテ波打迄渡シテ貫ヒ，礁内ノ浅瀬ヲポチャポチャ歩イテ上陸シ，先日ノヨウニ森ヲヌケテ西側ノ村ヘト歩イタガ，今度ハ中程ノ所ヘ來ルト，草木ガ片ツパシカラ^杖伐切サレテ居テ，南拓会社ノ沖繩人夫達ガ既ニソコデ働イテ居タ。彼等ハ二人引キノ鋸ヲモツテ椰子ノ木ヲモゴリゴリト引倒シテ居ル。村ニ入ルト水産組合ノ大部屋ハ会社ノ人達ニ占領サレ，大キナ机ガ座敷ノ中ニニツモ三ツモ置カレ，其処ニ一人ヅツ人ガ座ツテ，帖簿ヲツケテ居ル。鰹節工場モ亦全ジヨウニ机ガ置カレテ，別ノ人達ガ居リ，倉庫ニモ「テーブル」ガ置カレテ，二人三人ノ人達ガ腰ヲ下シテ話シテ居ル。「コック」ハ飯ヲ作り，茶ヲワカスニ急ガシク，総テハ着々ト進行シテ居ル。ケレドモ亦，是レガ後ニ述ベルヨウニ，種々ノイキサツヲモ醸シ出シテ居ルノデアル。

水産ノ人達ハ「ベグ」ニツメタ「コブラ」ヲ二俵，三表ヅツ「リヤカー」ニ乗セテ，東海岸ニ運ビ出サセテ居ル。シカシ此ノ「リヤカー」ハ自転車デヒクノデハナクテ，島民ガ二人位デ押スノデ，小サナ荷車ガワリナノデアル。其ノ間ニ私達ハ風呂ヲ浴ビサセテ貫ヒ，十時半頃ニ朝食トモ昼食トモツカナイ御飯ヲ御馳走ニナツタ。処ガ船長カラハ

十一時前ニナルト、案ノ如ク迎ヘガ来ル。処ガマタ、水産ノ人達カラハ、荷物ダケハ積ンデ貫ヒ度イカラ、ユックリシテ居テホシイト頼マレル。其ノウチニ船カラ手紙ガ来テ、赤ン坊ガ生レタカラ、早く出航スルカラ急イテ荷物ヲ積ムヨウニト書イテクル。モーツ、処ガ人夫ガ出ナイノダ。ト云フノハ皆々会社ガ立木ヲ切り倒シテシマフト、互ノ土地ノ境界ガワカラナクナルト云フノデ、テンデニ森ニ入りコンデ、^{〔後〕}杓切サレテ行ク自分達ノ土地ヲ見張りシテ居ルト云フ仕末ナノデアル。

併シマタ、生レテシマツタ赤子ヲ、ドウセ明日モ早くハ着ケナイ、ソナナ時間ヲ、一時間ヤ二時間イソイデ「コロール」ニツレテ行ツタトテ何ウナノダロウ。ソレデ、会社ノ医者ト云フノニ話シテ、^見□□行ツテ見テ貰フコトニスル。船カラハ、荷物□ハヤメテ、人間ダケ乗ツテクレト、ヤカマシク云ツテクル。ソコデ仕方ナク皆デ東海岸ニ出テ見ルト、海岸ニハ七八十俵ノ「コブラ」ガ積マレタママニナツテ居ル。荷積ミノ「サンパン」ハト見レバ、既ニ船ニ上ゲラレテ了ツテ居ル。モウ荷積ノ望ミハナイ。

医者ヲノセタ「ボート」ガ一艘帰ツテクル所デアル。水産ノ人達ハ、コノ「コブラ」ヲ又々西側ニ運ビカヘラネバナラナイ。永クオケバ目方ハキレル、品質ハ悪クハナレ、決シテヨクナル筈ガナイ、人夫賃ハカサム、トコボシキツテ居ル。

ソシテ「ボート」ガ来テ、医者ノ話ニヨレバ、一ヶ月早くテ八ヶ月デアツタ。併シ發育ハ稀ニ見ル良好サデ、非常ニ安産デ、母子共ニ異常ガナイト。

ソレナラバ何故「コブラ」モ積マズニ、急イデ出ナケレバナラナイノカ。此ノ最後ノ「ボート」ニ乗ツタノハ我々ト、ソレカラ会社ノ二三ノ人ト、ソレカラ水産ノ一人ト、ソレカラ又、島民代表並ビニ通訳ノ三四人ト、此ノバラバラナ人達ノ中央ニ、更ニ皮肉ニモ、国光丸船長殿トカカレタ大キナ鯉節箱ガ置カレテアル。此ノバラバラナ人達ハ、各ノ立場カラ「コロール」ニ出テ、役所ニ申シ立テラシヨウトスル人々ナノデアル。

ソシテ午後一時ニ、船ハ「エンジン」□ト共ニ、又々帆ヲ上ゲテ走り出ス。

^{〔欄外へ記す〕}
〔152 頁へ〕

十日 金 晴，雲多ク何回トナク小雨アリ，
山城丸デ杉浦君ガ帰ルノデ，船迄送ル。

受信 東秀雄（ソソル島民寫真）

発信 平野義太郎（杉浦君ニ託シテ太平洋原稿），
杉浦佐助，^{柴山百合子}□□□□□，柏村幸太郎，

十一日 土 午前曇，小雨，午後晴
夜，Ilamms ニ行ク。

十二日 日曜日 晴, 午後雲多ク, 三時頃ヨリ夜ニカケテ何回トナク雨,
Ilamms ニ行ク。午後 Ngelūūl ト Rūsiang ト三人デ Ngerehasoal ニ行ク。blai ra
Keak ニ行キ, — 家ノ者ハ留守ダ — 「バンブー」ノ休場デ寝ソベツテ永イコト
牧野君ノ兄弟ガ島民ノ子供達ヲ ūlūkull ノ方ニツレテ行ッテ, 戦争ゴッコヲサセテ遊
バセテ居タ。

十三日 月 晴,
役所ノカヘリ, 牧野君ガ来ル。
夜, 舟木サンノ奥サンノ所ニ行ッテクル。

十四日 火 晴, 昼前冷タイ風ガ吹イテ雨ニナツタガ, 午後又晴レル,
朝カラ腹背痛ンデ堪エラレス, 午後役所ヲ休ンデシマヒ, 夕方街ニ出テ鍼ヲ打ッテ貰
フ。

夜, 高松君来。

〔欄外に記す〕

〔151 頁ヨリ〕

サテ私ハ此ノ上記ノ次第ニツイテ, 一通リノ説明ヲ加ヘナケレバナラナイ。否, 其ノ
説明ノ必要ノ為ニ上ノ如キツマラナイ叙述ヲ, 予メ書イテ置カネガナラナカッタノデア
ル。

第一ニ此ノ国光丸ト云フ船ハ, 不便極マル離島民, 殊ニソナナ離島ニ在住スル邦人ノ
為ニ, 否小島ナリニモ資源ヲ開発シ乃至産業ヲ興進セシメル目的ヲ以テ, 役所ガ金銭の
ニ補助ヲ与ヘテ, 定期 (一年四回□乃至五回) 航海セシメテ居ル船ナノdeal。ソレガ
〔補〕
現在出来テ居リ, 袋ニツメラレテ居ル四噸モ五噸モアル「コプラ」ヲ — ソナナモノハ
一時間カ, 不便ナ所デモ セイゼイ二時間モアレバ積ンデシマヘルノdeal — 積マナイ
デ来ルト云フコトハナイ筈deal。ソレモ現在ノ非常時ニアタツテ, 拓務部ニ於テハア
ラユル方面ニ於テ産業ヲ奨励シテ居ル時deアリ, 「コプラ」ニ於テモ「コプラ同業組合」
ナルモノヲ置カシメテ, 其ノ増産ヲハカリ, 支庁ニ於テハ毎月島民向キノ「パンフレッ
ト」ヲ出シテ迄, 一般島民ニ対シテ, 此ノ方面ニ留意セシメル様ニト計ッテ居ルノデア
リ, 離島方面ニ関シテハ当ノ船長ガ, 此ノ宣伝乃至奨励ニ当ツテ居ル筈ナノdeal。「メ
リエル」ニシテモ, ココニシテモ, 船長ガ全然上陸シナイノdeal。ソシテ荷ノ量モ見
ナイデ居ッテ, 汐ガ何時ダカラ何時ニ出航スルカラ「ヤレ」デハ, タマツタモノデハナ
イ。之レハ船長ガ自ラ上陸シテ荷物ノ量ヲモ見キワメ, 汐ノ都合ヲモ考ヘ, 更ニソレニ
ヨツテ「ボート」ナリ「サンパン」ナリノ手筈ヲスベキdeアリ, 譬ヘソノ為ニハ一日二
日船ノ帰リガ遅レテ□ミタ所デ差支ヘナイ筈deal。況ンヤ此ノ航海ノ如キハ, 先キニ
モ述ベタ様ニ, 非常ナ好都合ノ為ニ, 三日モ予定ヲ早メテ来テ居ルノdeal。其上, 此
処デ今二時間遅レヨウガ, 三時間遅レヨウガ, ドツチニシテモ明日昼ノウチニハ「コロ

ール」ニ入レルノデアッテ、七八十俵ノ「コブラ」ヲ置イテ行カネバナラナイ理由ハ、単ナル悪意カ、彼自身ノ他ノ欲求ヨリ外ニハ何モナイノデアル。

コンナ風デハ、役所ニ於テ□予メ産物ノ多少乃至島ノ状態ニヨツテ、何島ニハ何時間以上必ズ停泊ノコトト云フ様ナ規定ヲ儲ケ、船長ハ必ズ自ラ上陸シテ算段スベキコトヲ命ジデモシナケレバナナルマイ。私ハヨク知ツテ居ルガ、以前ノ長明丸、カロリン丸ノ船長等ハ如何ナル時ニモ必ズ自ラ上陸シテ、親切ニ取計ラッタモノデアル。

第二ニ南拓会社ガ全然事務所乃至住宅ノ用意ナシニ、イキナリ此ノ不便ナ離島ニ百人モノ人間ヲ入レタト云フコトハ無謀デアッタ。其ノ為ニ水産組合ノ人々ノ迷惑ハ随分大キイ。ソレデモ丁度海ガ悪クテ漁ガナイ時デアッタ事ガ、此ノ影響ヲ非常ニ小サクシテクレタノデアルガ、若シモ今頃天候ガ快復シテ漁ガアリ出シタトシタラ、水産ノ人達ハドレ程差支ヘテ居ルカ知レナイ。

次ニ南拓ガ、役所ヲ介シテ、島民トノ間ノ椰子樹、パン樹並ビニ土地ニ対シテ支払フベキ金額ヲ、協定シテ置カナカッタ事モ実ニ無謀デアッタ。尤モ以前ニ調査ニ行ツタ人達ハ、水産ノ人達ヲ中ニ入レテ島民ト大体ノ契約ヲ結ンダノデアッタトハ云フ。ケレドモ現在再ビ此ノ協定ガ出来ナクテ、会社ノ人モ、亦島民モ此ノ船デ出テ来テ居ルノデアル。ソレニハ他ノ理由モアルノデ、後ニ述ベルガ、ソレニシテモ島民ノ所有地ノ状態モ調べズ除草伐切ニカクタ——コレハ主トシテ、先ヅ最初ニ蚊群ト赤蟲トヲ退治スルト云フ理由デハアルガ——コトハ、是亦無□経験者ノナスコトデアッテ、会社ノ如キ既ニ各地ニ於テ事業ヲナシテ居ルモノノナスベキ順序トハ思ハレナイ。其故ニ島民ガ皆ソレゾレノ所有地ナル森ニ入ッテシマツテ、荷積ミノ人夫ニモコトカクヨウナ結果ヲ来シテ居ルノハ、当然ト云ハネバナラナイ。

第三ニ、以前ニ調査隊ガ来タ時ニ、島民トノ間ニ大体ノ契約ヲナシタト云フ。例ヘバ一等椰子一本ニツキニ円五十銭ト云ヒ、土地坪アタリ イクラト定メタ。然ルニ今度来テミルト、一等椰子ニ対シテハ四円五十銭ト云フ島民カラノ要求ガアリ、土地ニシテモ急ニ島民ノ要求ガ増シテ、協定ガ出来ナクナツテシマツテ居ル。更ニソレ迄一羽五十銭デ売買サレタ鶏ガ、急ニ一羽一円五十銭トナリ、一個二銭デアッタ若椰子ノ実ガ五銭トナサレタノハ何ニヨルカ。以前ノ協定ニハ水産ノ人々ガ仲ニ入ッテ居ルノデアリ、此ノ人達モ此ノ不当ナ急変ニハ驚イテ居ルノデアル。ソレナラバ、何故カ？ 調査隊ノ直グ後ニ「スペイン」ノ布教師ガ来テ居ルコトデアル。此ノ「スペイン」ノ布教師ハ、離島ニ来テハ神ノ名ニヨツテ常ニ二三百円カラ四五百円モノ現金ヲ島民カラ巻上ゲテ行クノデアル。其ノ上何モ知管^(ママ)ノナイ□島民ニ——例ヘバ以前「トコベイ」ニ於テモ、今事変ニ就イテ、早晚日本ハ戦ニ敗レ南洋群島ハ昔日ノ如ク「スペイン」ノ支配スル所トナルデアロウ、ト云フ様ナコトヲ告ゲテ居ルノガワカリ、若干、邦人ノ為ニ袋叩キニ擲ラレタ如キ例ガアルノデアル——此ノ「スペイン」坊主ガ金ヲ集メルカハリ？ニ、此ノ如キ入智慧ヲツケテ行ツタモノデナケレバナラナイ。

ソレハ「コロール」ニ於ケル標準デアッテ、「コロール」ニ於テハ椰子樹一本五円が普通デアルガ、椰子実ノ五錢ニ至ッテハ、多数ノ□□軍艦デモ入ッタ時ノ臨時相場デアル——此ノ坊主ガ島民ノ現金ヲ卷上ゲテ行ク^{〔ママ〕}実事ハ、彼等ガ行クドノ島ニ於テモ知ラレタルコトデアリ、ソレモ島民ガ信仰ノ現ハレデアレバ致シ方ナイワケデアルガ、日本ノ統治ニ不信ヲ抱カセ、或ハ島民ニ法外ナ——ソレガ正当デアルナラバ、ソシテ会社乃至役所ガ不法ナ強制ヲナシテ居ルナラバ、ソレコソ彼等ノ方ニ正当ナ理由ガアルト云フベキデアルガ、現在例ヘバ「コブラ」ノ相場等カラ推シテモ、ソシテ事ハ有リ得ナイノデアル——価値觀念ヲ植エツケテ、事案ヲ妨害スルニ至ッテハ、是レハ日本トシテ、日本ノ役所トシテ考ヘネバナラナイ事デアル。彼等ニ対シテ役所デハ、莫大ナ^保補助金ヲサヘ出シテ居ルノデアルカラ、猶更ノコトデアル。

十五日 水 晴，午前中一回雨アリ。

夕方又鍼ニユキ，帰り，Oreklilノ所ニオミヤゲヲモッテ行ク。二十五日カラヤル展覧会ノ出品ヲ頼マレテ居ルノデ，Oreklilノ所ニ「パラオ人」ノ生活具一切ヲ集メルヨウニ頼ンデクル。

十六日 木 晴，

午後二時カラ，展覧会ノ打合ハセデ関係者南貿ニ招待サレ，牧野君，徳村君ト一緒ニ行ッテクル。

夕方^{〔食〕}後，鍼，途デ松野君ニ逢ヒ，一緒ニ引張ッテクル。八時半ニナッテ牧野君来ル。

十七日 金 曇，時々小雨，

パラオ丸入港。

夜，鍼ニユク前，野元氏ヲ訪ネル。

十八日 土 晴，午後二時頃一寸雨，夜十二時前ニナッテ又雨，

昼公学校ニ野元氏ヲ尋ネ，一緒ニ木工養生所ニ行キ，展覧会ニ出品スル島民改良家屋ノ模型ヲ見テクル。野元氏ト別レテ Tehekiニ行ク。Oreklilガ用ガアルトテ出テ行ッタノデ，暫クシテ Ilammsニ行ク。Sahabidト Kūkongトガ居タ。四時頃，イイ Kūkaūト odoimガアルト云フノデ，三人デ中途ハンパナ食事。夕方鍼療ニ行キ，暗クナル頃 Tehekiニ行ク。昼間来タ時，沖縄ノ女カラ魚ヲ沢山買ッテヤッテオイタノデアル。其処デ又，煮魚ト焼魚ト pillūmト「パインナップル」トニホヒバナナトノ食事。

八時頃帰ッテクルト，途デ Obhōト Rūsiangト「チビ」トニ逢ッタノデ家ニツレテ来ル。九時半頃皆ガ帰ッタ後，風呂ヲアビテ□十時半頃寝ヨウト思ッテ居ル所ヘ牧野君ガヤッテ来，栗山君ノ所デ十二時頃^{〔ママ〕}モ騒イデ，雨ノ中ヲ牧野君ハ帰ッテユク。

十九日 日曜日 晴, 午後三時頃ヨリ, 六時頃迄雨,

「コロール」波止場ノ「プール」デ水上競技ガ□□アルノデ見ニ行ク心算デ, 九時半頃カラ Ilamms ニ出カケテ行ツタガ, 汐ガナクテイツ迄モ始マラナイヨウナノデ止メテシマフ。Sahabid ヤ Kūkong ヤ Rūsiang ヤ^{E b i l l u k d}□□□□□□□□ Ebillükd 達ハシャレノメシテ昼前ニ出テ行ツタガ, 自分ハ Ngelūül ト Ngarahasoal ニ行ク。筏ヲ出ス心算ダツタノヲ Ngelūül ガイヤニナツテ了ツタノデ, 前ノ時ノヨウニ Keak ニ行ツテ, 「マンゴー」ノ木ノ下ノ見晴シノイイ涼台ニ寝コロガッタガ, 自分が「スケッチ」ナドシテ居ルウチニ, Ngelūül ハ家ニ入ツテ寝テシマフ。暫クシテオキテ来テ話シテ居ルウチニ, 又丁度此ノ前ノヨウニ雨ガ降ツテ来タノデ, 又家ニ逃ゲコム。雨ハナカナカ止マズ, 夕方ノ六時迄モ薄暗イ部屋ノ中ニ寝コロンデシマフ。

二十日 月 晴, 朝カラ秋ノヨウナ風ガ吹イテ, 漸次雲ガ多クナツタガ雨モ降ラナイ。低気圧ギ□ミ。

夕食前鍼医。

夜七時ニ牧野君来ル。南貿ニ行ク約束ナリ。

八時前南貿ニ行ク。明日カラカカルコトニシテ, ギキニ帰ツテクル。Hobūhō, Rūsiang, Ebillükd ガ遊ビニ来ル。

二十一日 火 稍嵐メイテ終日雨, 降ツタリ止ンダリ,

南貿ニ行ツテヤル筈ダツタガ, 牧野君ガ活動ヲタノマレタノデ, 夜八時ニナツテ家ニ来タダケデ, 十一時頃迄遊ンダダケ。

二十二日 水 雨,

腹, 背中痛クテタマラズ。

午後三時半, 泰安丸入港, 蓮香氏ガ帰ルノデ, 皆テ波止場迄ユク。

其ノ後, 牧野君ト南貿ニ行き, 二葉屋デ「ラシャ」紙, 筆等買ツテ役所ニカヘリ, 夜十二時頃展覧会ノ「バック」ヲカク。夜, 栗山君ガ来テ手伝ツテクレル。

受信 小倉綾子, 村田勝四郎, 柏村幸太郎, 稲喜蔵, 太田広, 八木俊一,

「南洋水産」南洋水産協会ヨリ⑤ 帝大人類学教室ヨリ③〇〇

二十三^四日 木 新嘗祭 曇時々小雨, 夜遅ク雨アリ,

朝カラ牧野君, 栗山君ト役所ノ室デ絵カキ, 昼, 村迄出テ Oreklil ノ所カラ Klalo ヲ南貿ニハコブ。夜十一時半仕上ガル。

二十四日 金 晴, 小雨二三回,
明日カラ展覧会ガハジマルノデ, アチコチシテ一日飾付ケヤラ何ヤラ準備ニツブレテシマフ。

夜ハ Hobhoū ヤ Rūsiyng 達ガ来テ遅クマデサワイデ行ク。

二十五日 土 久々ニヨク晴レル。

二十六日 日曜日 朝^[ママ]ウチ晴レシモ, 午後ヒドイ雨ガ何時トナクヤツテクル, 夜迄モ。

発信 中西悟堂, 杉浦佐助 (ヤップ), 杉浦健一, 太田広, 東秀雄 (ソソソ)

小包 中西悟堂, 鳥及巢二包, 原稿,

検事ガ来ラレ, 「ヤップ」ノ杉浦大工サンノ女房ガ自殺シタ由ノ電報入りシ由。

二十七日 月 晴

十時, 練習艦隊入港。

今日ハ沢本司令長一行上陸, 物産陳列所ト, 「アバイ」ノ説明ヲフリアテラレ, 一時半物陳ニ行ク。二時, 一行来ル。商工課長ガ大体案内シテクル。

三時四十五分「ア・バイ」。

夜, 邦人会デ海軍ノモッテ来タ活動写真ガアル由デ, 栗山君ト一寸行ッテ見タガ, 大変ナ人出ナノデ帰ッテクル。

二十八日 火 早朝雨アリシモ後晴ル, 昼以後小雨何度トナクアリ, 夜, 本降りニナッテシマフ,

午後, 士官候補生上陸, 二時ヨリ南貿展覧会ニ説明ニ行ク。

昼, 舟木氏ノ所ニ行ク。夕方六時半カラ公園デ軍楽隊ノ演奏ガアルノデ, 和子君ガ行コウト云フ。デ夕方早くカラ行ッテ椅子ヲ取ル。大変ナ人出ダッタガ, 最後ニ雨ガ降ッテ来□タノデ, 和子君ノ傘ニ入ッテ舟木氏ノ処ニ行き, 十時頃帰ル。北村君カラ呼バレテ, 一時迄酒飲ム。

二十九日 水 終日実ニ止ミ間モナク雨降ル, 北風稍強キ程ナリ, 東方ニ 73? ^{mm}
ノ低気圧アル由ナリ,

午後, 南貿展覧会場ニ行ッテ居タガ, 背中ガヒドク痛ンデ堪エラレナイノデ, 帰ッテ来テ寝テシマフ。

三十日 木 朝迄降ッテ居タガ、後止ンデ日ガ照ル。但シ雲多ク何回トナク小雨アリ、
□風西南ニマハル。低気圧 75? ^{mm} ノ影響デアル。

朝九時半、警察練習所ノ卒業式ニ出席、後茶会。法院長、検事、地方課長、税務課長、
熱産所長、相沢技師、商工課長、支庁長出席。

和子君ト約束シテ居タノデ、夕方和子君ガ迎ヘニ来ル。一所ニ公会堂ニ「八雲」ノ活
□^速動写真ヲ見ニ行ク。「軍艦旗」「朝日ニュース」「海上陸戦隊」「共同ニュース」「人妻
椿」デ、十一時迄カカル。

十二月

一日 金 晴、所ニヨリ雨アリ、夜一寸雨、

夕食後、栗山君ト街ニ出ル。栗山君ハ理髪ヘ。湯浅君ニ逢ヒ、公学校ノ方マデーマハ
リ散歩。

午後、□□岩手、八雲ノ水兵サンノ角力アリ、剣柔道アリ。

二日 土 晴、昼前ト夕方ト、ソレカラ夜遅クト驟雨アリ、西風

軍艦ノ茶会ニ招カレテ居タノデ、午後一時半頃カラ行ク。

夜、村ニ出ル。

三日 日曜日 晴、久々デ終日一度モ雨ナシ、

栗山君、上地君ヲ昼前 Ilamms ニ案内シ、子供達ヲツケテ「ガルミツ」ニ遊バセル。

コチラハ「ゲルール」ト「クコン」ト近所ノ青年ヲ一人引張り出シテ Ngerehesoal
ニ行キ、筏ヲ出シテ前ノ岩山 (Helebahab) ヲ漕ガセテマハル。四時頃上ッテ来テ Ibūkūl
ニ行ツタガ、踊ガ終ッテ居タノデ Ilamms ニ引上げ、夕食ヲスマテ^{〔七脱力〕}帰ル。ソレカラ間モ
ナク松野君ガヤッテ来ル。

四日 月 晴、

朝カラ急ニ下痢シ、終日体ガダルイ。

名古屋丸入港、元 拓殖部長帰ル。山田ノ剛サン帰り、夜、訪ネテ来テクレル。

五日 火 晴、

夕方一寸、舟木氏ノ所ニ顔出シテクル。

六日 水 曇，風アリ雲多ク，時々真暗ニナリシモ，ドウニカ降ラズニモツ，夕方，高松君一寸来，夜，剛サンガ来ル。

七日 木 晴，雲多シ，夜ヒドイ驟雨アリ，
午後，高松君カラ□役所ニ電話デ，新聞社ノ山本君ニ，例ノ「バイ」ノ模型¹⁹²⁾ヲ捨
売リノ様ナ値デ，買ッテ貰フ様ニシタトカ云フコトナノデ，三時過ぎ「イブクル」迄出
カケテ行ッテ，考ヘ直ス様ニ云ッテクル。

夜，伸太郎（Aldūraol）ガ来，高松君ガ来，板橋君ガ来ル。剛サンモ来タガ，人が沢
山居タノデ直グ帰ッテシマフ。

八日 金 晴，
高松君ニ金ヲ渡ス。
南賀デ夜，「フィルモン」ノ試聴ガアルノヲ，和子君ト約束シテ居タノデ，一緒ニキキ
ニ行ク。拡声器ニカケタ様デ音質ハヨクナイシ，言葉ハキキニクイ。

夕方，剛サンガ五六冊モ本ヲモッテ来テクレル。

九日 土 晴，夜七時過ぎ驟雨，夜中一時ニ又雨，
マカッサ丸，メナードヨリ入港。

発信 中沢英子，小倉綾子，金子九平次，

夜，村ニ出テ行ッたら，Bai デ Matomatong ノ練習ガアルト云フノデ行ッテミル。

十日 日曜日 晴，朝九時頃小雨，夕方五時頃驟雨，
九時半，野元氏ヲ訪ネシモ留守，Ilamms ニ行き，Sahabid ト Ibūkūl ニ行ク。Tadong
ノ所ニ行ッテ話シテ居ルト，松野君来，ツヅイテ Kirūū，Osūbd（Isebong）ガ来タノ
デ，皆デ Arahamae ノ Uhelioyō ノ所ニ行ク。Uhelbil モ居タシ，Sablang モヤッテ来
タ。例ノヨウニ賑ヤカナ食事ヲヲハルト，野元氏，中村氏が補習科ノ生徒二人ヲツレテ
ヤッテ来タノデ，自分ハソノママ，野元氏等ニツイテ歩キ出ス。試験場ノ下カラ Ngerboal
ノ方ヲマハッテ新道ヲ Ngetmūdū ノ方迄行ッテ帰ッテクル。野元氏ノ所ニカヘッテ バ
ス ヲ浴ビ，夕食。八時半過ぎカヘルト，間モナク剛サンガ来ル。何デモ朝カラ三度来タ
由。

十一日 月 晴，
マカッサ丸，出^発□航。

近海丸 午後二時入港
□□□□□□□□□□

十二日 火 朝細雨，夕方細雨，夜雨アリ，
近江丸，午後二時入港。

夜，若葉館デ文化協会ノ活^單□動写真。
ワーナーブラザーズの海賊プラット 十二巻。
今日ノ船デ田山氏¹⁹³⁾ ^(出)主張ヨリ帰ラレ役所ニ訪ネテミエル。

十三日 水 朝小雨後晴，夕方雨アリ，夜又雨ニナル，
受信 三沢寛，三沢露子，玉枝，中沢英子，金井新吉
「オール女性」，「南洋水産」，「太□平洋」 小包1，中沢英子

役所カラ帰ルト野元氏が来ラレル。
小林君，昨日カラ頭ガ重イトテ休ンデ居タガ，発熱，「デング¹⁹⁴⁾」ナリ。
剛サンガ森井氏ノ所ニ来ル。
夜，^{昨夜}□□□□毎夜毎夜，「クラブ」ノ様ニ入カハリ立カハリ人が来テ本モ読メナイ。コン
ナ風デハ，□図書館ニデモ逃ゲ出サナクテハ。

朝，サイパン丸入港。

朝十時半頃，田山氏が役所ニ尋ネテクダサッタノデ，ソシテ昼迄暇トノ事ダッタノデ，
直チニ一緒ニ歩イテ田山氏ノ所ヘ行ク。

十四日 木 朝カラ雨，風マジリ，午後止ミシモドンヨリシテ，夕方又小雨アリ，
夜，舟木氏ノ処ヘ。

十五日 金 晴，午後曇ッテシマヒ，マダ西風ナリ，
夜，安達氏ノ処ニ行キシモ来客中ナリシ，野元氏留守ナリシ，Ilamms 一寸，ア・バ
イ踊ナカリシ。

受信 吉田謙吉，

十六日 土 雨降ッたり止ンダリ，午後ドンヨリハシテ居ルガ，雨止ム
昨日舟木氏カラ電話デ，今日午後，御用船甲谷陀丸¹⁹⁵⁾ノ監督官 寺垣敬三氏ヲ案内シ
テクレトノ事ダッタガ，昼前又電話デ，天気ガオカシイカラ，見物ヲトリヤメタ方一緒

ニ食事シタイカラトノ事ダッタノデ、夕方舟木氏ノ所ニ出カケル。食後三人デ村ヲ散歩、「バイ」ニ寄り、島民等ノ踊ヲ一寸ノゾイテクル。

サイパン丸内地向ケ出航、長官、元拓務部長、秘書課長、田山技師等、

十七日 日曜日 晴、

ヨク晴レテ暑イノデ、元気ヲ出シテ一日歩キマハッタガ、夕方、矢張り胸背中共ニ痛ンデ帰ッテクル。

十八日 月 晴

夜、買物ガテラ野元氏ヲ木工養生所ニ尋ネル。

十九日 火 晴、

午後、寺垣甲谷陀丸監督官及ビ船員達ヲ案内シテ、物陳、水産試験場、熱生カラ「バイ」迄行き、夕方、船迄行き、夕食ヲ馳走ニナリ、後 Tehekī ニ行ク。

Kisaūl 帰ッテ来テ居、「バイ」ニ Matomatong ヲ見ニ行ク。月ガ半分位ニナッテ久々ニ明ルイ。

二十日 水 晴、昼前驟雨アリ、

三時半カラ、倶楽部デ紀元二千六百年頌歌ノ練習アリ。

夕方、松野氏、野元氏連レダッテ来ル。Hobūhō ^{S ū l i y a n g}ト Sailong ト栗山君ノ所ニ来テ居ル。

後、皆デ一緒ニ村ニ出、Tehekī ノ前デ皆ト別レテ野元ト二人デ安達氏ノ所ニ行ク。九時前辞シテ、野元氏ト別レ、Tehekī ニ寄ル。Kisaūl ト焼場ノ方ニ出、元ノ Keyūkkī ノ家ニ行ク。Baūlbei ガ来テ居ル。十一時過ギ帰ルト山田君ガ来テ、十二時迄話シテ居ル。

二十一日 木 晴、十時頃パラパラ雨チョット、夜九時頃又一寸驟雨アリ。

二十二日 金 晴、午後雨、夜止ム、

夕食後カラ栗山君ト剛サント室ニ来テ、十一時半迄モ駄[□]弁ッテシマフ。

二十三日 土 晴、

昨日ノ飛行機デ羽根田君ガ東京カラ来タノデ、午後、熱帯生物研究所ニ行ッテミル。羽根田君モ居タシ、和田君¹⁹⁶⁾、加藤君¹⁹⁷⁾、阿加田君¹⁹⁸⁾ト、ソレカラ葦沢試験所長、相沢技師、伴サンガ遊ビニ来テ居タ。五時頃迄モ居テ帰ル。

羽根田君ノオミヤゲ、銀座ノ「カステラ」ト冬柿ト。

夜、舟木氏ノ所ヘ一寸。中山君モ来、九時頃一タン帰ッテ後、村ノ方ヲ散歩、十一時帰ル。ソレカラ剛サンガ「マクワウリ」ヲ持ッテ来テ十二時迄。

二十四日 日曜日

〔発信〕 一瀬直行、青田幸吾、荒居徳亮、江波知彰、後藤禎二、土方愛子、柴山一同、土方久顕一同、土方久俊一同、中沢佑一同、三沢寛、村田勝四郎、真スミ子、中沢英子、玉枝、

〔欄外に記す〕
〔書直シ〕

十一時頃、Ilamms ニ行キ、早メニ中食シテ、Sahabid ト Ngerheesoal ニ行ク¹⁹⁹⁾。Reklai ノ家カラ畑ヲ降リタ。アノ大キナ「マンゴー」ノ木ノ下ノ草ニ寝コロンデ、前ノ海ヲ、Helebhab 岩山ヲ見オロシテ、— 今日ハ Sahabid ガ一人デオ喋リヲ引受ケテ、時々オ菓子ヲツマミ乍ラ、岩山ノコト、岩山ノ砂浜ノコト、鼈甲トリノコト、鼈甲ノ卵探シノコト、神様ノ鼈甲ノ話、月夜ノ宿リガケノ椰子蟹取りノコト、ソレカラ岩山ノ花ノコト— Sahabid ハ私ニハ殆ド日本語テ話サナイノデ、イツモノ様□ニ早口□ニ自分達ノ言葉デ、休ム間モナク一人デ話シ続ケルノデ、私ノ耳ガダンダン勞レテ□眠クナツテクルト、時々私ニ聞イテ居ルノカト尋ネタリ、知ッテ居ルカト尋ネタリスル。私ハ聞キ勞レナガラ、涼シイ風ト静カナ静カナ、外ニハ何一ツ余計ナ□音モナイ草ッ原ニ、鳥ノ囀リノ様ニノベツニ続ク彼女ノオ喋リヲ、遠クノ音楽ノ様ニ、青空ニ見入り、□□池ノ様ナ海ヲ見□下シタリ、カキワリノ様ニ動カナイ岩山ニ□見トレタリシナガラ、遠クノ、ヨソノ音楽デモ聞□□□コエテ来ル様ナ氣持デ聞キ耳ヲタテタリ、只々、ボンヤリト聞コエルママニ聞イタリ、マルデ外ノコトヲボンヤリ考ヘタリ— ソノ間ニドウカスルト、スーツ、暗イ所ニ引込マレル様□ニウトウトシタリ、或ハ身体ノ感覺ガナクナツテシマッタ様ニ、動カナイ空気ノ中ニ浮ンデシマッタ様ナ、空ロナ氣持ニナツタリ、細クアケタ私ノ眼ノ中ニ、「セリフ」カ、朗□読ノ様ナ伴奏ニツレテ動く、彼女ノ表情ト手ブリ身ブリ— 彼女ノ姿ガ大写シノ様ニ写ッタリシタ、私ハ寝タトハ思ハナカッタケレド、若シカシタラ少シハウトウトト寝タカシラ。ソシテ彼女ノ話ノ或ル所ハ、夢ダッタノカシラ、永イ永イコトダッタガ、其ノ間、彼女ハ何ウシテアンナニモ喋リツツケタノカシラ、一時カラトシテモ、ソレハタツプリ三時間ノ上ニナル、本当ニ其ノ間中彼女ハ喋ッテ居タノカシラ。

ソレカラ私達ハ沖繩人ノ畑^(ママ)の中ヲ、彼女ノ言葉デ□云ヘバ、「鼠ノ道」ヲ通ッテ村ニ入り、a Taoh ニ出ル。Meledang 達ハマダ来テ居ナカッタノデ、控屋ニ入ッテ竹ノ床ニ長クナツテ、今度ハ「ノート」ヲ見テ、書カレテ居ル□□□□□□「パラオ」ノ歌ヲ残ラズ歌ッタ。考ヘル考ヘモナク、土人ノ「ロマンス」ヲ大キナ声デ歌ッタ、人気ノナイ「マングロー□ヴ」ノ舟着場ニ、前ノ沼ノ様ナ海ニ、向フノ□カキワリノ様ナ岩山ニ、私達ノ大キナ声ガ何ノ意味モナク、何ノ跡カタモナク吞マレテ消エテ行ッタ。

一時間モタツカト思フ頃ニ、大キナ「カヤブ」(帆船)ガ音モナク迂ルヨウニ入ッテ来タ。荷物モナイ其ノ大キナ舟□ニ、Meledang ト Siwal トガ軽々ト□只二人乗ッテ入ッテ来タ。

ヒタヒタト汐ガイッパイニ上ゲテ来タ。光ガ弱々シク傾□キ、風ガ快ク冷エテ来タ。而シテ私ハ、此ノ何事モナカッタ半日ヲ、ヤッパリ楽シカッタト思フ。

二十五日 月 大正天皇祭 晴,

九時半□過ギテ Ilamms ニ行ク。Ngelūūl モ Kūkong モ家ニ居タ。彼等ガパンノ実ヲ焼キ、又煮タノデ、私ハ沖繩カラ魚ヲ買ッテヤツタ。魚ガ焼ケ、魚ガ煮エテカラ、十時半過ギテ、彼等ノ朝食ト私ノ昼食ト一緒ニ食ベタ。ソシタラ Sahabid ガ、ハデナ新ラシイ着物ト明ルイオレンジ色ノ日傘ト、赤革マガヒノ「ハンドバッグ」ト、イツモノトチガフ腕時計トデ、シャレノメシタ Sahabid ガ教会カラ帰ッテ来タ。処ガソレカラハ家中ノ教会ニ縁ノ薄イ者達カラ、Sahabid ノ信仰ガ、信仰ノ真正サガウタガハレル様ナ議論ガ出テ来テ、ソノ為ニ Saha □□ bid ハ怒ッテシマッタ。ソ□シテ姉妹達ガ皆居ルノニ、私ニ向ッテ、「今日モ二人ダケデ何処カへ遊ビニ行キマショウヨ」ト云ッテ□外ニオリタ。私モ出テ、「オ前達ハ来ナイノカ」ト家ノ中ニ呼ビカケタガ、皆ハ肩ヲソビヤカシテスクリト笑ツタダケダッタ。Sahabid ハ後モ向カナイデ、オレンジ色ノ日傘ヲブラブラサセテ通りニ出テ行ッタ。ソシテ今日モ Ngarahasoal ノ日カゲノ休ミ場デ半日ヲ過ゴシテ来ル。

夜、栗山君ト剛サント三人デ村ニ出ル。「カフェー」ヲ二三軒ビールヲ飲ンデマハリ、十一時半頃カヘリ、ソレカラ又一時近ク迄喋ッテ居ル。

〔12 頁白紙〕

○颯風ノマダ去リガテズ
名残ノ風ニチギレ雲飛ブ

夕べ机ニ向ヒ
遠キ内地ノ便ナド読メバ

人恋ホシト云フニモナクニ
タダニ白ク イミジクモ香ル
オモチャノ 流球壺ノ
山クチナシノ 「パラオ」クチナシ

○「ベランダ」ノ朝ノ食卓ノ軒ノ佛桑華ニ
ベニスズメ来テ其ノ赤キ花ノ蜜ヲ吸フ

○今朝ノ窓ノ外ノ
赤イ佛桑華ノ向フノ
「バナナ」ノ葉ノ向フノ
「マンダロップ」ノ上ノ
悲シイ程静カナ海ニ
マダ醒メキラナイ「イミリーキ」ノ岬

ソノ上ノ遠イ 浮雲ノ薄茜色

○朝早ノ「ベランダ」ニ立テバ庭ノ芝生ニ
ニツ三ツ四ツ「テリーズ鳴」ガフザケフザケ駈ケルヨ